

早稲田大学
教育・総合科学学術院
教職支援センター

2018年度

教職課程履修の手引き

教員免許状

図書館司書

学校図書館司書教諭

博物館学芸員

社会教育主事

社会福祉主事

教職支援センターホームページ
<https://www.waseda.jp/fedu/tec/>

各種問合せ先について

(お願い) 疑問点の多くは本冊子を読むことで解決することがほとんどです。本当に困っている学生さんにスタッフが対応できるようにみなさんのご協力をお願いします。

分からないことが
あったら…



まずは本冊子で
確認!



それでも分からなければ
以下へ相談!

相談内容	本冊子 ページ	相談先
免許・教科の種類	☞ P.6 ~ 9	所属学部・研究科事務所
教員免許状取得のための履修方法	☞ P.10 ~ 20	
卒業後の教員免許状取得(科目等履修生制度)	☞ P.70	
証明書の発行	☞ P.68 ~ 69	
その他資格(図書館司書、博物館学芸員等)	☞ P.71 ~ 95	
介護等体験、教育実習	☞ P.41 ~ 52	教育学部教職支援センター(16号館2階) 原則として質問・相談はメールにて受け付けます。
授業・試験等について	☞ P.34 ~ 38	
インターンシップ、教育ボランティア	☞ P.56 ~ 57	
教員免許状申請	☞ P.53 ~ 55	
科目登録	☞ P.21 ~ 22	MyWaseda「★成績照会・科目登録用メニュー」上のWeb 科目登録の問合せフォームより問い合わせてください。
教員採用試験	☞ P.60 ~ 64	教員就職指導室(14号館202号室)

早稲田キャンパス MAP



教職支援センター

16号館2階

教育・総合科学学術院事務所内

Email: kyousyoku-office@list.waseda.jp

Tel: 03-3232-3599

■開室について (☞裏表紙の裏)

■レポートボックスについて (☞ P.37)



教員就職指導室

14号館2階202号室

Tel: 03-3203-0921

■開室について (☞ P.58 ~ 59)



早稲田大学
教育・総合科学学術院
教職支援センター

2018年度 教職課程履修の手引き

教員免許状

図書館司書

学校図書館司書教諭

博物館学芸員

社会教育主事

社会福祉主事

「教職支援センター」から



松本 直樹

教職支援センター所長
(教育学部長)

2016年4月、早稲田大学における教員養成を担う新たな機関として、教育・総合科学学術院の中に「教職支援センター」を設置しました。本センターは、従来の教職課程と教員就職指導室の機能をより充実させる形で統合し、あわせて稲門教育会（鎌田薫会長）の事務局としての役割を合わせ持った機関です。

これまで教育学部は、「教育学部に教職課程を置く」とする早稲田大学学則に基づき、全学の学生を対象とした教員養成課程を担ってまいりました。近年、教育実習演習・教職実践演習の必修化、2019年度の再課程認定など教職課程をめぐる国の改革が相次ぎ、また修士課程における専修免許の取得に実習系科目を必修化することも話題に上るようになりました。こうした劇的な変化に、柔軟かつ俊敏に対応するためには、学部・大学院における教員養成カリキュラムを統括し、実習校との連携をより緊密にすることのできる組織が是非とも必要であり、本センターがその役割を担うことになります。

教育界にしめる本学卒業生の数は全国トップクラスですが、それを束ねる全国規模の組織が稲門教育会です。その事務局を本センターが担うことで、教職課程・教員就職指導室と稲門の教育関係者との連携をより深め、学生の教育実習と教員就職の支援体制をこれまで以上に充実させたいと考えます。

早稲田の教員養成は、1903年（「早稲田大学」設立の二年目）に教育学部の前身である高等師範部が設置されたことに始まります。大学の創設者たちは当初から「教育」の重要性を認識していたのです。その一人である高田早苗は、国の発展を期するためには、一部のエリートに対してではなく、広く国民全体に対する教育が必要であること、そしてそれを担う教員は、国立大学で一律に養成された者ばかりではなく、各学風のもとで育った多様な価値観を持った者たちであることが望ましいという趣旨の発言を残しています。

学生諸君には、伝統ある早稲田教育界の一員としての自覚と誇りを持って、真摯に教職課程の履修に臨んで欲しいと思います。

「教職を志す」みなさんに



三尾 忠男

教職支援センター副所長
(教育・総合科学学術院教授)

日々、学校は、保護者や地域の人々と協力して様々な現代的課題に取り組んでいます。その中で教員は、子どもたちの可能性に寄り添い、その学びを支える重要な役割を担っています。一方、社会状況の変化はますます加速しており、教育へ期待される内容も変化し、多様化しています。そのため「教職」には、専門的知識と臨床的実践力に加えて、教員自身がそれらの変化に対応し、学び続けることで必要な知識、能力、経験を身につけていなければなりません。

近年、我が国では、教職に対する強い情熱、教育の専門家としての確かな力量、そして総合的な人間力をもつ教員養成を目標とし、教職課程の高度化が進んでいます。また、2020年からの学習指導要領では、これまで以上に、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を目指したカリキュラム・マネジメントと教育方法の工夫が求められてきます。各地の教育委員会や学校現場からは、柔軟性に富む実践的指導力をもち、学校や地域との協働に積極的に取り組む教員が求められています。そのため、「教職」への道は**實際上他の就職活動との重複は難しく、本人に熱意はもとより相応の覚悟が求められます。**

教職に就くことを目指す人は、本冊子の全編を通読して、「教員免許」という専門資格を取得する科目の全体像、必要な様々な科目それぞれの意義と履修の方法、特に「介護等体験」と「教育実習」の意義をしっかりと理解してください。さらに、教員採用試験までの行程等を読み、周知な準備をしてください。あわせて、教員就職指導室や教育ボランティア、インターンシップ等の制度も積極的に活用して、教員となる夢を実現してほしいと思います。

主に4年生に配布される「早稲田教職」には、本学で教職を目指した先輩たちの貴重な経験が掲載されています。それは、教壇に立つ教育実習でしか得られない貴重な経験をはじめ、教員になることへの希望と喜び、困難と悩みなどが感じられることでしょう。

教職課程履修の手引き 目次

早稲田と教職	1
教員への道	5

I 教員免許状とは 6

教員免許状とは	6
取得できる免許状一覧	8

II 教員免許状取得要件 10

教員免許状取得要件	10
履修科目一覧	11
履修モデル	14
教職課程科目履修ルール	15

III 科目登録から成績まで 21

科目登録	21
授業時間割	23
授業	34
試験・レポート・成績	36
休学・留学	39

IV 介護等体験 41

介護等体験	41
-------------	----

V 教育実習 46

教育実習	46
------------	----

Ⅵ 教員免許状申請 53

教員免許状申請	53
---------------	----

Ⅶ 教員就職 56

学校現場での体験	56
教員就職指導室	58
公立学校への就職	60
私立学校への就職	63
合格者からの声	64
教員就職が決まったら	65
卒業後のサポート	67

Ⅷ 卒業後の教員免許状取得 68

証明書発行	68
学部卒業後の教員免許状取得方法（科目等履修生制度）	70

Ⅸ その他資格 71

図書館司書・学校図書館司書教諭・博物館学芸員
社会教育主事・社会福祉主事

図書館司書	71
学校図書館司書教諭	74
博物館学芸員	76
社会教育主事	85
社会福祉主事	91
科目登録から成績まで（その他資格）	94
その他資格証明書	95

X 教員連絡先一覧 96

“早稲田で教員就職を目指す”とはどういったことでしょうか？ 本間信治先生は本学卒業後、教員としてのキャリアを重ね、現在、教員就職指導室アドバイザーとして教員就職を目指す学生を日々サポートしています。様々な経験とともに様々な教員、学生を見てきた本間先生の視点から、「早稲田と教員就職」について語ってもらいます。

■これまでの経歴

1978年に本学教育学部社会科を卒業しました。中学校の社会科教員をめざしましたが、厳しい倍率の中で志がなわず。しかし、その時、埼玉県教育委員会から小学校の産休代替教諭のお誘いを受けたことをきっかけに、小学校教員免許を取得し、以来39年間にわたり埼玉と東京の小学校教員を務めました。東京都では、教頭・副校長を2校7年間、校長を3校9年間務めました。また、校長として全寮制の病弱特別支援学校である板橋区立天津わかしお学校（千葉県鴨川市）に赴任するなど、タイプの異なる様々な学校で仕事をさせていただきました。2017年度4月より、教員就職指導室アドバイザーとして、教員をめざす学生のみなさんをサポートする仕事に、素敵な同僚・スタッフのみなさんと楽しく取り組んでいます。

■本学出身教員の強みは何ですか？

変化の激しい時代の中で、ともすると人間らしい心が失われ、傷つく子どもたちが増えてきています。

いじめ、不登校、生きがい・学習意欲の喪失等、そうした様々な課題が教育現場にあります。今、求められているのは、苦しみもがきながらも、人間らしく成長したいと願っている子どもたちの心に寄り添い励ましていくことができる人間性豊かな教師です。「早稲田精神」の根本はヒューマニズム。時代が求める教師像に合致する「人間的な魅力」こそ本学出身の教師の強みです。そして、在学した時代は違っていても青春時代を早稲田で過ごした仲間としての絆によるネットワークも、大きな強みではないでしょうか。そのネットワークは普段はソフトで緩やかなものですが、時に応じて強固なものとなり心のよりどころとなることでしょう。



教員就職アドバイザー：本間 信治 先生

Profile

埼玉県立春日部高等学校出身。早稲田大学教育学部社会科社会科学専修卒業後、埼玉県、東京都（豊島区、伊豆大島、板橋区）で小学校教員として39年間勤務。板橋区立舟渡小学校校長を最後に退職。今年度4月より早稲田大学教員就職指導室アドバイザーとして、教員就職をめざす学生の指導にあたっている。

■教員をめざす早大生に特徴はありますか？

とにかく熱い情熱と使命感をもっている魅力的な学生たちですね。昨今、教員の長時間労働をはじめとした教育現場の厳しさが取り上げられていますが、私が、「それでもあなたは、あえて“火中の栗を拾う”ような困難もいとわずに教員をめざしますか？」と尋ねると、みんな「はい。」と答えます。その目の輝きと、「教育は未来を創る仕事ですから。」という言葉には、私の方が逆に励まされます。

そして、一人ひとりが教育に対してしっかりとしたビジョンをもって臨んでいます。それは、学生時代の勉強だけでなく、継続して取り組んできたさまざまな豊かな活動経験の中で培われてきたものなのでしょう。好奇心旺盛で、常に真剣に考えを深め、自分の考えをはっきりと主張できる学生がほとんどですね。教育現場でのボランティアにも積



極的に取り組み、すでに教育現場で頑張る覚悟ができています。学生も少なくありません。

■これから教員をめざすうえで必要なことは何ですか？

まず、教師という仕事の意義と責任について、しっかりとした考えを持ってください。これからの世の中を創る子どもたちの、成長と人格形成に携わる仕事の重みを考えて、採用試験に臨みましょう。教員にとっては、たくさんの児童生徒の中の一人であっても、その子にとっては一生に一度の在校期間です。その仕事の責任と、やりがいについてしっかりと考え、一度教師をめざしたならば、全力で自分を磨いてください。「学び続ける教師が、学び続ける子どもを育てる」という言葉があります。

年齢はいくつになっても、学び続ける姿勢があれば、だれもが「一生青春」です。そのことを、自らの生き様で子どもたちに示すことができるよう、しっかり学び続ける姿勢を貫いてください。そして、進んでたくさんの人々とふれあい、人間の素晴らしさがわかる、真に「人間好き」の教師をめざしてください。また、変化の激しい時代、あふれる情報の中から正しい道を見極める力を磨くためにも、常日頃から、社会の動きについても敏感であるべきでしょう。

■教員をめざす早大生へのメッセージをお願いします。

まずは、数ある仕事の中から「教師」という仕事を選んでくれてありがとうございます。私が教員として経験した世界に、学生のみなさんが入って来てくださること、そして、喜びや苦勞を分かち合えることは本当にうれしいことです。学校ではたくさんの児童生徒がみなさんの着任を心待ちにしています。答えが見いだせず深い悩みを抱いた子どもたちに、寂しい思いに悩むひとりぼっちの孤独な子どもたちに、そして日々成長するために頑張っている子どもたちに、あなたの優しさや知性を届けて導いてあげてください。一人でも多くの早稲田大学卒業生が、教師として「未来を創造する素晴らしい仕事」に携わり、活躍されますよう祈っています。

本学出身の先輩教員は全国各地で様々に活躍しています。働く学校や年数は違えど、早稲田で教員教職を目指した原点は同じです。先輩教員として、早稲田の先輩として、教員の魅力を語ってもらいます。

富山県立高岡高等学校 教諭 石黒 佳奈 先生

■教員を目指した理由

田舎で大事に育てられた私が、大都会に1人で出てきて早稲田大学で4年間を過ごした。大学の経験の中で、自分の世界が高校とは比べ物にならないくらい広がった。始めは教育実習生として母校に戻りたいという思いで教職課程を取り続け、教員の道は一つの選択肢としか考えてなかった。しかし、次第に自分がやりたいことは、この経験を生かして、地元の子たちにも私のように広い世界に出て自分の可能性を広げる手助けをすることだと思い教員を目指した。

■教師のやりがい・魅力

教員1年目の私には、教員のやりがい・魅力は、まだ手探りの状態である。私は、楽観的なところがあり、教員は忙しいということを授業で耳が痛くなるほど聞いていたが、正直、耐えられないほどではないと思っていた。しかし、教員生活は、朝は早く夜は遅く、休みの日は部活、土曜授業、教材研究と、想像を遥かに超える多忙な日々だった。正直、お金をたくさん稼ぐために働きたいのであれば向いていない仕事だと思う。そして、自分の指導が成果となって現れ、「教師になってよかった!」と心から思えることを経験するのには時間がかかる。ただ、生徒は本当に正直で、教師側が手を抜いてさぼったことに対しては、それなりの反応で悪い結果しか出さない。一方、じっくり時間をかけて準備し、生徒と多くの時間を共有したことには今までにない反応をし、いい結果を出す。こんな自分の鏡のような生徒たちが、結局は、やっぱり愛おしくてどんなに忙しくても頑張ろうと思える。私は、先生としてはまだまだ半人前だが、いつか教え子たちに、「先生に出会えてよかった」と言ってもらえる先生を目指し、教師のやりがいをずっと追求め続けると思う。

■教師を目指す早大生へのメッセージ

私は、教員採用試験の直前に、切羽詰まって、自分が本当に先生になりたいのか分からなくなり、自分は先生に向いていないのではないかと、教員就職指導室の先

生方の前で、泣いた覚えがある。そのとき、指導室の先生が「最後はどれだけ生徒のことを考えられるかが大事、生徒を思う気持ちさえあれば先生に向いているから大丈夫」と言われたことを今でも覚えている。実際に自分が先生になってみて、その言葉の意味を実感している。教科の知識や授業のスキルももちろん大事だが、それ以上に大事なことを指導室では教えてもらった。ぜひ、今、教員を目指している皆さんには指導室をフル活用して、これからの教員人生の基盤となる自分の教育観を養ってほしい。



Profile

出身高等学校：富山県立高岡高等学校

早稲田大学出身学部、研究科：文学部・教育学コース

現在勤務している学校名：富山県立南砺福野高等学校

現在の主な担当：1学年副担任・英語・女子ソフトテニス部副顧問

開かれた教員養成機関 —開放制の教職課程—

“開放制”は卒業するために教員免許状の取得は必須ではないことを示します。どの学部でも教員を目指したい学生には広く門戸が開かれているため、諸活動を通して様々な進路を目指す学生から刺激を受けることにより、魅力的な教員養成が行える環境があります。



教員になるまでの手厚いサポート —教員就職指導室—

学校長など教員経験の豊かな3名の「教員就職アドバイザー」が、面接、論文指導など教員就職を目指す学生を日々支援しています。(☞ P.58 ～ 59)



教員採用試験対策イベント —教員就職指導会—

教員採用試験対策のためのイベントを年7回行っています。教員就職アドバイザーによる解説の他、校友である現職校長や教員をお招きし、最新の教員採用試験情報提供や教員就職のための具体的な指導を行います。(☞ P.59)



現場での体験を積む —インターンシップ・教育ボランティア—

普段の学校現場を体験してもらうため、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校での学習補助等を通した貴重な現場体験を行える機会があります。(☞ P.56 ～ 57)

全国各地における教員の交流 —稲門教育会—

本学卒業の教員は全国各地で活躍しており、卒業後も、「稲門教育会」と呼ばれる組織を通して、関東に限らず全国各地で交流が行われています。(☞ P.66 ～ 67)

教員への道

みなさんは教員になるためにはどれくらい準備や手続きが必要か知っているでしょうか。教員免許状を取得すればすぐ教壇に立てる、あるいは大学で必要単位を修得すればなれる、という簡単なものではありません。以下に教員となるまでの道のりを4つのステップに分けて説明しますので、おおまかなスケジュールを把握してください。

教員への道のり

ステップ1 全体のスケジュールを把握し必要な科目を履修する…………… P.10 ～

教員免許状取得に必要な科目は免許教科ごとに定められています。学期ごとに科目登録（自分の登録したい科目を申請すること）をしますので、科目登録前に自分がどの科目を履修する必要があるか確認し、登録漏れがないようにしましょう。4年間のスケジュールを1年次から立てておくことも重要です。

ステップ2 教育実習・介護等体験を行う…………… P.41 ～ 52

このステップでは科目履修以外に社会福祉施設や特別支援学校での介護等体験や小・中・高等学校での教育実習を行う必要があります。どちらも実施前年度までに完了しておくべき事項がたくさんあります。事前に本冊子を読んでしっかり準備しましょう。

ステップ3 教員免許状申請を行う…………… P.53 ～ 55

教員免許状を取得するためには、教育委員会へ免許状申請を行う必要があります。在学中であれば、通常大学が取りまとめて教育委員会に申請し、卒業と同時に免許状を受け取ることができます。また、学生が個人で教育委員会へ申請することも可能です。

ステップ4 教員採用試験に合格する…………… P.60 ～ 64

教員として教壇に立つには、教員採用試験を受け、合格しなければなりません。公立学校・私立学校で選考内容が異なります。教員としてどこで働きたいのか考え、早い段階から準備をしましょう。教員採用試験のサポートは教員就職指導室（14号館2階202号室）で行っています。

それぞれのステップの中にも細かい手続きや注意すべき点があります。「資格だから一応とおこう」という安易な気持ちで教員免許状取得を目指すのではなく、自分が将来何になりたいのかを真剣に考えた上で、教員を目指してください。

教員免許状とは

I
免許状とは

II
取得要件
免許状

III
科目登録
成績

IV
介護等体験

V
教育実習

VI
免許状申請

VII
教員就職

VIII
教免取得
卒業後の

X
その他資格

XI
連絡先一覧

1 教員免許状とは

免許状の授与を受けるための教員養成は大学等で行われており、免許状を取得するもっとも一般的な方法です。このように取得した免許状を「普通免許状」と言います。普通免許状以外にも、特定の教育委員会で有効な「特別免許状」「臨時免許状」という形態の免許状があります。

関係する組織

大学で教員養成を行う場合の国（文部科学省）、大学、教育委員会の役割は以下になります。

国	教員免許授与についての法令を制定し、文部科学大臣が大学から申請された課程を認定します。
大学	上記の法令に従って教員養成の課程を設置します。
教育委員会 (都道府県)	教員免許の申請に従い、教員免許状を授与（発行）します。 公立学校の教員採用についても都道府県・政令指定都市の教育委員会が行います。

主な法令

教員免許状制度を定める主な法律は、「教育職員免許法」「教育職員免許法施行規則」です。

通常は、教育職員免許法第5条第1項「別表第1」に従い、大学に設置された科目を履修します。ただし、教員としての実務経験がある場合や既に他の学校種や教科の免許状を持っている場合には、取得する単位が少なく済むケースなどもあります。専門的な知識が必要となりますので、自分で情報収集を行った上で教育委員会に相談するなど、十分に制度を理解した上で免許状取得を目指してください。

2 教員免許状の種類

取得できる教員免許状の種類は、所属学部・学科・専攻・専修・コース、所属研究科・専攻ごとに定められています。教員免許状には、以下の免許種・学校種・教科があります。

免許種

教員免許状には、二種・一種・専修免許状があります。

教員免許状	詳細	取得できる学生
二種免許状	法令で定められた教職科目（37単位）を修得し、短期大学を卒業（短期大学士の学位を取得）することで得られる免許状	短期大学の学生
一種免許状	法令で定められた教職科目（59単位）を修得し、学部を卒業（学士の学位を取得）することで得られる免許状	四年制大学の学部学生
専修免許状	一種免許状に必要な要件に加え、大学院で専門的な教職科目（24単位）を修得し、大学院修士課程を修了（修士の学位を取得）することで得られる免許状	大学院生

■ 学校種

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園の教員および養護教員になるには、学校種ごとの教員免許状が必要です。特に中学校・高等学校は教科ごとの免許状に分かれます。

本学では、幼稚園・養護教員になるための免許状は取得できません。

学校種

(本学で取得できる教員免許状)

- 小学校教諭免許状
- 中学校教諭免許状
- 高等学校教諭免許状
- 特別支援学校教諭免許状

■ 教科

中高免許には教科の別もあり、所属学部・学科・専攻・専修・コース、所属研究科・専攻の専門性により、取得できる教科が定められています。

教科の種類

(本学で取得できる教員免許状)

国語、社会、地理歴史、公民、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、数学、理科、情報、保健体育、福祉、商業、音楽、技術、工業、美術、家庭、福祉、書道

取得できる免許状一覧

1 取得できる教員免許状一覧 (学部)

2019年度以降の入学者については、教育職員免許法、同法施行規則改正のため、教職課程再課程認定申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。以下の表は「2015年度以降入学者」を対象としたものです。延長生は所属学部要項で確認してください。

学部	学科・専修		取得できる免許状の種類	
			中学一種	高校一種
政治経済学部	政治学科、経済学科、国際政治経済学科		社会	地理歴史、公民
法学部			社会	地理歴史、公民
文化構想学部	文化構想学科		国語、英語、社会	国語、英語、地理歴史、公民
文学部	文学科		国語、英語、社会、ドイツ語※、フランス語※、ロシア語※、中国語※ ※対応するコースに所属する学生のみ取得可	国語、英語、地理歴史、公民、ドイツ語※、フランス語※、ロシア語※、中国語※ ※対応するコースに所属する学生のみ取得可
教育学部 副免許制度については「授業ガイド」参照	教育学科	教育学専攻 (教育学専修・生涯教育学専修・教育心理学専修)	社会	地理歴史、公民
		初等教育学専攻	特別支援学校一種	
			小学校一種	
	国語国文学科		国語	国語
	英語英文学科		英語	英語
	社会科	地理歴史専修	社会	地理歴史、公民
		社会科学専修		
	理学科	生物学専修	理科	理科
		地球科学専修		
	数学科		数学	数学、情報
	複合文化学科		ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語	ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語
商学部			社会	地理歴史、公民、商業
基幹理工学部	数学科、応用数理学科、情報理工学科		数学	数学、情報
	機械科学・航空学科		理科、数学	理科、数学
	電子物理システム学科(旧:電子光システム学科)		数学	数学、情報
	表現工学科、情報通信学科			情報
創造理工学部	建築学科、総合機械工学科		理科	理科
	経営システム工学科			情報
	社会環境工学科、環境資源工学科		理科	理科
先進理工学部	物理学科		理科、数学	理科、数学
	応用物理学科		理科、数学	理科、数学、情報
	化学・生命化学科、応用化学科、生命医科学科		理科	理科
	電気・情報生命工学科		理科、数学	理科、数学、情報
社会科学部	社会科学科		社会	地理歴史、公民、商業、情報
人間科学部	人間環境科学科		社会	地理歴史、公民
	健康福祉科学科			福祉
	人間情報科学科		英語	英語、情報
スポーツ科学部	スポーツ科学科		保健体育	保健体育
国際教養学部	国際教養学科		英語	英語

I
免許状とは

II
取得
免許
要件
状

III
科目
登録
成績

IV
介護
等
体験

V
教育
実習

VI
免許
状
申請

VII
教員
就職

VIII
卒業
後の
取得

X
その他
資格

XI
連絡
先
一覧

2 取得できる教員免許状一覧（大学院）

2019年度以降の入学者については、教育職員免許法、同法施行規則改正のため、教職課程再課程認定申請中。
ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。
以下の表は「2015年度以降入学者」を対象としたものです。延長生は所属研究科要項で確認ください。

研究科	専攻・コース	取得できる免許状の種類	
		中学専修	高校専修
政治学研究科	政治学専攻	社会	公民
	経済学専攻経済学コース	社会	地理歴史、公民
経済学研究科	経済学専攻国際政治経済学コース	社会	公民
法学研究科	全専攻	社会	公民
文学研究科	人文科学専攻	国語、英語、社会、中国語、ドイツ語、フランス語、ロシア語 ※コース毎に取得可能教科が異なるので研究科要項にて確認すること	国語、英語、地理歴史、公民、中国語、ドイツ語、フランス語、ロシア語 ※コース毎に取得可能教科が異なるので研究科要項にて確認すること
商学研究科	商学専攻	社会	商業、公民
基幹理工学研究科	数学応用数理専攻	数学	数学、情報
	機械科学専攻	数学、理科	数学、理科
	電子物理システム学専攻 (旧：電子光システム学専攻)	数学	数学
	情報理工・情報通信専攻		情報
創造理工学研究科	建築学専攻、総合機械工学専攻	理科	理科
	経営システム工学専攻		情報、工業
	建設工学専攻 地球・環境資源理工学専攻	理科	理科
	物理学及応用物理学専攻	数学、理科	数学、理科、情報
先進理工学研究科	化学・生命化学専攻、応用化学専攻、生命医科学専攻	理科	理科
	電気・情報生命専攻	数学、理科	数学、理科、情報
	生命理工学専攻、ナノ理工学専攻	理科	理科
	共同原子力専攻	理科	理科
	学校教育専攻	国語、英語、社会、数学、理科、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語	国語、英語、地理歴史、公民、数学、理科、書道、情報、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語
教育学研究科		小学校専修	
	国語教育専攻	国語	国語、書道
	英語教育専攻	英語	英語
	社会科教育専攻	社会	地理歴史、公民
	数学教育専攻	数学	数学、情報
	高度教職実践専攻	国語、英語、社会、数学、理科、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語 音楽、美術、家庭、技術、保健体育	国語、英語、地理歴史、公民、数学、情報、理科、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語 音楽、美術、家庭、工業、保健体育
		小学校専修	
人間科学研究科	人間科学専攻	社会	地理歴史、公民、情報、福祉
スポーツ科学研究科	スポーツ科学専攻	保健体育	保健体育
社会科学研究科	地球社会論専攻	社会	地理歴史、公民
	政策科学論専攻	社会	公民、商業
アジア太平洋研究科	国際関係学専攻	社会	公民
国際コミュニケーション研究科	国際コミュニケーション専攻	英語	英語

教員免許状取得要件

本学の学部では「一種免許状」、大学院では「専修免許状」の取得が可能です。取得するためには、以下の基礎資格および所定の単位を修得する必要があります。

1 基礎資格

- 一種免許状：学士の学位を有すること
- 専修免許状：修士の学位を有すること

2 単位修得要件

下表は、法令上の最低修得単位数ではなく、本学カリキュラム上の最低修得単位数を表しています。
ただし、所属学部・学科・専修・コースにより、最低必要単位数が異なる場合がありますので、詳細は学部要項等（教育学部生は「授業ガイド」）を参照してください。

本学における履修指導は、原則として、以下のカリキュラムに基づき行われます。教員としての実務経験がある、既に他の学校種や教科の免許状を所持している等の事情により、これ以外の方法※での教員免許状取得を目指す場合は、本学の履修指導を離れ、各都道府県教育委員会の指導を受けてください。ご自身の責任と判断のもとで科目履修を進めていただくことになります。

※各都道府県教育委員会が実施する「教育職員検定」等

免許状の種類			小学校		中学校		高校	
			一種	専修	一種	専修	一種	専修
学部	教育職員免許法施行規則 第 66 条の 6 に定める科目	日本国憲法	2					
		体育（実技）	2					
		外国語コミュニケーション	2					
		情報機器の操作	2					
	教職に関する科目		44	} 59	32	} 59	26	} 59
	教科に関する科目		8		20		20	
	教科又は教職に関する科目		7		7		13	
大学院	教科に関する科目、教職に関する科目			24		24		24
最低修得単位数の合計			67	91	67	91	67	91



- (1) 「教科に関する科目」の最低修得単位数
学部・学科・専攻・専修により異なる場合がありますので、所属学部の「学部要項」等（教育学部生は「授業ガイド」）を必ず確認してください。
- (2) 教科又は教職に関する科目
「教職に関する科目」「教科に関する科目」の最低修得単位数を超えて単位を修得した場合は、「教科又は教職に関する科目」の単位として計算されます。上表に記載の単位数は、「教職に関する科目」、「教科に関する科目」および「教科または教職に関する科目」の合計最低修得単位数である 59 単位から、「教職に関する科目」と「教科に関する科目」の最低修得単位数を差し引いた単位数であり、「教科又は教職に関する科目」の科目区分に設置されている科目を、記載されている単位数以上履修しなければならないという意味ではありません。

I
免許状とは

II
取得
要件

III
科目
登録
成績

IV
介護
等
体験

V
教育
実習

VI
免許
状
申請

VII
教員
就職

VIII
卒業
後の
教員
取得

X
その他
資格

XI
連絡
先
一覧

履修科目一覧

全学部に通ずる内容の概略を記載しています。詳細については、所属学部の「学部要項」等（教育学部生は「授業ガイド」）で確認し、所定の科目を履修してください。

また、科目履修上の注意はP.15～20を参照してください。

※小学校一種免許状取得者（教育学部教育学科初等教育学専攻）は教育学部の「授業ガイド」をご確認ください。

1 教職に関する科目（必修）

●科目設置箇所は教育学部（教職課程）です。また、年間履修制限単位数（20単位）に含まれます。

必修 は全員必修、**中学必修** は「中学のみ必修」、**高校必修** は「高校のみ必修」を表しています。

教育職員免許法施行規則に定める科目			最低修得 単位数	早稲田大学設置科目名	配当年次	単位
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	「教職概論（中・高）」	1～	2単位必修
		教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。）				
		進路選択に資する各種の機会の提供等				
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	「教育基礎総論 1（中・高）」	1～	2単位必修
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		「教育基礎総論 2（中・高）」	1～	2単位必修
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		「教育心理学（中・高）」	1～	2単位必修
	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	中学 13 高校 9	「教育課程編成論（中・高）」	2～	1単位必修
		各教科の指導法		「教科教育法 1」 「教科教育法 2」	2～ 2～	4単位必修
				「教科教育法 3」	2～ （一部の科目は 3～）	中学2単位必修
		道徳の指導法		「道徳教育論（中・高）」	1～	中学2単位必修
		特別活動の指導法		「特別活動論（中・高）」	1～	2単位必修
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		「教育方法研究（中・高）」	2～	2単位必修
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4	「生徒指導・進路指導論（中・高）」	1～	2単位必修
		進路指導の理論及び方法				
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		「生徒理解と教育相談（中・高）」	1～	2単位必修
	教育実習		中学 5	「教育実習演習（3 週間）」	4	中学5単位必修
			高校 3	「教育実習演習（2 週間）」	4	高校3単位必修
	教職実践演習		2	「教職実践演習（中・高）」	4	2単位必修
最低修得単位数合計			中学 32 高校 26			

2 教職に関する科目（選択）

- 科目設置箇所は教育学部（教職課程）です。また、年間履修制限単位数（20 単位）に含まれます。
- 以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

教育職員免許法施行規則に定める科目			最低修得 単位数	早稲田大学設置科目名	配当 年次	単位	履修 方法
教職に関する科目	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	0	「教職研究Ⅲ（日本教育史）」 「教職研究Ⅳ（西洋教育史）」	2～	各2	選択
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	0	「教職研究Ⅰ（学校教育法規）」 「教職研究Ⅱ（教育行政法規）」 「教職研究Ⅴ（学校外教育）」 「教職研究Ⅸ（教育経営）」	2～	各2	選択
	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	0	「教科教育法4」	3～	2	選択
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	0	「授業技術演習」	3～	2	選択

3 教科に関する科目

- 年間履修制限単位数 20 単位には含まれません。

教育職員免許法 施行規則に定める科目	最低修得単位数	早稲田大学設置科目名	科目設置箇所	履修方法
教科に関する科目	20	学部要項等（教育学部生は授業ガイド）参照	所属学部 グローバルエデュ ケーションセンター	学部要項等（教育学部生は授業ガイド）参照

※政治経済学部、法学部、教育学部、商学部、社会科学部の学生は、「教科に関する科目」として教育学部設置「教職用教科に関する科目」を履修することができます。

4 教科又は教職に関する科目

- 科目設置箇所は教育学部（教職課程）です。また、年間履修制限単位数（20 単位）に含まれません。
- 「教科又は教職に関する科目」には、以下の科目の単位の他に「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も積算されます。

教育職員免許法 施行規則に定める科目	最低修得単位数	早稲田大学設置科目名	配当 年次	単位	履修方法
教科又は教職に関する科目	中学 2	「介護体験実習講義」	3 ～	2	中学 2 単位 必修
	0	「人間理解基盤講座」	2 ～	2	選択
		「教職研究 VI（生涯教育）」	2 ～	2	
		「教職研究 VII（特別支援教育）」 （旧：教職研究 VII（障害児教育））	2 ～	2	
		「教職研究 VIII（総合学習の研究）」	2 ～	2	
		「学級経営インターンシップ」	3 ～	4	
		「特別支援教育インターンシップ」	3 ～	4	
		「インクルーシブ教育インターン シップ」	3 ～	4	
		「初等教育インターンシップ」	3 ～	4	
		以下の科目は 2014 年度からは国 語の免許にしか使えません（2013 年度までに履修した科目はすべて の免許教科で使用できます）			選択
		「中等国語科インターンシップ」 （2014 年度以前は 2 単位）	3 ～	4	
		「国語科授業技術演習」	3 ～	2	
最低修得単位数合計	中学 2				

※人間科学部、文化構想学部、文学部の学生は「教科又は教職に関する科目」に充当される科目が所属学部にも設置されています。所属学部の「学部要項」（教育学部生は「授業ガイド」）を参照してください。

5 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

教育職員免許法施行 規則に定める科目	最低修得 単位数	早稲田大学設置科目名	科目設置箇所	単位
日本国憲法	2	「学部要項」（教育学部生は「授業ガイド」）参照	所属学部	2 単位 必修
体育（実技）	2	「スポーツ実習Ⅰ」（1 単位） 「スポーツ実習Ⅰ（体育各部）」（2 単位） 「スポーツ実習Ⅱ」（1 単位） 「スポーツ実習Ⅱ（体育各部）」（2 単位） （グローバルエデュケーションセンター「科目登録 の手引き」参照）	グローバルエ デュケーション センター	2 単位 必修
外国語コミュニケーション	2	「学部要項」等（教育学部生は「授業ガイド」）参照	所属学部 グローバルエ デュケーション センター	2 単位 必修
情報機器の操作	2	「学部要項」等（教育学部生は「授業ガイド」）参照	所属学部 グローバルエ デュケーション センター	2 単位 必修
最低修得単位数合計	8			

履修モデル

以下は、各学年で履修することが望ましい科目です。自分の時間割や目標に応じて調整してください。

特に★印の科目は「教育実習演習」の前提条件（☞ P.48）になりますので、実習の前年度までに単位を修得してください。また、「教職概論」は「介護体験実習講義」の前提条件になりますので、介護等体験の前年度までに単位を修得してください。

「教職実践演習」は1年次から履修カルテをダウンロードし、記入を開始するようにしてください。

履修カルテ（☞ P.17）

学年	科目の履修例	単位数	アドバイス
1年	★ 教職概論	2	● 教職の基礎的な科目は1年生で履修しましょう！ ● 「教育心理学」は秋学期のクラスが少ないので、なるべく春学期に履修するようにしてください。
	★ 教育基礎総論1	2	
	★ 教育基礎総論2	2	
	★ 教育心理学	2	
1年	・ 道徳教育論	2	このうちから2科目くらい履修できればGood!
	・ 特別活動論	2	
	・ 生徒指導・進路指導論	2	
	・ 生徒理解と教育相談	2	
1年	★ 体育		できる限り1年生で履修しましょう！
	★ 情報機器の操作		
	★ 外国語コミュニケーション		
	★ 日本国憲法		
2年	★ 教育課程編成論	1	● 4年生では教育実習に集中できるように、3年生までにほとんどの教職科目を修得しましょう！ ● ボランティアやインターンシップで教育現場を見ておくのもお勧めです。 ● 一部の「教科教育法」についてはクラス数が少ないものがありますので、早い段階（2年生）からの履修をお勧めします。
	★ 教育方法研究	2	
	★ 教科教育法1	2	
	★ 教科教育法2	2	
2年	・ 介護体験実習講義（3年配当）	2	興味に応じて積極的に履修してみましょう！
	・ 教科教育法3	2	
	・ 選択科目（教科又は教職に関する科目）を数科目程度		
	★ 教科に関する科目	16単位以上	
4年	・ 教育実習演習	中学5・高校3 2	
	・ 教職実践演習		

【1年次の時間割例】

卒業単位に算入している科目 ★ 教職科目

春学期

	月	火	水	木	金	土
1限						
2限	★情報機器の操作					
3限						
4限						
5限		★教職概論	★教育基礎総論1			
6限				★教育心理学		
7限						

秋学期

	月	火	水	木	金	土
1限					★特別活動論	
2限						★憲法
3限						
4限						
5限	★道徳教育論		★教育基礎総論2			
6限						
7限						

I 免許状とは

II 取得要件
免許状

III 科目登録成績

IV 介護等体験

V 教育実習

VI 免許状申請

VII 教員就職

VIII 卒業後の
取得

X その他資格

XI 連絡先一覧

教職課程科目履修ルール

1 全科目区分共通

- 所属学部にて卒業単位として扱われない科目であっても、教員免許状の単位としては有効です。
- 「廃止」となった科目でも、廃止前に修得済みであれば、教員免許状の単位としては有効です。

2 教職に関する科目（必修）

(1) 全般

【(中・高) 科目】

科目名の末尾に「…(中・高)」の記載がある科目は、中学校および高校教員免許状の単位としてのみ有効な科目です。

【教育学部、文化構想学部、文学部生への注意事項】

下表のとおり、中学校および高校の「教職に関する科目」に充当される科目が所属学部にも設置されています。所属学部設置科目の単位を修得すれば、教職課程設置科目の履修は不要ですので、注意してください。

	教職課程設置科目	所属学部設置の同等科目		
		文化構想学部	文学部	教育学部（専門科目）
(1年生以上)	教職概論（中・高）	教職論		
	教育基礎総論 1（中・高）	教育学概論 1 教育学概論 2 (セット履修／2 年次以上配当)		教育学概論 I 教育学概論 II (セット履修／旧：教育学概論) ^{※1}
	教育基礎総論 2（中・高）			
	教育心理学（中・高）	教育・学校心理学		教育心理学（2013 年度をもって廃止） 教育心理学概論 ^{※1} 教育心理学概説 I・教育心理学概説 II ^{※2} (セット履修／旧：教育心理学概説)
	道德教育論（中・高）			道德教育研究
	生徒指導・進路指導論（中・高） 生徒理解と教育相談（中・高）			学校心理学（教育相談・生徒指導・進路指導の理論と方法） ^{※3}
	生徒理解と教育相談（中・高）			臨床心理学概論 ^{※4} （2013 年度まで）
(2年生以上)	教育課程編成論（中・高）			教育課程論 ^{※5}
	教育方法研究（中・高）			教育方法学

- ※1 2014 年度以降の修得の場合、中学・高校の教員免許状の単位としてのみ有効です。（2013 年度までの修得の場合、小学校・中学・高校の教員免許状の単位として有効です。）
- ※2 中学・高校の教員免許状の単位としてのみ有効です（小学校には使えません）。
- ※3 2014 年度より「学校心理学（教育相談・生徒指導・進路指導の理論と方法）」が教員免許状取得の要件として「生徒指導・進路指導論」および「生徒理解と教育相談」と同等に扱われることになりました。2013 年度以前に修得した場合の単位は教員免許状の単位として無効なので注意してください。
- ※4 2014 年度以降に修得した場合、教員免許状の単位として無効です。2013 年度までは、中学校・高校の教員免許状の単位として有効です。
- ※5 2014 年度より「教育課程論」が教員免許状取得の要件として「教育課程編成論」と同等に扱われることになりました。2013 年度以前に修得した「教育課程論」の単位は教員免許状の単位として無効なので注意してください。

(2)「教科教育法 1」「教科教育法 2」「教科教育法 3」

科 目	履修ルール
全ての教科教育法 1～3	取得を希望する教員免許状の教科ごとに単位を修得してください。中学校免許状取得希望者は「教科教育法 1」「教科教育法 2」「教科教育法 3」が、高校免許状取得希望者は「教科教育法 1」「教科教育法 2」が必修です。
全ての教科教育法 3	通常は中学校免許取得のために「教職に関する科目（必修）」として履修する科目ですが、同じ免許教科の高校免許取得時には、「教科又は教職に関する科目」として扱われます。ただし、「社会科教育法 3」は、例外的に、中学「社会」だけでなく、異なる免許教科である高校「地理歴史」「公民」の「教科又は教職に関する科目」としても扱われます。
「保健体育科教育法」	授業内容に系統性がありますので「保健体育科教育法 1」→「保健体育科教育法 2」の順番で履修してください。また、特別な理由がない限り、同一教員クラスを履修してください。また、「保健体育科教育法 3」については、「保健体育科教育法 1」「保健体育科教育法 2」の単位修得後に履修することが望ましいです。
「ドイツ語」「フランス語」「ロシア語」「中国語」「スペイン語」科教育法	これら英語以外の外国語の「教科教育法 2」を科目登録するためには、「教科教育法 1」の単位を修得済みである必要があります。また、これらの「教科教育法 3」については配当年次が 3 年です。
「英語科教育法」	2010 年度以降に入学した学生が「英語科教育法 1」「英語科教育法 2」「英語科教育法 3」を科目登録するためには、以下の条件のうちいずれかを満たしていることが必要となります。 <前提条件> ● WeTEC ※ 600 点以上 ● TOEIC 555 点以上 (TOEIC IP テストでも可) ※原則、WeTEC の点数で条件をクリアすることが望ましい。 <設定理由> 英語教員が備えておくべき英語力の目標値として、英検準 1 級、TOEFL550 点、TOEIC730 点程度が望ましいとされています。すなわち、前提条件にある点数は最低限であり、卒業までに目標値に到達できるように努力してください。 < WeTEC 受験について > 受験に必要な申込用紙等は、☞教職支援センターホームページからダウンロードしてください。(在学生の方へ「WeTEC 受験案内」を参照) ※ WeTEC とは Web-based Test for English Communication の略称で、本学学生を対象としたインターネットを利用した英語コミュニケーション能力判定テストです。試験時間の平均は約 60 分です。テスト終了後すぐにスコアが表示されます。 <スコアの提示について> 初回授業の際に担当教員がスコアの提出を求めますので、WeTEC については「Tutorial Site」からプリントアウトしたものを、TOEIC については証明書のスコアをコピーしたものを提出してください。提出しない場合、また、スコアが条件を満たしていない場合、科目が取り消されます。(取り消しに伴う他の科目の追加登録は不可) <注意事項> ● 英語科教育法は 3 年次から履修を始めても免許取得は可能ですが、できる限り 2 年次から履修してください。 ● 試験を受けてからスコアが出るまでに時間がかかることを十分考慮し、初回授業の際にスコアが提示できるように計画的に準備を進めてください。 ● 「学士入学者」「再入学者」については、要項適用年度が 2010 年度の学生より適用となります。 ● 「科目等履修生」については、科目等履修生制度の出願前までに TOEIC にて条件を満たしてください (在学生から引き続き科目等履修生になる場合には、在学中の WeTEC のスコアが利用可)。出願後も、WeTEC の受験機会を設けますが、スコアが条件を満たさない場合には、英語科教育法の登録を取り消します。 ● 国際教養学部で英語 I・II が免除された学生 (TOEFL ITP550 (iBT79)/TOEIC IP750/IELTS 6.5 以上) は、条件を満たしていると特別にみなします。その場合、当該試験のスコアコピー (WeTEC の場合はそのスコアコピー) を初回の授業で提出してください。

I
免許状とは

II
取得
要件
状

III
科目
登録
成績

IV
介護
等
体験

V
教育
実習

VI
免許
状
申請

VII
教員
就職

VIII
卒業
後の
取得

X
その他
資格

XI
連絡
先
一覧

(3)「教職実践演習(中・高)」

【科目登録方法】

対象者	履修条件	本年度「教育実習演習」を登録している場合	前年度(まで)に「教育実習演習」の単位を修得済の場合
2010年度以降入学者および2009年度以前入学者のうち「総合演習」の単位未取得者		春学期中に単位修得済、または夏秋期クラスに履修中の教育実習演習と同一クラスの「教職実践演習」が自動登録されます。	教職実践演習は自動登録されませんので、個別に登録します。教育学部事務所に8月中にお申し出ください。
「教職実践演習」もしくは「総合演習」の単位不可者(再履修者)		教職実践演習は自動登録されませんので、個別に登録します。教育学部事務所に8月中にお申し出ください。	

- 戸山キャンパス開講クラスについては、文化構想学部および文学部生推奨のクラスです。
- 所沢キャンパス開講クラスのうち、AO および Tクラスについては、スポーツ科学部生推奨のクラスです。また、AP クラスは人間科学部生を推奨としたクラスです。

■ 前提条件

4 年次秋学期に配当されている「**教職実践演習**」を履修するためには、「**教育実習演習**」の単位を修得済み、もしくは履修中である必要があります。

また、それまでに、履修カルテを作成しておく必要があります。

『教職履修カルテ』の作成について

教員免許状を取得しようとする学生は、教職課程の科目履修を始めてから、「教職実践演習」(4 年次秋学期)の**授業を受ける前までに**、各自『教職履修カルテ』を作成しなければなりません。『教職履修カルテ』とは、自分が教職課程の授業の中で何を学んだのかを振り返るとともに、今後どのような学習が必要なのかを考えるための手がかりにしてもらうためのものです。

- **「教職実践演習」の履修には、『教職履修カルテ』の作成が必須です。**
- **それまでに準備が整わない場合、当該科目を履修することができません。**

【履修カルテ作成手順】

- ① 教職支援センターホームページ (<https://www.waseda.jp/fedu/tec/>) にアクセスし、所定の用紙を自分でダウンロード。
- ② プリントアウトした用紙に、以下の指定された科目を通して「学んだこと」「今後の課題」を記述。
- ③ 各自で用意したバインダーに綴じる。
- ④ 各自作成した『教職履修カルテ』は、4 年の秋学期に「教職実践演習」を担当する教員に提出。

【履修カルテ対象科目】

以下の科目(同等科目含む)について、カルテを作成しなければなりません。

作成の必要性	科目名
必須	「教職概論」、「教育基礎総論1」、「教育基礎総論2」、「教育心理学」、「教科教育法(そのうち必修の科目)」、「道徳教育論」、「生徒理解と教育相談」、「介護体験実習講義」、「教育実習演習(2週間・3週間)」
任意	「学級経営インターンシップ」「特別支援教育インターンシップ」「インクルーシブ教育インターンシップ」、「初等教育インターンシップ」「中等国語科インターンシップ」 ※また、科目ではありませんが、「教育ボランティア」についても、貴重な経験であることから、履修カルテの作成を推奨します。

(4) その他の科目

科目	履修ルール
「道徳教育論」	通常は中学校免許取得のために「教職に関する科目（必修）」として履修する科目ですが、高校免許取得時には、「教科又は教職に関する科目」として扱われます。
「教育実習演習（2週間）」 「教育実習演習（3週間）」	2012年度までは通年科目でしたが、2013年度から半期科目になりました。 履修ルールの詳細は☞ P.47～52 を参照してください。

3 教職に関する科目（選択）

(1) 「教科教育法 4」

「教科教育法 4」を科目登録するためには、同一教科の「教科教育法 1」及び「教科教育法 2」の単位を修得済みである必要があります。

また、取得予定の免許教科の「教科教育法 4」の単位を修得した場合、「教科又は教職に関する科目」として扱われます（例、国語の免許取得予定者が「国語科教育法 4」の単位を修得した場合）。ただし、「社会科教育法 4」は、例外的に、「中学社会」だけでなく異なる免許教科である高校「地理歴史」「公民」の免許取得にあたっても「教科又は教職に関する科目」として扱われます。

(2) 「教科教育法 4」以外の科目

修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として扱われます。

(3) 「教職研究Ⅶ（特別支援教育）」

2014年度からは科目名が「教職研究Ⅶ（特別支援教育）」となりました。2013年度以前に「教職研究Ⅶ（障害児教育）」を履修した学生は、「教職研究Ⅶ（特別支援教育）」は登録できません。

4 教科に関する科目

教育学部設置「教職用教科に関する科目」

【「新国語教育講座」】

教育学部、文化構想学部、文学部生が中学一種「国語」、高校一種「国語」の教員免許状を取得するために、選択科目として履修することができる「教科に関する科目」です。

【「新国語教育講座」以外の科目】

政治経済学部、法学部、教育学部、社会科学部生が中学一種「社会」、高校一種「地理歴史」「公民」の教員免許状を取得するために履修することができる「教科に関する科目」です。

5 教科又は教職に関する科目

(1) 教育学部、人間科学部、文化構想学部、文学部生への注意事項

「教科又は教職に関する科目」に充当される科目が所属学部にも設置されています。詳細は所属学部の「学部要項」（教育学部生は「授業ガイド」）を参照してください。

(2) 「介護体験実習講義」

履修ルールの詳細は☞ P.41～44 を参照してください。

(3)「学級経営インターンシップ」「特別支援教育インターンシップ」「インクルーシブ教育インターンシップ」

該当科目の科目登録希望者については、Webでの科目登録だけでなく、以下の要件を満たす必要があります。

【説明会への参加】

以下のとおり説明会を開催しますので、科目登録者または希望者は参加してください。

日時：2018年4月9日(月) 昼休み(12:15～13:00)

場所：16号館 701教室(予定)

【アンケートフォーム】

Webでの科目登録と同時に、MyWasedaより、「2018年度教育インターンシップ登録希望申請」アンケートに回答してください(登録期間は、科目の登録期間に準じます)。

詳細については MyWaseda のお知らせで周知します。

【前提条件】

原則として、以下前提条件の両方を満たしていることが望ましいです。

①「人間理解基盤講座」の単位を修得済みまたは春学期に並行履修していること。(並行履修の場合は、春学期に登録をおこなうこと。)

ただし、「特別支援教育インターンシップ」のみ、前年度までに当該科目の単位を修得済みであることが必須。

②「教職概論」、「教育基礎総論1・2(中・高)」、「教育課程編成論(中・高)」、「教育心理学」、「教科教育法1・2」の単位を修得済みであること。

※「生徒指導・進路指導論」および「教育方法研究」の単位を修得済みまたは並行履修していることが望ましい。

(4)「初等教育インターンシップ」

「初等教育インターンシップ」については、履修前年度に説明会へ参加し、自身で受入れ先の学校から内諾を得た上で、所定の期日までに教育・総合科学学術院事務所に届け出た学生のみ、自動登録されます。

【説明会への参加】

以下のとおり説明会を開催しますので、2019年度履修希望者は必ず参加してください。

日時：2018年10月16日(火) 昼休み(12:15～13:00)

場所：16号館 411教室(予定)

【前提条件】

＜教育学部初等教育学専攻の学生＞

小学校免許の教育実習前提条件(「教育学部授業ガイド」参照)を満たしていること。

＜上記以外の学生＞

「学級経営インターンシップ」「特別支援教育インターンシップ」「インクルーシブ教育インターンシップ」の前提条件と同様。

(5)「中等国語科インターンシップ」(日程等の詳細は掲示を参照のこと)

【科目登録方法】

科目登録は MyWaseda では行いません。3月の成績発表後、教育・総合科学学術院事務所に配布の「中等国語科インターンシップ科目履修申請書」に必要事項を記入し、教育・総合科学学術院事務所へ直接提出してください。その後、教員による面接を経て登録を認めます。面接の結果、登録が認められな

いともあります。

【前提条件】

以下1～3の条件を全て満たす必要があります。

1. 学部新3年生以上、または教育学研究科在学中の学生
2. 卒業後、中学校・高等学校の国語科教員となる意志が明確であること
3. 以下①および②の条件を満たすこと
 - ① 2017年度までに「国語科教育法1」および「国語科教育法2」の単位を修得済みであること。または、2018年度に「国語科教育法1」「国語科教育法2」を履修予定であること。
 - ② 2017年度までに教育学部国語国文学科専門選択科目（オープン科目）である「授業に活かすマルチメディア」、「届く声を育てるワークショップ」、「授業に活かす朗読講座」のうち1科目2単位を修得済みであること。または、2018年度に「授業に活かすマルチメディア」、「授業に活かす朗読講座」のどちらかを履修予定であること。

【修得した科目の扱いについて】

文科省の指摘により、2014年度以降は国語の免許にしか使用できなくなりました。なお、2013年度までに単位を修得したものについては、全教科において有効です。

(6) 「国語科授業技術演習」

【修得した科目の扱いについて】

文科省の指摘により、2014年度以降は国語の免許にしか使用できなくなりました。なお、2013年度までに単位を修得したものについては、全教科において有効です。

6 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

(1) 「スポーツ実習Ⅰ」「スポーツ実習Ⅱ」

いずれも1単位の科目ですので、「体育（実技）」の最低修得単位数である2単位の要件を満たすためには、2科目以上の単位を修得する必要があります。

(2) 「スポーツ実習Ⅰ（体育各部）」「スポーツ実習Ⅱ（体育各部）」

いずれも教員免許の単位として有効です。

(3) 事情によりスポーツ実習を履修できない場合

身体虚弱または慢性的な疾病および心身に障がいがある等の理由で、在学中を通じて、スポーツ実習の履修が困難である場合は、春学期1次科目登録前にグローバルエデュケーションセンター戸山分室（戸山キャンパス内33号館1階）に、理由を証明する公的な証明書（医師の診断書等）を持参のうえ、相談してください。

I
免許状とは

II
取得
免許
要件
状

III
科目
登録
成績

IV
介護
等
体験

V
教育
実習

VI
免許
状
申請

VII
教員
就職

VIII
教
免
取
得
卒
業
後
の

X
その他
資格

XI
連絡
先
一覧

1 科目登録方法

- 資格取得に必要な科目を確認し、要件を満たすように漏れなく登録してください。所属学部・研究科が定める登録方法・日程に従って履修申請してください。
- 配当年次以上の科目を登録できます。
- 教育学部設置科目の授業は、原則早稲田キャンパスで行います。それ以外のキャンパスで開講される授業については、時間割の組名にキャンパス名の記載があります。
- 履修科目の単位の取り扱いは、所属学部の「学部要項」、「講義要項」（教育学部生は「授業ガイド」）、「科目登録の手引き」等を参照してください。
- 「教育実習演習」「介護体験実習講義」は、1次登録時のみ「希望順位登録」を行います。
「希望順位登録」とは、抽選が行われる可能性が高い科目を同時に複数クラス申請できる登録方法です。希望順位選択のプルダウンメニューが表示されますので、必ず第1希望から順に選択してください。第1希望が選択されていない場合、正しく科目申請されませんので注意してください。

科目登録画面

科目区分	単位	希望順位
教職必修 (非算入)	2	1 介護体験実習 講義 / 01
教職必修 (非算入)	2	01 介護体験実習 02 03 / 01



希望順位（第1希望～第3希望）に従い、最優先で科目登録されますので、希望順位で申請したクラスと他の科目の曜日時限が重複しないように注意してください。

- 履修希望者が、あらかじめ定められている科目の定員や、割り当てられている教室の収容定員を超えてしまった場合、定員の範囲内で登録者を決定するために抽選が行われます。抽選の優先順位は、原則として、下表のとおりとなっています。

優先順位表

（数字が小さいほど優先順位が高い）

学年	教職課程科目
1年生	5
2年生	4
3年生	3
4年生	2
延長生	1

2 聴講料納入

下記の科目を履修する場合は教職課程聴講料の納入が必要です。
教職に関する科目（必修・選択）等については、本冊子履修科目一覧 P.11 ～をご参照ください。

2014 年度以前入学者

対象科目	聴講料	聴講料納入
教職課程設置科目 教職に関する科目（必修科目） 教職に関する科目（選択科目） 教科又は教職に関する科目	¥10,000	聴講料を一度納入すれば在学中有効。

2015 年度以降入学者

対象科目	聴講料	聴講料納入
教職課程設置科目 教職に関する科目（必修科目） 教職に関する科目（選択科目）	1 単位につき ¥1,000	「教職に関する科目（必修・選択）」を登録する度毎に、登録単位数に応じた聴講料の納入が必要です。※次年度以降、再履修の場合も同様に聴講料の納入が必要です。

●聴講料納入方法

聴講料の納入方法は所属学部・研究科事務所の案内に従ってください。
履修科目の聴講料は全て納入する必要があります。（特定の科目の聴講料のみ納入することはできません。）
聴講料が期限内に納入されなかった場合は科目登録が「取消」になります。



- 教員免許状の資格取得以外の目的で教職課程設置科目を履修する場合も聴講料の納入が必要です。
- 学士入学者で過去に本学に在籍し、聴講料（1 万円）を納入したことがある場合でも改めて聴講料の納入が必要です。
- 再入学者で過去に聴講料（1 万円）を納入したことがある場合は再度の聴講料の納入は不要です。
- 転部・転科学生は旧学籍で聴講料（1 万円）を納入したことがある場合は再度の聴講料の納入は不要です。
- 転部・転科、学士入学者で初めて教職課程設置科目を履修する場合は入学時同学年者の入学年度での聴講料徴収となります。例）2018 年度学士入学者＝2016 年度入学者の聴講料納入制度適用
- 各学部設置されている「教職に関する科目」に充当される科目は聴講料の納入は不要です。

3 「教職に関する科目（必修および選択）」の年間履修制限単位数

- 教育学部教職課程設置「教職に関する科目（必修および選択）」は、1 年間で科目登録できる単位数の上限が「20 単位」となっています。
- 「教科又は教職に関する科目」「教職用教科に関する科目」「司書関連科目」「学芸員関連科目」、所属学部設置されている「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」に充当される科目については、この制限の対象になりません。



- 「教職に関する科目（必修および選択）」は、年間 20 単位を越えて登録することはできません。20 単位を越えて申請した場合、無作為に抽出した科目が取り消されます。
- web 履修申請システムでは、年間上限登録単位数を超過して申請しても、警告のメッセージは出ませんので注意してください。

授業時間割

※授業時間割が変更になる場合は教職支援センターホームページでお知らせします。

1 教職に関する科目（必修） ⚠ 年間履修制限単位数（20 単位）に含まれます。

以下は、教育学部教職課程設置科目です。所属学部「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」に充当される科目がある場合は「履修方法」などを所属学部の「授業ガイド」や「学部要項」「科目登録の手引き」を参照し、履修してください。

配当 年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	備考
1～	教職概論(中・高)	春学期	火	6	A	2	上野 正道	介護等体験および教育実習実施前年度までに単位を修得すること。☞P.42,48
			木	4	G	2	佐藤 千津	
			木	6	D	2	油布佐和子	
			土	1	B	2	藤平 敦	
		秋学期	火	5	F	2	佐藤 晴雄	
			水	5	H	2	羽入田真一	
			金	5	C	2	内山 宗昭	
			金	6	J(所沢)	2	奥野 武志	
			土	1	E	2	藤平 敦	
			月	2	B	2	上坂 保仁	
1～	教育基礎総論1(中・高)	春学期	月	5	J(所沢)	2	大岡 ヨト	教育実習実施前年度までに単位を修得すること。☞P.48
			月	6	A	2	奥野 武志	
			水	5	G	2	湯川 次義	
			金	6	C	2	古賀 毅	
		秋学期	月	3	D	2	藤井 千春	
			月	5	F	2	上坂 保仁	
			火	5	E	2	山本 正身	
1～	教育基礎総論2(中・高)	春学期	火	1	B	2	小松 茂久	教育実習実施前年度までに単位を修得すること。☞P.48 また、介護等体験実施前年度までに単位を修得していることが望ましい。☞P.42 秋学期のクラスが少ないので、なるべく春学期に履修するようにしてください。
			水	6	D	2	長島 啓記	
			土	2	F	2	藤平 敦	
		秋学期	水	5	G	2	湯川 次義	
			木	3	J(所沢)	2	時田 詠子	
			木	4	E	2	佐藤 千津	
			木	5	C	2	佐藤 千津	
			金	4	A	2	鶴海未祐子	
			月	4	G	2	岡田 佳子	
			月	5	J(所沢)	2	阪脇 孝子	
1～	教育心理学(中・高)	春学期	火	1	H	2	高橋あつ子	教育実習実施前年度までに単位を修得すること。☞P.48 また、介護等体験実施前年度までに単位を修得していることが望ましい。☞P.42 秋学期のクラスが少ないので、なるべく春学期に履修するようにしてください。
			火	2	B	2	岡田いずみ	
			火	3	D	2	岡田いずみ	
			水	5	C	2	椎名 乾平	
			木	4	K	2	上淵 寿	
			金	3	A	2	藤原 善美	
			金	5	E	2	伊藤 朋子	
		秋学期	金	2	F	2	藤原 善美	
2～	教育課程編成論(中・高)	春学期	火	2	A	1	今尾 佳生	教育実習実施前年度までに単位を修得すること。☞P.48 Eクラス:フルオンデマンド Bクラス授業日: 8/30(月)2～5限、 8/31(火)2～5限 J(所沢)クラス授業日: 8/6(月)2～4限、 8/7(火)2～4限、 8/8(水)2～3限
			金	3	H	1	関根 明伸	
			金	4	G	1	姜 華	
			金	5	F	1	姜 華	
		秋学期	金	5	I	1	姜 華	
			無	フル オンデマンド	E	1	水原 克敏 姜 華	
		夏季 集中	無	その他	B	1	上坂 保仁 小林 宏己	
			無	その他	J(所沢)	1	金 泰勲	
			-	-	C	1	【休講】	

配当 年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	備考
2～	教育課程編成論(中・高)	冬季 集中	無	その他	D	1	水原 克敏	Dクラス授業日: 12/25(火) 2～5限、 12/26(水) 2～5限
1～	道徳教育論(中・高)	春学期	月 火 金 土	4 3 2 2	J(所沢) E B G	2 2 2 2	宮本 浩紀 平田 文子 関根 明伸 村松 灯	履修ルールがあります。☞P.18
		秋学期	月 火 火 木 木	1 3 6 3 5	C H F A D	2 2 2 2 2	宮本 浩紀 平田 文子 吉田 武男 大川 洋 松木 久子	
		春学期	火 火 土 土	4 6 2 3	D A B H	2 2 2 2	有村 久春 田沼 光明 金山 光一 金山 光一	
1～	特別活動論(中・高)	秋学期	月 月 月 木 金	1 6 6 5 5	F G C E J(所沢)	2 2 2 2 2	古市 将樹 奥野 武志 野口 穂高 金山 光一 小林 誠	
2～	教育方法研究(中・高)	春学期	月 月 木 木 木	5 5 2 5 6	H B E C A	2 2 2 2 2	田中 博之 原 克彦 山路 進 三尾 忠男 波多野和彦	2006年度以降入学者は、教育 実習実施前年度までに単位を 修得すること。☞P.48
		秋学期	月 火 木 木 木	5 4 2 5 6	I J(所沢) F D G	2 2 2 2 2	田中 博之 川原健太郎 山路 進 三尾 忠男 波多野和彦	
		春学期	火 火 火 水	3 3 4 1	D B E J(所沢)	2 2 2 2	鈴木 俊裕 羽入田眞一 佐藤 晴雄 井芹 まい	
1～	生徒指導・進路指導論 (中・高)	秋学期	火 水 水 金	4 4 5 3	G F C A	2 2 2 2	佐藤 晴雄 小野寺正己 小野寺正己 藤原 善美	
1～	生徒理解と教育相談 (中・高)	春学期	月 火 火	5 5 5	C F D	2 2 2	河村 茂雄 石川 悦子 今津 芳恵	2007年度以前に教育臨床論の 単位を修得した場合は、履修 する必要はありません。
		秋学期	月 火 火 火 水 金	4 1 5 6 2	G H A E J(所沢)	2 2 2 2 2	岡田 佳子 高橋あつ子 今津 芳恵 近藤 育代 永作 稔	
		夏季 集中	無	その他	B	2	田村 節子	
4～	教育実習演習(中・高) (2週間)	春学期	月 月 月 月 月 月 火 火 火 火	3 4 4 4 5 6 2 2 2 2	AM Y AL T(所沢) V X C B AJ AE	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	大岡 ヨト 河村 茂雄 鈴木 俊裕 平田 文子 細谷 美明 田中 博之 市川 恵 岩崎 正吾 川原健太郎 高橋あつ子	Bクラス授業日: 8/27(月) 1～5 限、8/28(火) 1～5限、8/29 (水) 1～5限 戸山キャンパス開講クラスにつ いては、文化構想学部および 文学部生推奨のクラスです。所 沢キャンパス開講クラスのう ち、AOおよびTクラスについて は、スポーツ科学部生推奨の クラスです。また、APクラス は、人間科学部生推奨のクラ スです。教育実習実施年度に 履修してください。☞P.47 前提 条件があります。☞P.48

I
免許状とはII
取得
免許
状
要件III
科目
登録
成績IV
介護
等
体験V
教育
実習VI
免許
状
申請VII
教員
就職VIII
教免
取得
後のIX
その他
資格XI
連絡
先
一覧

配当 年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	備考
4～	教育実習演習(中・高) (2週間)	春学期	火	2	K	3	平田 文子	戸山キャンパス開講クラスについては、文化構想学部および文学部生推奨のクラスです。 所沢キャンパス開講クラスのうち、AOおよびTクラスについては、スポーツ科学部生推奨のクラスです。 また、APクラスは、人間科学部生推奨のクラスです。 教育実習実施年度に履修してください。☞P.47 前提条件があります。☞P.48
			火	2	O	3	前田 耕司	
			火	6	H(戸山)	3	梅本 洋	
			火	6	AP(所沢)	3	真下 峯子	
			水	2	S	3	市川 恵	
			水	3	F	3	市川 恵	
			水	3	L	3	奥野 武志	
			水	3	Z	3	佐藤 隆之	
			水	4	AB	3	上淵 寿	
			水	4	G	3	奥野 武志	
			水	6	P(戸山)	3	沖 清豪	
			木	1	D	3	坂内 夏子	
			木	1	Q	3	藤井 千春	
			木	1	AO(所沢)	3	山口 裕貴	
			木	2	M	3	米村 健司	
			木	3	AI	3	福井 庸子	
			木	4	AD	3	梅永 雄二	
			木	4	I(所沢)	3	時田 詠子	
			木	5	AQ	3	岡田 芳廣	
			木	5	U	3	羽入田真一	
			土	1	AA	3	椎名 乾平	
					AF	3	【休講】	
					AH(戸山)	3	【休講】	
					AK	3	【休講】	
					AG(戸山)	3	【休講】	
					AN(所沢)	3	【休講】	
					E(戸山)	3	【休講】	
		夏秋期	水	6	AC	3	堀 正士	ACクラス授業日： 8/20(月)3～4限、 8/21(火)3～4限 事後指導： 秋学期水曜日6限
			木	3	J	3	菊地 栄治	Jクラス授業日： 8/6(月)1～5限 事後指導： 秋学期木曜日3限
			木	3	W	3	小松 茂久	Wクラス授業日： 8/6(月)2～5限 事後指導： 秋学期木曜日3限
			木	5	N	3	小林 敦子	Nクラス授業日： 8/7(火)2～5限 事後指導： 秋学期木曜日5限
			金	1	A	3	三尾 忠男	Aクラス授業日： 8/31(金)1～5限 事後指導： 秋学期金曜日1限
			金	2	R	3	吉田 文	Rクラス授業日： 8/6(月)2～5限 事後指導： 秋学期金曜日2限
4～	教育実習演習(中・高) (3週間)	春学期	月	3	AM	5	大岡 ヨト	戸山キャンパス開講クラスについては、文化構想学部および文学部生推奨のクラスです。所沢キャンパス開講クラスのうち、AOおよびTクラスについては、スポーツ科学部生推奨のクラスです。また、APクラスは、人間科学部生推奨のクラスです。教育実習実施年度に履修してください。☞P.47 前提条件があります。☞P.48
			月	4	Y	5	河村 茂雄	
			月	4	AL	5	鈴木 俊裕	
			月	4	T(所沢)	5	平田 文子	
			月	5	V	5	細谷 美明	
			月	6	X	5	田中 博之	
			火	2	C	5	市川 恵	
			火	2	B	5	岩崎 正吾	
			火	2	AJ	5	川原健太郎	
			火	2	AE	5	高橋あつ子	

配当 年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	備考
4～	教育実習演習(中・高) (3週間)	春学期	火	2	K	5	平田 文子	戸山キャンパス開講クラスについては、文化構想学部および文学部生推奨のクラスです。所沢キャンパス開講クラスのうち、AOおよびTクラスについては、スポーツ科学部生推奨のクラスです。また、APクラスは、人間科学部生推奨のクラスです。教育実習実施年度に履修してください。☞P.47
			火	2	O	5	前田 耕司	
			火	6	H(戸山)	5	梅本 洋	
			火	6	AP(所沢)	5	真下 峯子	
			水	2	S	5	市川 恵	
			水	3	F	5	市川 恵	
			水	3	L	5	奥野 武志	
			水	3	Z	5	佐藤 隆之	
			水	4	AB	5	上淵 寿	
			水	4	G	5	奥野 武志	
			水	6	P(戸山)	5	沖 清豪	
			木	1	D	5	坂内 夏子	
			木	1	Q	5	藤井 千春	
			木	1	AO(所沢)	5	山口 裕貴	
			木	2	M	5	米村 健司	
			木	3	AI	5	福井 庸子	
			木	4	AD	5	梅永 雄二	
			木	4	I(所沢)	5	時田 詠子	
			木	5	AQ	5	岡田 芳廣	
			木	5	U	5	羽入田 眞一	
			土	1	AA	5	椎名 乾平	
					AF	5	【休講】	
					AG(戸山)	5	【休講】	
					AH(戸山)	5	【休講】	
					AK	5	【休講】	
					E(戸山)	5	【休講】	
					AN(所沢)	5	【休講】	
		夏秋期	水	6	AC	3	堀 正士	ACクラス授業日： 8/20(月)3～4限、 8/21(火)3～4限 事後指導： 秋学期水曜日6限
			木	3	J	3	菊地 栄治	Jクラス授業日： 8/6(月)1～5限 事後指導： 秋学期木曜日3限
			木	3	W	3	小松 茂久	Wクラス授業日： 8/6(月)2～5限 事後指導： 秋学期木曜日3限
			木	5	N	3	小林 敦子	Nクラス授業日： 8/7(火)2～5限 事後指導： 秋学期木曜日5限
			金	1	A	3	三尾 忠男	Aクラス授業日： 8/31(金)1～5限 事後指導： 秋学期金曜日1限
			金	2	R	3	吉田 文	Rクラス授業日： 8/6(月)2～5限 事後指導： 秋学期金曜日2限
4～	教職実践演習(中・高)	秋学期	月	3	AM	2	大岡 ヨト	戸山キャンパス開講クラスについては、文化構想学部および文学部生推奨のクラスです。所沢キャンパス開講クラスのうち、AOおよびTクラスについては、スポーツ科学部生推奨のクラスです。また、APクラスは、人間科学部生推奨のクラスです。教育実習実施年度に履修してください。履修ルールがあります。☞P.17 2012年度以前に「総合演習(中・高)」または「総合演習(小・中・高)」の単位を修得した場合は、履修する必要はありません。☞P.17
			月	3	AM	2	村上 公一	
			月	4	Y	2	河村 茂雄	
			月	4	AL	2	鈴木 俊裕	
			月	4	AL	2	渡邊 公夫	
			月	4	T(所沢)	2	平田 文子	
			月	4	T(所沢)	2	吉永 武史	
			月	5	V	2	細谷 美明	
			月	6	X	2	田中 博之	
			月	6	AC	2	堀 正士	

I
免許状とはII
免許取得要件III
科目登録成績IV
介護等体験V
教育実習VI
免許状申請VII
教員就職VIII
卒業後の教員取得X
その他資格XI
連絡先一覧

配当 年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	備考
4～	教職実践演習(中・高)	秋学期	火	2	C	2	市川 恵	戸山キャンパス開講クラスについては、文化構想学部および文学部生推奨のクラスです。 所沢キャンパス開講クラスのうち、AOおよびTクラスについては、スポーツ科学部生推奨のクラスです。 また、APクラスは、人間科学部生推奨のクラスです。 教育実習実施年度に履修してください。 履修ルールがあります。☞P.17 2012年度以前に「総合演習(中・高)」または「総合演習(小・中・高)」の単位を修得した場合は、履修する必要はありません。☞P.17
			火	2	B	2	岩崎 正吾	
			火	2	AJ	2	川原健太郎	
			火	2	AE	2	高橋あつ子	
			火	2	K	2	平田 文子	
			火	2	O	2	前田 耕司	
			火	2	AJ	2	町田 守弘	
			火	6	H(戸山)	2	梅本 洋	
			火	6	AP(所沢)	2	保崎 則雄	
			火	6	AP(所沢)	2	真下 峯子	
			水	2	S	2	市川 恵	
			水	3	F	2	市川 恵	
			水	3	L	2	奥野 武志	
			水	3	Z	2	佐藤 隆之	
			水	3	R	2	吉田 文	
			水	4	AB	2	上淵 寿	
			水	4	G	2	奥野 武志	
			水	6	P(戸山)	2	沖 清豪	
			木	1	D	2	坂内 夏子	
			木	1	AO(所沢)	2	深見英一郎	
			木	1	AO(所沢)	2	山口 裕貴	
			木	1	Q	2	藤井 千春	
			木	2	M	2	米村 健司	
			木	3	AI	2	澤木 泰代	
			木	3	AI	2	福井 庸子	
			木	4	AD	2	梅永 雄二	
			木	4	N	2	小林 敦子	
			木	4	W	2	小松 茂久	
			木	4	I(所沢)	2	時田 詠子	
			木	5	AQ	2	岡田 芳廣	
			木	5	J	2	菊地 栄治	
			木	5	U	2	油布佐和子	
			金	2	A	2	三尾 忠男	
			土	1	AA	2	椎名 乾平	
					AH(戸山)	2	【休講】	
					E(戸山)	2	【休講】	
					AK	2	【休講】	
					AG(戸山)	2	【休講】	
					AF	2	【休講】	
					AN(所沢)	2	【休講】	

2

教科教育法(教職に関する科目・必修)

⚠ 年間履修制限単位数(20単位)に含まれます。

配当年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	備考
2～	国語科教育法1	春学期	月	5	D	2	渡辺 通子	履修ルールがあります。☞P.16
			水	5	E	2	本橋 幸康	
			金	6	G	2	熊谷 芳郎	
			土	3	F	2	内田 剛	
		秋学期	月	5	B	2	佐野 正俊	
			水	4	A	2	渡辺 通子	
2～	国語科教育法2	春学期	木	6	C	2	岸 洋輔	
			月	5	B	2	佐野 正俊	
			水	3	A	2	本橋 幸康	
		秋学期	木	6	C	2	岸 洋輔	
			水	4	D	2	江口 千晶	
			水	5	E	2	本橋 幸康	
2～	国語科教育法3	春学期	金	5	G	2	熊谷 芳郎	
			土	3	F	2	内田 剛	
			月	6	E	2	甲斐 伊織	
		秋学期	水	5	A	2	古家 敏亮	
			月	6	D	2	甲斐 伊織	
			火	6	C	2	大貫 真弘	
2～	社会科教育法1	春学期	水	5	B	2	幸田 国広	
			火	4	D	2	本木 弘悌	
			水	4	A	2	田部 俊充	
		秋学期	金	4	B	2	近藤 裕幸	
			金	5	C	2	近藤 裕幸	
			火	4	G	2	本木 弘悌	
2～	社会科教育法2	春学期	火	5	F	2	本木 弘悌	
			水	4	H	2	田部 俊充	
			水	5	I	2	田部 俊充	
		秋学期	金	4	E	2	近藤 裕幸	
			月	5	I	2	高橋 傑	
			火	6	F	2	河合 敦	
2～	社会科教育法3	春学期	木	5	E	2	北河 賢三	
			金	6	G	2	今井 修	
			土	2	H	2	三橋 廣夫	
		秋学期	火	6	B	2	河合 敦	
			木	5	A	2	北河 賢三	
			金	6	C	2	今井 修	
2～	社会科教育法3	春学期	土	2	D	2	三橋 廣夫	
			火	6	C	2	小泉 博明	
			水	4	E	2	近藤 孝弘	
		秋学期	水	5	F	2	近藤 孝弘	
			木	4	A	2	阿部信太郎	
			金	6	B	2	小嶋 栄一	
2～	地理歴史科教育法1	春学期	金	6	D	2	吉田 俊弘	
			月	5	G	2	近藤 孝弘	
			火	6	I	2	小泉 博明	
		秋学期	木	5	H	2	阿部信太郎	
			月	5	C	2	池 俊介	
			火	5	A	2	本木 弘悌	
2～	地理歴史科教育法1	春学期	水	5	E	2	松澤 徹	
			水	6	B	2	小嶋 栄一	
			木	5	D	2	秋本 弘章	
		秋学期	金	5	F	2	望月 雅士	
			月	5	L	2	池 俊介	
			水	5	K	2	松澤 徹	
2～	地理歴史科教育法1	秋学期	水	6	G	2	小嶋 栄一	
			金	5	H	2	近藤 裕幸	
2～	地理歴史科教育法1	秋学期	金	6	I	2	山本 隆太	
			金	6	I	2	山本 隆太	

I 免許状とは

II 取得要件
免許状III 科目登録
成績

IV 介護等体験

V 教育実習

VI 免許状申請

VII 教員就職

VIII 教免取得
卒業後の

X その他資格

XI 連絡先一覧

配当 年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	備考
2～	地理歴史科教育法2	春学期	月	5	I	2	松井 吉昭	履修ルールがあります。☞P.16
			火	5	G	2	河合 敦	
			木	6	H	2	野中 敬	
			金	5	L	2	勝畑 冬実	
			土	6	K	2	熊本 秀子	
		秋学期	月	5	F	2	松井 吉昭	
			火	5	A	2	河合 敦	
			木	6	D	2	野中 敬	
			金	5	E	2	勝畑 冬実	
			金	5	B	2	望月 雅士	
2～	公民科教育法1	春学期	土	6	C	2	熊本 秀子	
			月	4	A	2	宮崎 猛	
			火	6	D	2	檜原 毅	
			火	6	E	2	松澤 徹	
			木	5	F	2	近藤 孝弘	
		秋学期	金	6	C	2	魚山 秀介	
			土	5	B	2	大杉 昭英	
			月	4	H	2	宮崎 猛	
			火	6	G	2	檜原 毅	
			水	5	I	2	近藤 孝弘	
2～	公民科教育法2	春学期	月	5	H	2	宮崎 猛	
			火	5	G	2	小泉 博明	
			月	5	A	2	宮崎 猛	
		秋学期	火	5	D	2	小泉 博明	
			火	6	E	2	松澤 徹	
			金	5	C	2	魚山 秀介	
			金	6	I	2	魚山 秀介	
			金	6	F	2	吉田 俊弘	
			土	5	B	2	大杉 昭英	
			木	4	B	2	渡邊 公夫	
2～	数学科教育法1	春学期	木	5	C	2	池田 敏和	
			金	5	A	2	渡邊 公夫	
			木	4	B	2	渡邊 公夫	
2～	数学科教育法2	秋学期	木	5	C	2	池田 敏和	
			金	5	A	2	渡邊 公夫	
2～	数学科教育法3	春学期	木	3	A	2	両角 達男	
		秋学期	木	6	C	2	池田 敏和	
		秋学期	木	3	B	2	両角 達男	
2～	理科教育法1	春学期	火	6	C(西早稲田)	2	小川 慎一郎	
		秋学期	土	2	A	2	宮下 敦	
		春学期	水	6	B	2	二宮 穰	
2～	理科教育法2	春学期	水	6	B	2	二宮 穰	
		秋学期	火	6	C(西早稲田)	2	竹田 淳一郎	
		秋学期	土	2	A	2	宮下 敦	
2～	理科教育法3	春学期	火	6	B	2	加藤 陽一郎	
		秋学期	土	4	A	2	宮下 敦	
2～	英語科教育法1	春学期	火	5	E	2	堀口 貫治	
			水	6	F	2	行名 一夫	
			木	6	A	2	岡田 圭子	
			金	2	J(所沢)	2	保崎 則雄	
		秋学期	火	5	D	2	堀口 貫治	
			火	6	B	2	堀口 貫治	
			火	6	C	2	行名 一夫	
			水	1	C	2	阿川 敏恵	
2～	英語科教育法2	春学期	水	4	D	2	マキュワン麻哉	
			水	3	J(所沢)	2	鈴木 広子	
		秋学期	水	4	E	2	マキュワン麻哉	
			水	6	F	2	行名 一夫	
			木	5	A	2	佐藤 眞理子	
			木	6	B	2	岡田 圭子	

配当 年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	備考
2～	英語科教育法3	春学期	火	6	E	2	堀口 貴治	履修ルールがあります。☞P.16
			金	4	A	2	阿野 幸一	
			金	5	C	2	阿野 幸一	
		秋学期	金	3	J(所沢)	2	保崎 則雄	
			金	4	B	2	阿野 幸一	
2～	保健体育科教育法1	春学期	金	5	D	2	阿野 幸一	
			月	1	B(所沢)	2	吉永 武史	
			月	4	C(所沢)	2	細越 淳二	
			水	5	E(所沢)	2	深見英一郎	
			木	5	A(所沢)	2	友添 秀則	
2～	保健体育科教育法2	秋学期	金	5	D(所沢)	2	岡崎 勝博	
			月	1	B(所沢)	2	吉永 武史	
			月	4	C(所沢)	2	細越 淳二	
			水	5	E(所沢)	2	深見英一郎	
			木	5	A(所沢)	2	友添 秀則	
2～	保健体育科教育法3	秋学期	金	5	D(所沢)	2	岡崎 勝博	
			月	5	C(所沢)	2	吉永 武史	
		夏季集中	無	その他	A(所沢)	2	岡出 美則	
			冬季集中	無	その他	B(所沢)	2	岡出 美則
		2～		A(所沢)クラス授業日： 8/8(水)1～5限、 8/9(木)1～5限、 8/10(金)1～5限 履修ルールがあります☞P.16				
B(所沢)クラス授業日： 12/25(火)1～5限、 12/26(水)1～5限、 12/27(木)1～5限 履修ルールがあります☞P.16								
2～	情報科教育法1	春学期	－	－	J(所沢)	2	【休講】	履修ルールがあります。☞P.16
		秋学期	月	5	A	2	橘 孝博	
2～	情報科教育法2	春学期	月	5	A	2	橘 孝博	
		秋学期	－	－	J(所沢)	2	【休講】	
2～	商業科教育法1	春学期	水	6		2	山岡 昭吉	
2～	商業科教育法2	秋学期	水	6		2	山岡 昭吉	
2～	福祉科教育法1	春学期	木	3	(所沢)	2	李 泰俊	
2～	福祉科教育法2	秋学期	木	3	(所沢)	2	李 泰俊	
2～	ドイツ語科教育法1	春学期	月	2		2	高橋 順一	
2～	ドイツ語科教育法2	秋学期	土	3		2	神尾 達之	
3～	ドイツ語科教育法3	春学期	土	2		2	原 克	
2～	フランス語科教育法1	春学期	木	5		2	丸川 誠司	
2～	フランス語科教育法2	秋学期	火	5		2	山根 祐佳	
3～	フランス語科教育法3	春学期	木	6		2	山根 祐佳	
2～	ロシア語科教育法1	春学期	金	1		2	鴻野わか菜	
2～	ロシア語科教育法2	秋学期	金	1		2	鴻野わか菜	
3～	ロシア語科教育法3	春学期	木	1		2	鴻野わか菜	
2～	中国語科教育法1	春学期	火	2		2	村上 公一	
2～	中国語科教育法2	秋学期	火	2		2	村上 公一	
3～	中国語科教育法3	春学期	木	3		2	高橋 良行	
2～	スペイン語科教育法1	春学期	火	2		2	浜 邦彦	
2～	スペイン語科教育法2	秋学期	火	2		2	浜 邦彦	
3～	スペイン語科教育法3	春学期	水	1		2	佐藤麻里乃	

I
免許状とはII
取得
免許
要件
状III
科目
登録
成績IV
介護
等
体験V
教育
実習VI
免許
状
申請VII
教員
就職VIII
卒業
後の
取得X
その他
資格XI
連絡
先
一覧

3

教職に関する科目(選択)

⚠ 年間履修制限単位数(20単位)に含まれます。

配当年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	備考
2～	教職研究I(学校教育法規)	秋学期	木	6		2	白川 優治	履修ルールがあります。☞P.18
2～	教職研究II(教育行政法規)	秋学期				2	【休講】	
2～	教職研究III(日本教育史)	春学期	月	3		2	山本 剛	
2～	教職研究IV(西洋教育史)	春学期				2	【休講】	
2～	教職研究V(学校外教育)	秋学期	金	5		2	前田 崇	
2～	教職研究VIII(総合学習の研究)	春学期	木	4		2	藤井 千春	
2～	教職研究IX(教育経営)	春学期	火	5		2	米岡 裕美	
3～	授業技術演習	春学期	火	4	A	2	鈴木 俊裕	
			土	1-2	B	2	齊藤 和貴	
3～	国語科教育法4	春学期	火	6		2	大貫 眞弘	
3～	社会科教育法4	秋学期	金	5	B	2	山本 隆太	
			土	3	A	2	三橋 廣夫	
3～	英語科教育法4	春学期	火	6		2	行名 一夫	
3～	数学科教育法4					2	【休講】	
3～	理科教育法4					2	【休講】	
3～	保健体育科教育法4				(所沢)	2	【休講】	
3～	ドイツ語科教育法4	秋学期	金	2		2	高橋 順一	
3～	フランス語科教育法4					2	【休講】	
3～	ロシア語科教育法4					2	【休講】	
3～	中国語科教育法4	秋学期	木	3		2	高橋 良行	
3～	スペイン語科教育法4	秋学期	火	1		2	浜 邦彦	

4

教科又は教職に関する科目

⚠ 年間履修制限単位数(20単位)に含まれません。

配当年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	備考
3～	介護体験実習講義	通年	月	5	I	2	梅永 雄二 小倉 尚子	前提条件があります。☞P.42
			月	5	K	2	梅永 雄二 小倉 尚子	
			月	6	L	2	梅永 雄二 小倉 尚子	
			月	6	M	2	梅永 雄二 小倉 尚子	
			月	6	G	2	田添 敦孝 湯汲 英史	
			月	6	H	2	田添 敦孝 湯汲 英史	
			土	3	A	2	山田 祐子 吉田真理子	
			土	3	B	2	山田 祐子 吉田真理子	
			-	-	C	2	【休講】	
			-	-	D	2	【休講】	
			-	-	E	2	【休講】	
			-	-	F	2	【休講】	

配当 年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	備考
2～	人間理解基盤講座	春クォーター	土	3-5	-	2	加瀬 恭子 鎌田 晴美 菊地 祐子 小西 好彦 本田 恵子	
3～	学級経営インターンシップ	通年	月	6	-	4	河村 茂雄 水谷 明弘	
3～	特別支援教育インターンシップ	通年	月	4	-	4	梅永 雄二	履修ルール、前提条件がありますP.19
3～	インクルーシブ教育インターンシップ	通年	無	その他	-	4	本田 恵子	
3～	中等国語科インターンシップ	通年	金	2	-	4	内木 明子 幸田 国広 新美 哲彦	前提条件がありますP.20
3～	初等教育インターンシップ	通年	無	その他	A	4	小林 宏己	特に決まった曜日・時間はありません。登録希望者は前年度11月頃開催の説明会に出席してください。前提条件がありますP.19
		通年	無	その他	B	4	露木 和男	
2～	教職研究VI(生涯教育)	春学期				2	【休講】	
2～	教職研究VII(特別支援教育)	春学期	火	6		2	覚張 秀樹	特別支援学校1種免許状取得希望者は履修することが望ましい。履修ルールがあります。P.18
3～	国語科授業技術演習	春学期	金	5	-	2	上西 辰延 熊谷 芳郎	

5 教職用教科に関する科目 ⚠ 年間履修制限単位数 (20 単位) に含まれません。

政治経済学部、法学部、教育学部、社会科学部生が中学1種「社会」、高校1種「地理歴史」「公民」の免許状を取得するために履修が必要な場合がある「教科に関する科目」です。

また、「新国語教育講座」は、教育学部、文化構想学部、文学部生が中学1種「国語」、高校1種「国語」の免許状を取得するために、選択科目として履修できる「教科に関する科目」です。

所属学部の「学部要項」(教育学部生は「授業ガイド」)を参照し、必要な科目を履修してください。

配当 年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	受講許可学部
2～	日本史I	春学期	木	5	A	2	櫻井 彦	教育学部
		秋学期	金	4	B	2	大橋 幸泰	
2～	日本史II	春学期	火	5	A	2	今井 修	
		秋学期	火	5	B	2	今井 修	
2～	外国史I	春学期	木	5	A	2	堀越 宏一	
		秋学期	木	5	B	2	堀越 宏一	
2～	外国史II	春学期	金	5	A	2	石見 清裕	
		秋学期	金	5	B	2	石見 清裕	
2～	外国史III	春学期	木	5	A	2	石川 寛	
		秋学期	木	5	B	2	石川 寛	
2～	地理I	春学期	土	2	A	2	宋 苑瑞	政治経済学部 法学部 教育学部 商学部 社会科学部
		秋学期	土	1	B	2	南雲 直子	
2～	地理II	春学期	木	5	A	2	鎌倉 夏来	
		秋学期	木	5	B	2	鎌倉 夏来	
2～	地理III	春学期	水	4	A	2	中川 秀一	
		秋学期	水	4	B	2	中川 秀一	
2～	地誌I	春学期	水	6	A	2	川元 豊和	
		秋学期	水	6	B	2	川元 豊和	
2～	地誌II	春学期	月	5	A	2	山下 清海	
		秋学期	月	5	B	2	山下 清海	

I 免許状とは

II 取得
免許
状
要件III 科目
登録
成績IV 介護
等
体験V 教育
実習VI 免許
状
申請VII 教員
就職VIII 教
取
得
の
後IX その他
資格XI 連絡
先
一覧

配当 年次	早稲田大学設置科目名	学期	曜日	時限	組名	単位	教員氏名	受講許可学部
2～	政治学I	春学期	土	3	A	2	土屋 彰久	教育学部
		秋学期	土	3	B	2	土屋 彰久	
2～	政治学II	春学期	月	4	A	2	面 一也	
		秋学期	月	4	B	2	面 一也	
2～	法律学	春学期	木	5	A	2	北山 雅昭	
		秋学期	木	5	B	2	北山 雅昭	
2～	経済学I	春学期	金	5	A	2	渡辺 和則	
		秋学期	金	5	B	2	渡辺 和則	
2～	経済学II	春学期	金	6	A	2	渡辺 和則	
		秋学期	金	6	B	2	渡辺 和則	
2～	社会学(教職)	春学期	木	5	A	2	鈴木 健之	教育学部 文化構想学部 文学部
		秋学期	月	5	B	2	鈴木 無二	
2～	新国語教育講座	秋学期	火	3	-	2	石原 千秋	
							稲葉 有祐	
							内山 精也	
							金井 景子	
							幸田 国広	
							田淵 美子	
							中嶋 隆	
							新美 哲彦	
							仁科 明	
							福家 俊幸	
							町田 守弘	
							松木 正恵	
							松本 直樹	
							和田 敦彦	

1 授業開設学期

教育学部教職課程の授業は下表の学期に開設されます。実際に授業が行われる日程は、科目クラスにより異なりますので、詳細は授業時間割で確認してください。

授業開設学期	2018 年度		授業開設学期 (クォーター科目)	2018 年度	
	授業開始日	授業終了日		授業開始日	授業終了日
通 年	4 月 6 日	2 月 4 日	春クォーター	4 月 6 日	6 月 7 日
春 学 期	4 月 6 日	8 月 2 日	夏クォーター	6 月 8 日	8 月 2 日
秋 学 期	9 月 27 日	2 月 4 日	秋クォーター	9 月 27 日	11 月 24 日
夏季集中	8 月 3 日	9 月 20 日	冬クォーター	11 月 25 日	2 月 4 日
冬季集中	12 月 23 日	1 月 5 日			
夏 秋 期	8 月 3 日	2 月 4 日			

さらに、本学では授業回数をクォーター 8 回、半期 15 回、通年 30 回としています。授業回数を確保するために、祝日に授業を行い、別の日を臨時の休業日(休講)とする場合がありますので注意してください。

(☞大学暦・授業時間 [https://www.waseda.jp/top/about/work/organizations/academic-affairs-division/academic-calendar])

2 授業時間帯

授業は以下の時間帯で実施されます。

時 限	1 時 限	2 時 限	3 時 限	4 時 限	5 時 限	6 時 限	7 時 限
時 間	9:00 ~ 10:30	10:40 ~ 12:10	13:00 ~ 14:30	14:45 ~ 16:15	16:30 ~ 18:00	18:15 ~ 19:45	19:55 ~ 21:25

3 授業欠席

- 「介護等体験」「教育実習」期間を理由とした欠席
手続き方法は各該当ページを参照してください。(☞「介護等体験」P.44、「教育実習」P.51)
- 上記以外を理由とした欠席(病気などのやむを得ない理由など)
担当教員に知らせたい場合には、直接担当教員へ申し出てください。連絡先は本冊子巻末に掲載されています。
また、「忌引き」を理由とした欠席(2 親等以内)については、欠席期間終了後 10 日以内に所属学部事務所へ申し出て所定の手続きをおこなってください。

4 休講

大学の行事や担当教員の都合により、授業が実施されない場合があります。このことを休講といいます。休講情報は教育学部掲示板および MyWaseda にてお知らせします。なお、休講科目に関して電話やメールでのお問い合わせにはお答えできません。

また、気象状況等により、授業が行われるキャンパスまでの交通経路において通学することが危険または困難であると大学が判断した場合や、交通機関のストライキが実施された場合にも休講措置をとることがあります。詳細は、所属学部の「学部要項」等を参照してください。

補講

授業が休講になった場合に、補講が実施されることがあります。補講は原則として、学期末の試験・補講期間中の当該科目と同じ曜日時限に実施されますが、担当教員の判断によりそれ以外の時期に実施されることもあります。補講が実施される場合には、掲示等でお知らせします。

教室

授業が実施される教室は、「Web シラバス」等で周知します。

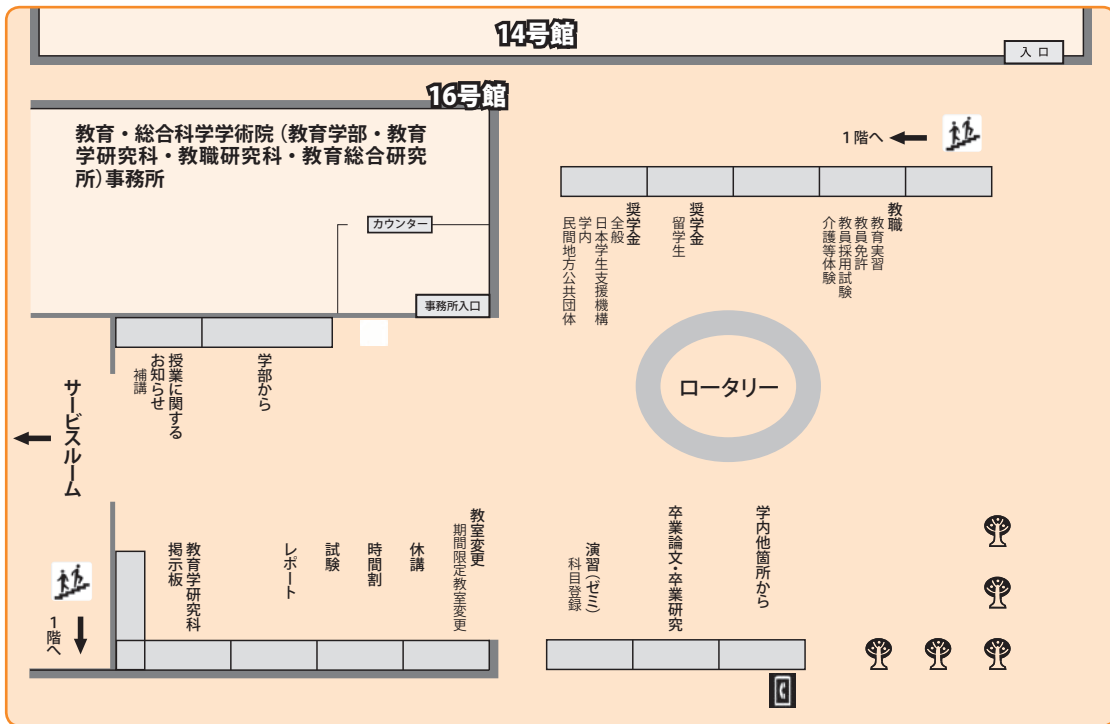
なお、授業開始後に教室が変更される場合があります。教室変更の情報は掲示等でお知らせしますので、適宜確認してください。

教職支援センターからの連絡方法

授業や手続きなどに関して、連絡事項がある場合は、原則、「教職支援センター掲示板」と「MyWaseda」にてお知らせをいたします。また、全学部生向けのお知らせ内容については、各学部・研究科の掲示板に掲示することもあります。なお、科目担当教員からのお知らせは「Course N@vi」を通じて連絡がある場合もありますので、適宜確認してください。

教育・総合科学学術院事務所、掲示板配置図

以下の配置図は 2018 年 3 月現在のレイアウトであり、変更になる場合があります。



1 試験・レポートのルールについて

試験・レポートのルールは科目設置箇所により異なります。教育学部教職課程設置科目については、教育学部のルールが適用されますので、以下のルールを確認してください。

2 試験の種類と実施方法

試験とは、試験期間を定めて実施される試験のことをいい、試験期間以外の授業時間内に担当教員が実施する試験は、小テストといいます。

試験に関する注意・試験対象科目・教室変更・試験欠席者の取り扱い等詳細については、その都度、掲示や教育学部ホームページ等でお知らせします。また、レポート実施方法については教育学部掲示等で確認してください。(☞ P.35)

3 試験受験時の注意事項

■ 他箇所の試験との時間割重複

他箇所の試験と教育学部教職課程の試験が重複した場合、教育学部生は、他箇所の試験を優先して受験してください。この場合の手続きについては「試験欠席」を参照してください。教育学部以外の学生は、重複がわかった段階で、対応方法を所属学部事務所に相談してください。(教育学部以外の学生は、原則教育学部の試験優先です。)

■ 試験での「持込」

試験において「持込」には次の3つのカテゴリーがあります。

①全て可 ②全て不可 ③一部可

科目クラスごとの扱いは、試験の前に担当教員または教育・総合科学学術院事務所から発表します。

■ 試験中の携帯電話等の取扱い

試験中は、携帯電話等の電源を切ってからカバン等にしまってください。また、携帯電話等を時計として使用することは一切認められませんので、時計が必要な場合は別に持参してください。

■ その他注意事項

- 1) 試験は厳正な態度で受けなければなりません。
- 2) 試験時には毎時限、学生証を机の端に提示しておいてください。学生証を忘れた場合は、所属学部事務所に受検許可証を発行してください。学生証または受検許可証不携帯の場合、受験できません。
- 3) 試験時の着席は、担当教員又は監督員の指示に従ってください。
- 4) 原則として、試験開始後 20 分以上遅刻した学生は、受験を許可しません。退場は、担当教員又は監督員の指示に従ってください。
- 5) 答案は特に指示のない限り、ペン・ボールペン（青または黒）または黒鉛筆（HB）書きとします。
- 6) 答案用紙・問題用紙は、特に指示のない限り、室外に持ち出さないでください。

4 試験欠席

正当な理由により教育学部教職課程設置科目の試験を受験することができなかった学生は、教育・総合科学学術院事務所にて所定の手続きを行うことができます。受付期間や手続きの詳細および正当な理由とみなす具体的なケースについては掲示や教育学部ホームページ等でお知らせします。

なお、教育学部以外の箇所が設置する科目については、それぞれの科目設置箇所の基準に従ってください。

5 レポート提出

レポートを作成する際には守らなければならないルールや手続きがあります。これらを守らない場合、レポートとして受理されないばかりか、不正行為として処分の対象となることがあります。

教育学部教職課程で課されるレポートの作成・提出にあたっては、『教育学部ホームページ』の「教育学部レポート作成の手引き」に記載されている事項をよく確認のうえ臨んでください。また、レポートの提出先が「レポートボックス」の場合は、以下まで指定の時期に提出してください。

■ レポートボックス設置場所

早稲田キャンパス 16 号館 2 階エレベーター前サービスルーム内 (☞ P.35)

■ 提出受付時間（サービスルーム開室時間のみ提出可能）

期 間	曜 日	開室時間
授業実施期間、試験・補講期間、春季休業期間	月～土曜	9:00～21:00
夏季休業・冬季休業期間	月～金曜	9:00～19:30

※日曜、祝日、その他大学が定める休業日、夏・冬季休業中の土曜日、夏季一斉休業期間および臨時の休業日（8月11日～8月19日）、年末・年始（12月29日～1月6日）は閉室

6 不正行為者に対する措置

試験及びレポートにおける不正行為者に対しては、停学を含む厳重な処分を行います。処分により所定の年限では卒業できないことがあります。くれぐれも、厳正な態度で臨むようにしてください。

7 成績発表

成績は「所属学部」の日程に従って発表します。

8 不合格成績問い合わせ制度について

教育学部では、不合格成績評価に関して疑問がある場合、所定の期間内に教育・総合科学学術院事務所を通じて科目担当教員に問い合わせることができる制度を設けています。問い合わせの期間や条件等の詳細は各学期中に掲示等でお知らせします。

■ 制度の概要

- 1) 問い合わせ期間
 - 春学期：9月上旬の数日間
 - 秋学期：3月上旬の数日間
- 2) 受付場所
 - 16号館2階 教育・総合科学学術院事務所カウンター
- 3) 注意事項
 - ・教育学部設置科目の不合格成績に関して、学生から教員に直接問い合わせをすることは禁止です。全てこの制度を利用してください。
 - ・問い合わせは、教育学部設置科目の成績が不合格評価であった場合のみです。合格していた科目についての質問は、巻末の連絡先を参照のうえ、直接教員に連絡してください。

I
免許状とはII
取得
免許
要件
状III
科目
登録
成績IV
介護
等
体験V
教育
実習VI
免許
状
申請VII
教員
就職VIII
卒業
後の
教免
取得X
その他
資格XI
連絡
先
一覧

休学・留学

1 休学・留学をする場合

休学・留学をした場合の「教育実習・介護等体験の流れ」を以下に記載しますので参考にしてください。ただし、各学部での休学・留学中の学籍状態や単位認定の状況によって以下の流れとは年次が異なる場合があります。

! 休学・留学前に必ず所属学部事務所に休学・留学の期間・形態・状況等を確認し、科目履修の指導を受けてください。

2 半期の休学・留学する場合

「介護体験実習講義」などの「通年科目」の場合、半期の休・留学をすると「科目取消し」となりますので、ご注意ください。

3 2 年次秋学期から 3 年次春学期終了まで休・留学する場合 (例)

各詳細については、「介護等体験 (P.41 ~ 45)」「教育実習 (P.46 ~ 52)」を参照してください。

年次	月 (日)	内容	備考
2	秋学期～ 3 年次春学期終了	休・留学期間	随時、Waseda メールを確認してください。
3	11 月末～12 月初旬	介護等体験事前登録	
	12 月～1 月	麻疹の抗体検査・体験費納入	
	2 月～4 月	教育実習ガイダンス	
		実習校へ内諾活動	
4	3 月～4 月	「介護体験実習講義」 科目登録・履修	
	4 月	学生定期健康診断	
	6 月以降	介護等体験の実施	
	6 月～8 月	教育実習事前登録	
	12 月～1 月	介護等体験事後指導履修	
5	3 月下旬～4 月上旬	「教育実習演習」 科目登録・履修	
	4 月以降	教育実習の実施	
	秋学期	「教職実践演習」 科目登録・履修	

4 3 年次秋学期から 4 年次春学期終了まで休・留学する場合 (例)

各詳細については、「介護等体験 (P.41 ~ 45)」「教育実習 (P.46 ~ 52)」を参照してください。

年次	月 (日)	内容	備考
2	11 月末～ 12 月初旬	介護等体験事前登録	
	12 月～ 1 月	麻疹の抗体検査	体験費納入は次年度 1 月に行ってください。
	2 月～ 4 月	教育実習ガイダンス	
		実習校へ内諾活動	実習に行くのは 5 年次となりますので、内諾は 5 年次で取るようにしてください。
3	3 月～ 4 月	「介護体験実習講義」 科目登録・履修	体験実施は次年度秋学期となります。
	6 月～ 8 月	教育実習事前登録	留学予定者の場合でも登録してください。
	秋学期～ 4 年次 春学期終了	休・留学期間	随時、Waseda メールを確認してください。
	1 月	介護等体験費納入	教職支援センターの案内に従い、体験費を納入してください。
4	6 月～ 8 月	教育実習事前登録	再度の登録が必要です。
	9 月	復学・継続履修手続き	所属学部により手続き方法が異なりますので、所属学部事務所に確認してください。
	復学後	実習校への連絡	内諾の連絡後、1 年以上経っていますので、実習校へ改めて連絡してください。
	復学後	介護体験実施	体験先・体験期間を確認のため帰国し次第、教育・総合科学学術院事務局まで来てください。
	12 月～ 1 月	介護等体験事後指導履修	
5	3 月～ 4 月	「教育実習演習」 科目登録・履修	
	4 月以降	教育実習の実施	
	秋学期	「教職実践演習」 科目登録・履修	

※上記はあくまでも一例です。詳細については、時間に余裕をもって所属学部事務所、教育学部事務所に確認してください。

I
免許状とは

II
取得
免許
要件
状
件

III
科目
登録
成績

IV
介護等
体験

V
教育実
習

VI
免許状
申請

VII
教員就
職

VIII
教免取
得
卒業
後の

X
その他
資格

XI
連絡先
一覧

介護等体験

1 介護等体験とは

介護等体験特例法により、小学校・中学校教諭の普通免許状取得を希望する学生に義務づけられました。個人の尊厳と社会連帯の理念に関する認識を深めることの観点から、社会福祉施設や特別支援学校（盲・ろう・養護学校）において、障がい者、高齢者等に対する介護、介助、これらの方との交流等を体験することを目的としています。

2 介護等体験の概要

■対象者

小学校・中学校免許状取得希望者。

■体験日数

原則、7日間（特別支援学校2日間、社会福祉施設5日間）

■体験先・体験時期・費用

所 属	体験先	体験時期	体験費	その他諸費用
人間科学部・スポーツ科学部生	埼玉県内	5月中旬～ 11月の間	¥8,500	●麻疹の抗体検査費 ●細菌検査費 ●交通費、昼食費など
その他の学生	東京都内		¥10,760	

⚠ 原則として、納入された「体験費」「検査費」などは返還できません。また、健康診断、X線検査等其他費用がかかる場合があります。上記金額は2018年度の金額であり、今後変更される可能性があります。

■体験内容

体験先	体験内容
社会福祉施設	高齢者、障害者の方等への介護、介助、話相手、散歩の付添い、レクリエーションへの参加、施設職員の業務補助。
特別支援学校	小学部・中学部・高等部の通常授業の補助業務や年間行事の手伝い。（遠足の付き添い、プール教室への参加、文化祭の準備など。）

3 早稲田大学で介護等体験をおこなうには

以下の科目を履修する必要があります。

■科目名

介護体験実習講義（配当年次：3～）

■履修の前提条件

- ① 体験実施前年度の「介護等体験事前登録」を期限内に完了していること。
- ② 体験実施前年度の「介護等体験費納入手続き」を期限内に完了していること。
- ③ 体験実施前年度までに「教職概論」（同等科目可）の単位を修得済みであること。
また、「教育心理学」の単位を修得済みであることが望ましい。

4 介護等体験に参加することへの責任と心構え

「介護等体験」の場は、特別支援学校ならびに社会福祉施設の深い理解によって確保されていますが、そこはさまざまな福祉サービスを利用しながら暮らす人々の「生活の場」そのものであることを忘れてはなりません。体験に臨む学生は以下の事項を強く意識して行動をしてください。

【体験前】

- ☑ 特別支援学校・社会福祉施設に関する基本的知識を修得すること
- ☑ 体験先・大学より指示のある手続きを遺漏なく行うこと

【体験中】

- ☑ 教員を目指す者として学生気分や受け身ではなく、高い意識を持ち体験に臨むこと
- ☑ 受け入れていただく立場を認識し、自己中心的な行動や自己都合による体験の辞退、欠席、体験日程の変更を絶対にしないこと

【体験後】

- ☑ 体験先で知り得た情報等については、守秘義務を厳守すること

なお、学生の取組み姿勢や内容に著しい問題があると判断した場合は、体験の中止や教職課程履修の中止等の措置をとる場合があります。

5 スケジュール



手続きの詳細は掲示・MyWasedaで周知されますので見落とさないでください。手続き漏れがあった場合、介護等体験を行うことができなくなる可能性があります。なお、他大学（他学籍）で前提条件にあたる科目を習得した場合は、MyWasedaのお知らせが届かない場合がありますので随時掲示をご確認いただき、事前に教職支援センターまでご相談ください。

2 年次（体験前年度）

4 月

健康診断

●「麻疹の抗体検査」を学内で受けるために必ず受診してください。

11 月下旬～12 月上旬

介護等体験事前登録

● Course N@vi から事前登録（申込）をしてください。

I
免許状とは

II
取得
要件
免許
状

III
科目
登録
成績

IV
介護
等
体験

V
教育
実習

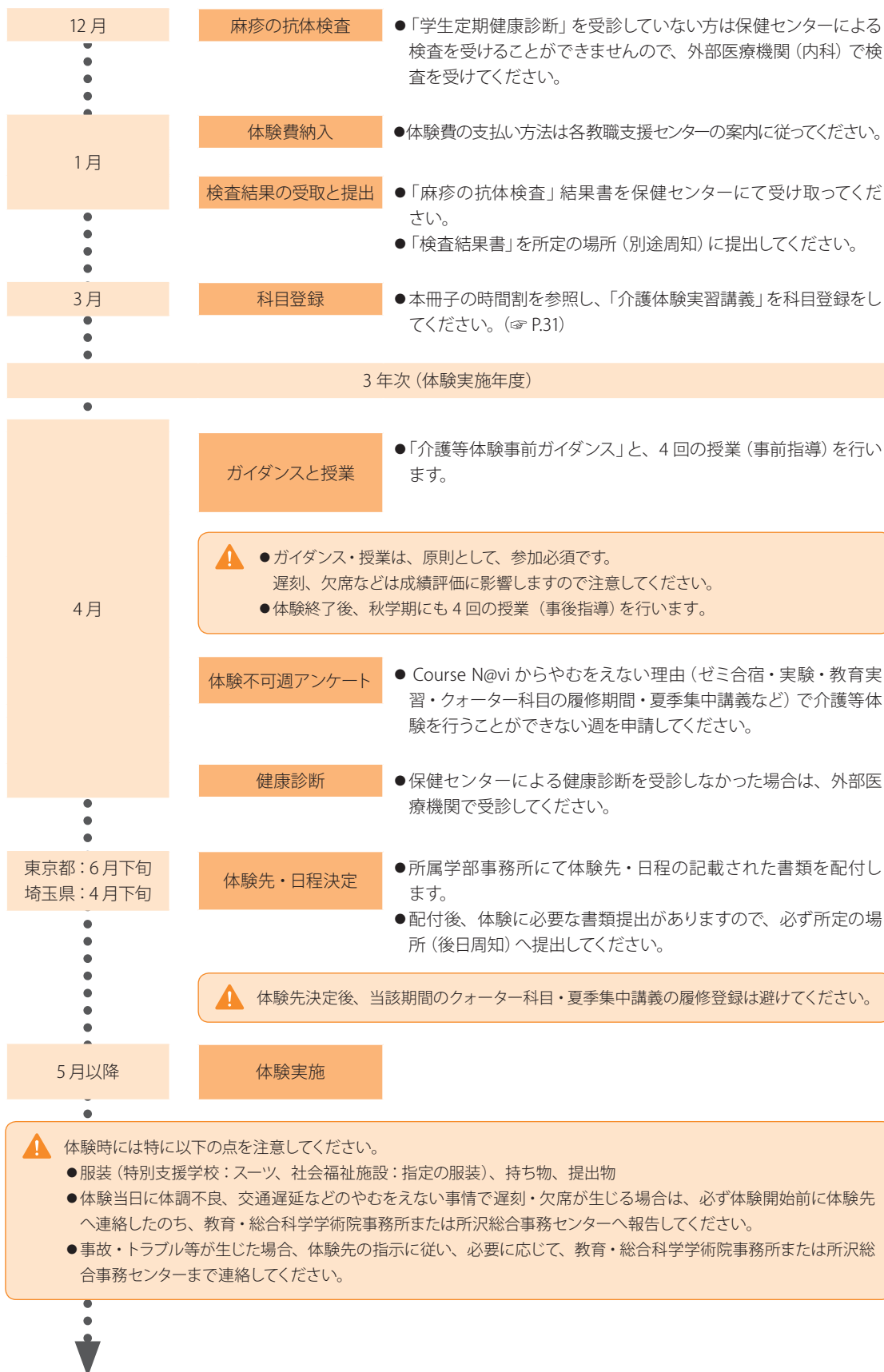
VI
免許
状
申請

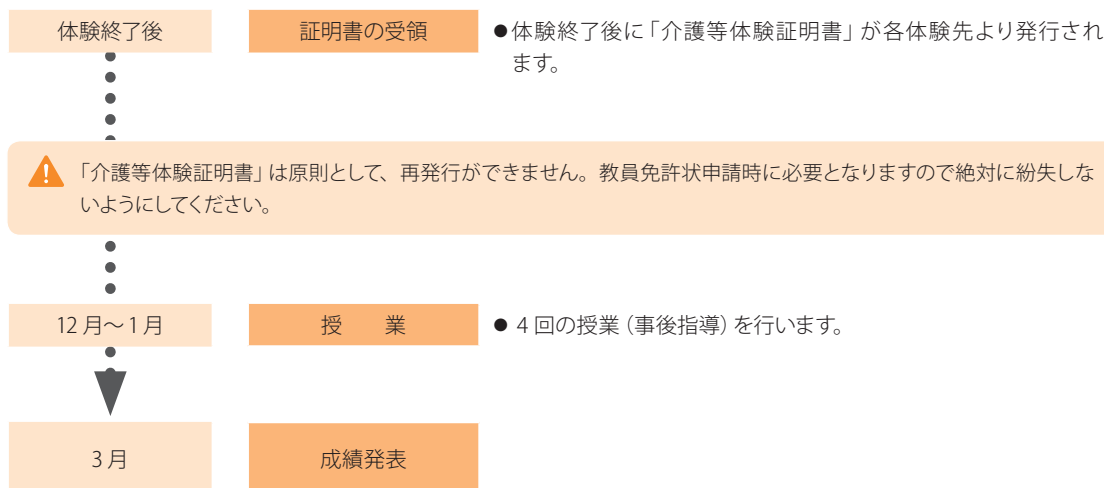
VII
教員
就職

VIII
卒業
後の
教免
取得

X
その他
資格

XI
連絡
先
一覧



I
免許状とはII
取得
要件
免許
状III
科目
登録
成績IV
介護
等
体
験V
教育
実
習VI
免許
状
申
請VII
教員
就
職VIII
教
免
取
得
卒業
後
のX
その他
資格XI
連絡
先
一覧

6 介護等体験よくある質問

Q：介護等体験中の授業の欠席はどう扱われますか？

A：「講義欠席特別扱願」（介護等体験ノートに添付）で授業欠席の配慮を願うことができます。最終的な判断は各科目担当教員によりますが、介護等体験日程が決まり次第、事前に欠席予定の授業担当教員へ相談の上、体験終了後に「講義欠席特別扱願」を提出してください。

Q：介護等体験が免除になる場合がありますか？

A：以下のいずれかに該当する場合は、介護等体験を実施する必要はありません。

- 1) 保健師、助産師、看護師、准看護師、盲・ろう・養護学校教員、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、義肢装具士の免許・資格を既に取得している場合。（ただし、取得見込みの場合は、介護等体験を実施する必要があります。）
- 2) 身体障害者手帳に障害の程度が1級から6級であるとして記載されている場合。
- 3) 所定（介護等体験受入れ施設とされている施設のみ）の社会福祉施設にて、実習先施設の長から7日間以上の「介護等体験証明書」の発行をすでに受け、保持している場合。
- 4) 所定の社会福祉施設に勤務し、勤務先施設の長から7日間以上の「介護等体験証明書」の発行をすでに受け、保持している場合。



「ボランティア」「民間ヘルパー資格」「特別支援学校実習」「社会福祉援助技術現場実習」「社会福祉現場実習」は免除対象にはなりません。

7 先輩からのメッセージ

介護等体験を終えて

体験先：東京都公立特別支援学校

文学部：山本 昌史

私は事情により、社会人5年目という時期に、現役の大学生と交じて介護等体験を行うことになった。

一人だけ年齢、年代が違うことへの不安も大きかった。既に社会福祉施設、特別支援学校共に一度体験を行っていることもあり、もう一度体験を行うことへの違和感もあった。

しかし、事前学習を受講するなかで、次第にそうした印象が消えていった。

「社会福祉」「特別支援」、そうした言葉は、何らかの事情がない限り学生時代には近い存在とは言いがたいものであった。介護等体験で初めて学ぶ、改めて向き合う、そうした側面が大きかったように思う。

しかし、社会人となり、結婚して家庭を築き子供を設けてもおかしくない年代になった時、それらの言葉の意味は学生時代に考えたものとは大きく異なってくる。いつ、親の介護が必要になるかわからない。生まれてくる子供が、障害を持った子供かもしれない。

社会人となって、自己に責任を持つ年代になって初めて「介護等体験」の人生における重要性、意味が理解できたように思う。

幸運にも、会社の休暇の都合が付き、私は二日間、特別支援学校で体験を行うことができた。

大学生の時の体験は校外学習の引率、付き添いであった為、本格的に特別支援学校の授業に参加するのは初めてであり、新鮮な経験であった。

学生時代、介護等体験で重要であると感じたのは、「自分に何が求められていて、何をすればよいのか」の認識であった。それは今回の体験でも変わることはなかった。各個人にあわせて自分の行動を考えていくこと、それを、相手の立場を理解しながら行っていくことは、とても難しい体験であったが、社会生活で必要となる視点を改めて気づかせて

くれる、大きな学びの経験でもあった。

介護等体験で行うことは、日頃の生活で行っているコミュニケーションよりも少し難しいかもしれないが、ごく当たり前の「相手の立場を知ること、考えること、その中で自分の行動を考えていくこと」の延長である。それを実践する場は、教員だけではない。職種に限らず、また、家庭生活の中でも当たり前に求められるスキルである。それを再認識できたことでも、この体験には大きな意味があったと感じている。

介護等体験を履修しても、教員の道を選択しない学生も多いと思う。「介護等体験の意味」が理解できないこと、疑問に感じることもあると思うが、改めて、介護等体験には大きな学びがあり、その経験はどのような進路でも生きてくと伝えたい。

社会人となってからも、このような場を頂けたことに心から感謝したい。

1 教育実習とは

教育実習とは、大学の専門課程や教職課程で学んできた知識の実践化を検証する機会であり、理論と実践の統合の場である。また、実習生として学校教育の全体を総合的に認識し体験できる機会である。最低限度の実践的指導能力を培う場であると同時に、その能力について自らの適性を見極める自己評価の場でもある。（「教育実習マニュアル」より）

2 教育実習の概要

■対象者

中学校、高等学校免許状取得希望者

⚠ 「特別支援学校実習」（教育学部教育学科生対象）、「教育実習演習（小）」（教育学部教育学科初等教育学専攻生対象）については、教育学部発行の「授業ガイド」を参照してください。

■実習期間

3週間（120時間）以上。ただし、高校免許のみの取得希望者の場合は2週間（80時間）以上。

⚠ 連続した3週間（2週間）の実習となるため、当該期間にはクォーター科目の履修登録は行わないでください。

■実習先

原則として、母校に教育実習の受け入れをお願いし、実習に行くことになります。

ただし、地域によっては母校での実習を禁止している場合もありますので、各自で確認する必要があります。また、やむを得ない事情（廃校や移転、実習教科が母校に無い、海外の学校出身者など）で母校での実習ができない場合は大学より東京都教育委員会を通じて、都内公立中学校へ受け入れ依頼をしますが、実習時期は選ぶことができず、受け入れが確実に決まるものではありませんので、各自でも実習先を探す努力をしてください。

なお、実習先は中学校、高等学校どちらでも問題ありません。（例：中学・高校の両方の免許状を取得予定の場合は、「中学：3週間」「高校：3週間」のどちらでも可）

ただし、教育委員会の規定や年間行事の都合上などで、高校は2週間、中学は3週間で受け入れ予定を組んでおり、希望通りにならないこともあります。

■実習時期

原則として春学期（4月下旬～7月下旬）

■実習内容

担当教科の教壇指導や実技指導、道徳、ホームルーム、クラブ活動などの指導、授業の見学、学校行事の参加など。

⚠ 教育実習の概要や手続きの詳細は実習前年度に行う「教育実習ガイダンス」で説明します。

3 早稲田大学で教育実習をおこなうには

中学校・高等学校での教育実習とは別に、以下の科目を履修し、教育実習の事前指導および事後指導を受ける必要があります。

■ 科目名

「教育実習演習（2 週間もしくは 3 週間）」（配当年次：4 年～）

■ 履修の前提条件

次ページの教育実習前提条件を全て満たしている必要があります。

1 つでも条件を満たしていない場合は、教育実習に行くことはできません。

■ 科目登録上の注意事項

「教育実習演習」は教育実習の実施期間・実施時期によって登録する科目・履修クラスが異なります。

原則として、科目登録後の変更はできません。下表を確認の上、科目登録を行ってください。

また、2010 年度以降の入学者については、「教育実習演習」を科目登録することで、「教職実践演習」の履修クラスが自動登録されます。（☞ P.17）

2 週間の教育実習の場合			
実習時期	登録する科目名・履修クラス	取得可能免許状	実習先
4 月～7 月の場合	<u>教育実習演習 (2 週間)</u> の <u>春学期</u> 開講クラス	高校のみ	中学または高校
8 月～1 月の場合	<u>教育実習演習 (2 週間)</u> の <u>夏秋期</u> 開講クラス		
3 週間の教育実習の場合			
実習時期	登録する科目名・履修クラス	取得可能免許状	実習先
4 月～7 月の場合	<u>教育実習演習 (3 週間)</u> の <u>春学期</u> 開講クラス	中学のみ 中学高校両方	中学または高校
8 月～1 月の場合	<u>教育実習演習 (3 週間)</u> の <u>夏秋期</u> 開講クラス		

■ 開講クラスについて

春学期開講クラスは、シラバス指定の曜日時限に、事前指導 5 回（4 月～5 月）と事後指導 3 回（日程は担当教員から指定あり）の計 8 回の講義が行われます。（担当教員によって事前・事後の回数が変わる場合もあり）

夏学期開講クラスは、夏季休業期間中に事前指導 5 回（集中授業）と秋学期のシラバス指定の曜日時限に事後指導 3 回の計 8 回の講義が行われます。（担当教員によって事前・事後の回数が変わる場合もあり）



- 「実習時期」が科目登録時に「未定」の場合は、「春学期」開講クラスを登録してください。その後、実習時期が「8 月～1 月」に決定した場合は、至急、教育・総合科学学術院事務所に連絡をしてください。
- 実習校の都合により、「実習時期」が科目登録後に「変更」になった場合（「4 月～7 月」→「8 月～1 月」・「8 月～1 月」→「4 月～7 月」）は、至急、教育・総合科学学術院事務所に連絡をしてください。
- 戸山キャンパス開講クラスについては、文化構想学部および文学部生推奨のクラスです。
- 所沢キャンパス開講クラスのうち、AO および T クラスについては、スポーツ科学部生推奨のクラスです。
また、AP クラスは人間科学部生推奨のクラスです。

教育実習前提条件

- ① 実習実施前年度の「教育実習ガイダンス」に出席すること。
- ② 実習実施前年度の「教育実習事前登録」を期限内に完了していること。
- ③ 実習実施年度中に教員免許取得に必要なすべての科目の単位を修得済み、または修得見込みであること。
- ④ 実習実施年度に4年生以上で、実習実施前年度までに下表の卒業単位を修得済みであること。

所属学部		単位数	所属学部		単位数
政治経済学部		84	基幹理工学部		82
法学部	2012年度以前入学者	86	創造理工学部		82
	2013年度以降入学者	92	先進理工学部		82
文化構想学部		80	社会科学部		76
文学部		80	人間科学部	2012年度以前入学者	84
教育学部	初等教育学専攻・理学科	90		2013年度以降入学者	83
	地理歴史専修	88	スポーツ科学部		84
	上記以外	84	国際教養学部		84
商学部	2013年度以前入学者	92			
	2014年度以降入学者	84			

- ⑤ 実習実施前年度までに、以下の科目の単位を修得済みであること。
(これらの科目と同等の科目でも可。各学部により異なります。)

2006年度以降入学者

- 「教職概論」「教育基礎総論 1」「教育基礎総論 2」「教育課程編成論」「教育心理学」「教科教育法 1」「教科教育法 2」「教育方法研究」
- 「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のうち2領域以上（各領域ごとに2単位以上の修得が必要）
- 「教科に関する科目」（必修および選択）のうち16単位以上

2005年度以前入学者

- 「教職概論」「教育基礎総論 1」「教育基礎総論 2」「教育課程編成論」「教育心理学」「教科教育法 1・2」



- 「教科に関する科目」は、教育実習で担当予定の教科で「16単位以上」修得してください。

（前提条件の判定は事前登録時に申請された実習予定教科で行われます）

- 中学社会、高校の地理歴史、公民の中で2教科以上の免許を取得する場合（例：社会と公民）は、1教科（社会か公民どちらか）の「教科教育法 1、2」の単位を修得すれば「教育実習前提条件」を満たしているものとみなします。

I 免許状とは

II 取得要件
免許状III 科目登録
成績

IV 介護等体験

V 教育実習

VI 免許状申請

VII 教員就職

VIII 卒業後の
教員取得

IX その他資格

XI 連絡先一覧

4 教育実習に参加することへの責任と心構え

「教育実習」は、実習校や各教育委員会等の深い理解と協力の下で実施できるものです。単に学生として学ぶのではなく、教員に準ずる立場で教員としての視点に立って真摯な態度で実習に臨んでください。また、以下の点において細心の注意を払い、行動してください。

- ☑大学、実習校、教育委員会より指示された手続きを遺漏なく行うこと。
- ☑実習校を訪問、連絡する際は「服装」「礼儀」「所作」「言動」に注意し、「社会人」としての意識を持ち、礼儀正しく行動をすること。
- ☑麻疹（はしか）や風疹など伝染病予防のため、抗体検査を受診し、抗体が無い場合は、ワクチン接種をすること。
- ☑実習校によっては、「X線検査」等の受診を義務付けているため、定期健診などで受診しておくこと。
- ☑実習校と事前打合せをし、事前の準備を万全にしておくこと。
- ☑教員を目指す者として学生気分や受け身ではなく、高い意識を持ち実習に臨むこと。
- ☑実習校で知り得た情報等については、守秘義務を厳守すること。

なお、「教育実習」は教員就職活動の一環であり、教員就職活動以外を理由とした「実習期間の変更」や実習中の「遅刻」「欠勤」「早退」などは一切認められません。また、学生の取組みの姿勢や内容に著しい問題があると判断した場合は、実習の中止や教職課程履修の中止等の措置をとる場合があります。

⚠ 教育実習を受け入れる学校の現状と辞退行為について

近年、学校現場は多忙を極めています。そのような中で教育実習を引き受けることは、教員にとって更なる負担増となります。多くの先輩教員達の「後輩を育てる」という使命感の上に、教育実習が行われていることを決して忘れないでください。また、「社会人として教育実習に臨む」という意識がなく、「学生気分」のまま実習に臨むことは、学校現場にとって、大変な迷惑であり、実習を引き受けてくださる先輩教員に対し、極めて失礼なこととなります。

例年、教育実習が決まったあとに、自己都合による教育実習の辞退が多発しています。前述のとおり、実習校は負担を承知の上、実習の受け入れを行っています。好意を無下にするようなことは絶対にしないようにしてください。やむを得ない事情（病気や事故、入院など）で教育実習を辞退する場合は、速やかに教育・総合科学学術院事務所に相談をし、実習校に謝罪を行ってください。

実習生が教育実習に対し、誠実に努力をする姿が、受け入れをしてくれた実習校への一番の恩返しとなりますので、最後まで全力で教育実習に臨んでください。

⚠ 一般企業への就職活動の時期と教育実習期間の重複について

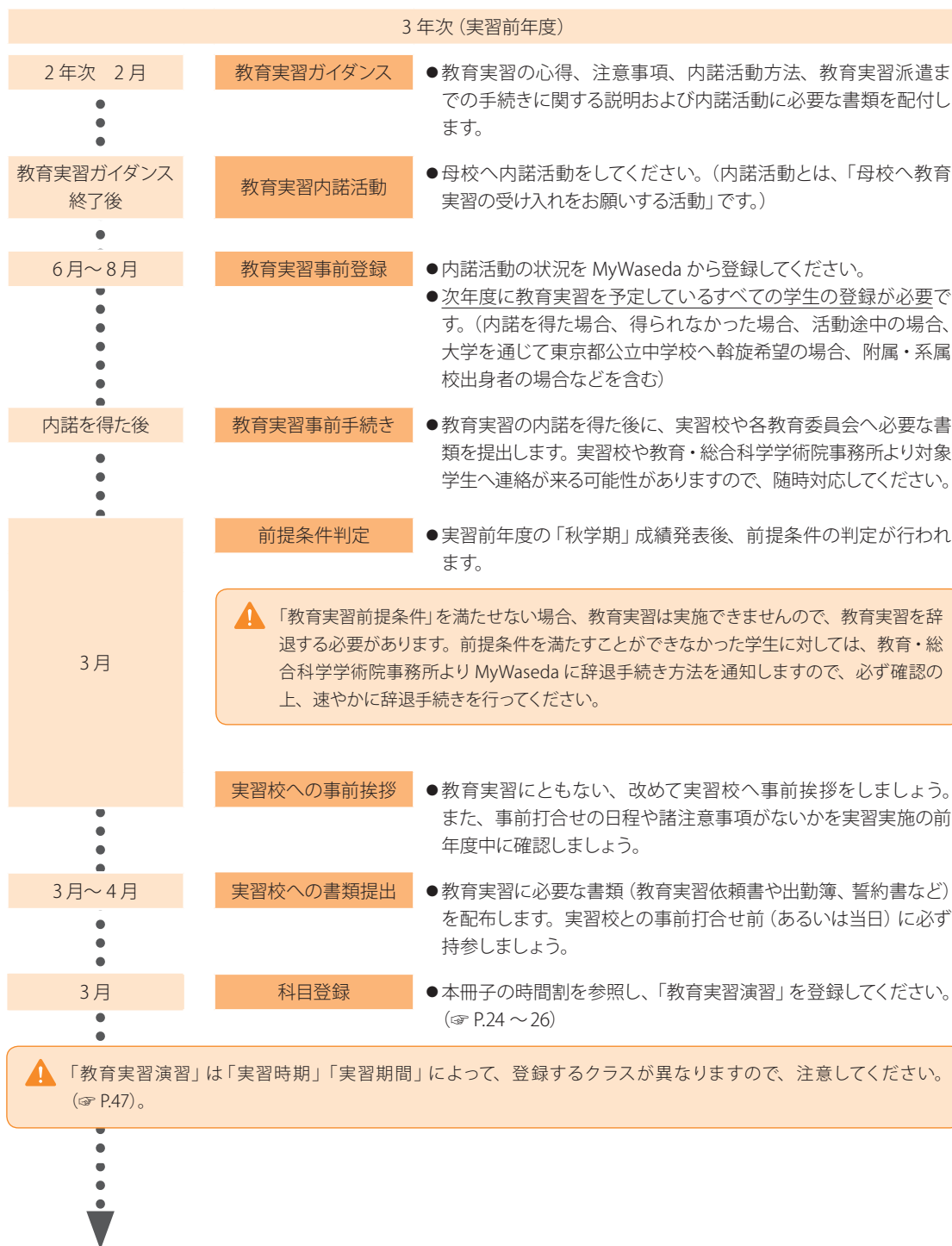
一般企業への就職活動時期が変更になったことにより、教育実習時期と重複する可能性が出てきました。これについて教職課程では、就職活動を理由とする教育実習期間の変更は一切認めていません。なぜなら教育実習は教員となるための就職活動の一環であり、また実習を受け入れていただく実習校に対し迷惑がかかるからです。

もし教員になることと、一般企業への就職で迷っている場合、教育実習については何よりも優先していただくこととなりますので、良く考えて教育実習に臨んでください。卒業後すぐに教員になるのではなく、卒業後に教育実習に行く（科目等履修生☞P.70となる）ことも視野に入れてください。両立しようとしてどちらも中途半端にならぬよう、注意してください。

5 スケジュール



手続きの詳細は掲示・MyWasedaで周知しますので見落とさないでください。
手続きに遺漏があった場合、教育実習を行うことができなくなる可能性があります。



I 免許状とは

II 取得
免許
要件
状III 科目
登録
成績IV 介護
等
体験V 教育
実習VI 免許
状
申請VII 教員
就職VIII 卒業
後の
教免
取得IX その他
資格XI 連絡
先
一覧



6 教育実習よくある質問

Q：実習先までの定期券は買えますか？

A：教育実習期間中は大学が発行する「実習用通学定期乗車券用通学証明書」を提示することで、「実習用通学定期乗車券」を購入することができます。

ただし、通常の通学証明書とは違い「鉄道会社の承認」が必要です。承認には大学から申請後、「約 1 ヶ月」かかります。実習開始 1 ヶ月前までに教育・総合科学学術院事務所まで申請方法が書かれた用紙を取りに来て、申請してください。

なお、実習開始 1 ヶ月前を過ぎた場合は、教育・総合科学学術院事務所まで相談してください。（発行できない可能性もあります）。

また、科目等履修生の学籍では「実習用通学定期乗車券」は購入できません。

ただし、研究科の学籍を有する場合には購入が可能です。

この場合には、実習 1 か月前までに教育・総合科学学術院事務所に相談するようにしてください。

Q：教育実習期間中の授業の欠席はどう扱われますか？

A：「講義欠席特別扱願」（実習前年度 3 月に配布）で授業欠席の配慮を願い出ることができます。

最終的な判断は各科目担当教員によりますが、事前に欠席予定の授業担当教員へ相談の上、実習終了後に「講義欠席特別扱願」を提出してください。

7 先輩からのメッセージ

高等学校公民：教育実習を終えて

実習先：東京都私立中学・高等学校

教育学部：河野 将大

私は三週間の教育実習を始める前に、大きく2つの立場から実習を実りあるものにしようと目標を掲げた。

一つ目が教師としてである。教師という仕事は様々な業務の組み合わせであるが、まず大きなものとして授業が挙げられるであろう。私は教壇に立つにあたって生徒がわかりやすいと感じるだけでなく、教科書の範囲にとどまらないより深い知識を生徒が身につけられるようにその援助となる授業設計を心掛けた。加えて生徒との関わりにおいて学習面以外の部分でも生徒とコミュニケーションをとることに気を配りたいと考えた。教師という仕事について考える時、授業で教えることばかりについてフォーカスしてしまうが、生徒の生活の中心である学校という場において生活指導を行うことも教師の役割であると感じる。立ち居振る舞い、言葉遣いなど最低限の大人のマナーは守ることを意識し、社会人として生徒の善きお手本となれるよう行動したいと考えた。

二つ目が学生としてである。学生らしく常に自ら学びに向かおうとする姿勢を忘れずに実習期間を過ごしたいと考えた。生徒として過ごしていた時にはあまり意識することはなかったが、早稲田の先生方の知識の多さや、話のテクニックは他の学校で過ごしてはお目にかかることが出来ないものであったと今は強く感じる。教育実習というかけがえのない機会を十分に利用し、大学で教職について学んだ昔とは違う人間の立場から色んな先生方の授業を見学し、また自らの授業においても、驕ることなく謙虚な姿勢で指導教諭や他の実習生からの注意・助言は素直に受け入れ、柔軟に自らの今後の指導に生かせるよう努力していきたいという意気込みを持った。

実りある三週間に…。そう心に誓い私は母校の門をくぐった。慣れないネクタイと革靴に幾分か違和感を覚えながらも、かくして長い一日が始まった。そして早速、思い描いていたシミュレーションとは程遠い厳しい現実をまざまざと突きつけられた。

教師として、まず生徒の前に立つことに想像以上の緊張感が走った。練習済みの説明が、もはや心

拍上昇のため停止状態、やっと絞り出した解説もほとんどの的を射られず、無駄に何度も繰り返す始末になった。段取りが悪く、結論の部分が曖昧な為か、生徒の理解を十分に得られなかったことが悔やまれた。帰宅への足取りが重く自室にこもっての反省が連日続いた。生徒にとって取り返すことの出来ない貴重な時間を使わせて頂いているにも拘らず、ベストな状態をつくっておけなかったという責任が重くのしかかった。

また学生としても、一緒に組んでいた実習生との打ち合わせに時間をとられてしまい、他の先生方の授業の見学に行けないなど身動きの取れない日々が続いた。

この三週間は試行錯誤の繰り返しであった。授業後の担当教諭からの指導を基に、改善点を炙り出し、授業内容を自分の中にもう一度落とし込んだ上で修正を加え、生徒に伝えるための言葉を細かく整理していく。そして生徒の反応を確かめながら、次の授業への足掛かりとしていった。地道な作業であるが、日がたつにつれ自分でも成長してきているという実感が得られるようになってきた。どこの部分の知識が今の自分に不足していて、どこを中心に教材研究すればよいのかが感覚的につかめだし、適切な時間配分、授業にゆとりと面白さが加わってきた。詰まり気味な言葉も、少しずつ滑らかに発せられるようになってきた。加えてゆとりが生まれてきたおかげでHRの前後、掃除の時間など生徒とのコミュニケーションも自然と取れるようになりだし、学校の先生方、他の実習生の授業見学にも積極的に参加できるようになった。

私は教育実習を終えてこの三週間で人として大きくなることが出来たと強く確信している。教師としての仕事を経験する中で数多くの困難にぶつかり、その中で正解のない問いに自分で考え、他人と協力し答えを出し続けてきた。そしてそのおかげで今自分は実習前に思い描いていた以上の場所まで進むことが出来た。この経験は自分が今後どの道に進んだとしても役に立つだろうし、大きな自信にもなった。

実習を終えて早くも三日、このレポートを書きながら実習のことを思い出すと、屈託のない笑顔をした生徒たち、ご指導して下さったたくさんの先生方、共に支えあった同じ実習生達の姿が思い浮かび、この三週間本当にたくさんの方に支えられて過ごすことが出来たのだと感謝の気持ちでいっぱいである。この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

I	免許状とは
II	取得要件
III	科目登録成績
IV	介護等体験
V	教育実習
VI	免許状申請
VII	教員就職
VIII	卒業後の教員取得
X	その他資格
XI	連絡先一覧

教員免許状申請

1 一括申請とは

一括申請とは、教員免許状を取得するために、通常、個人が教育委員会に申請するものを、大学が取りまとめて申請することです。この場合、卒業年度の3月に学位記と一緒に教員免許状を受け取ることになります。

キャンパスごとに一括申請先の教育委員会が異なります。

キャンパス	申請先教育委員会
早稲田キャンパス・戸山キャンパス・西早稲田キャンパスにある以下の学生 ●学部・研究科の正規生および科目等履修生 ●研究科の正規生	東京都教育委員会
所沢キャンパスにある学部・研究科の正規生	埼玉県教育委員会



以下の方は一括申請の対象外のため、個人申請(☞P.55)となります。

- 早稲田キャンパス・戸山キャンパス・西早稲田キャンパスにある研究科の科目等履修生
- 所沢キャンパスにある学部および研究科の科目等履修生
- 本庄キャンパスにある研究科の正規生および科目等履修生

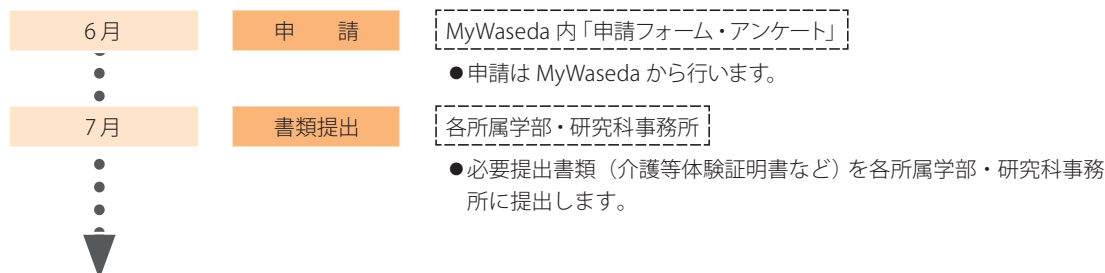
2 一括申請対象者

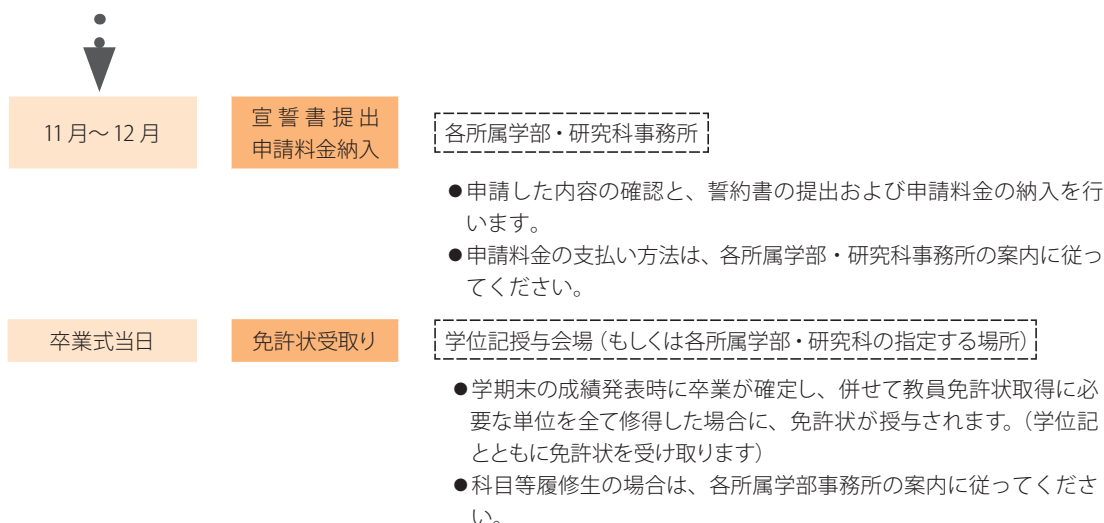
次の(1)または(2)に該当する者で、2019年3月に教育職員免許法第5条別表第1(学部要項・研究科要項等で定められた取得要件)に定める免許状の授与条件を満たす見込みの者を大学一括申請対象者とします。

- (1) 2019年3月に卒業または修了する見込みの者
- (2) 2018年4月から2019年3月まで学部科目等履修生として在籍する見込みの者
(所沢キャンパスにある学部科目等履修生は除く)

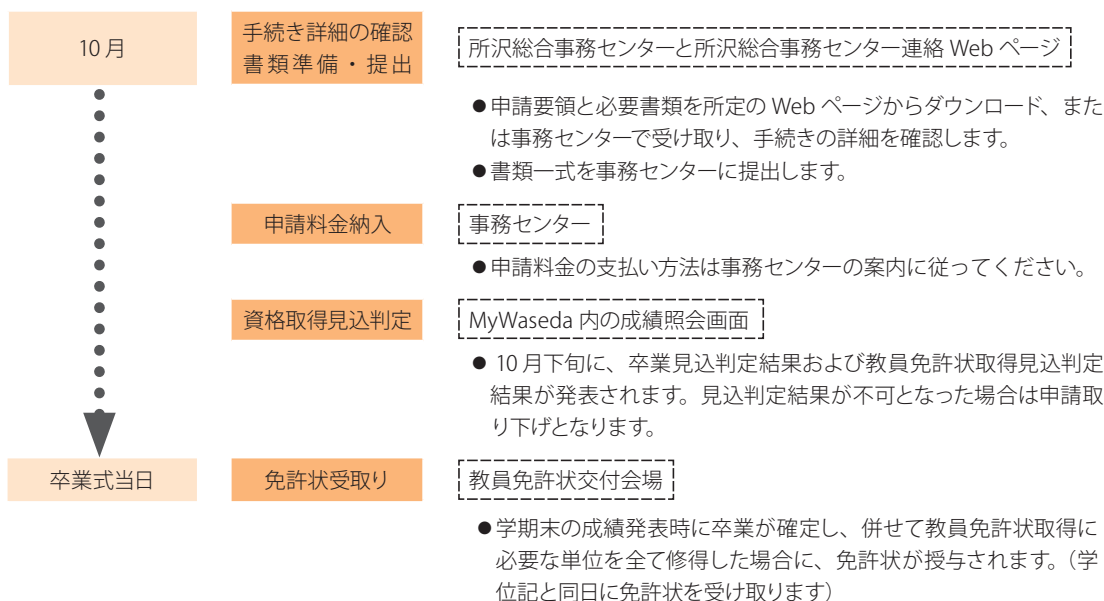
3 免許状取得までのスケジュール

■早稲田・戸山・西早稲田キャンパスの学生用





■ 所沢キャンパスの学生用



どの手続きが遅れても、一括申請は取り下げとなります。期限は厳守しましょう。
スケジュールを含めた手続きの詳細は、必ず所定の申請要領にて確認するようにしてください。

I
免許状とは

II
取得要件
免許状

III
科目登録
成績

IV
介護等体験

V
教育実習

VI
免許状申請

VII
教員就職

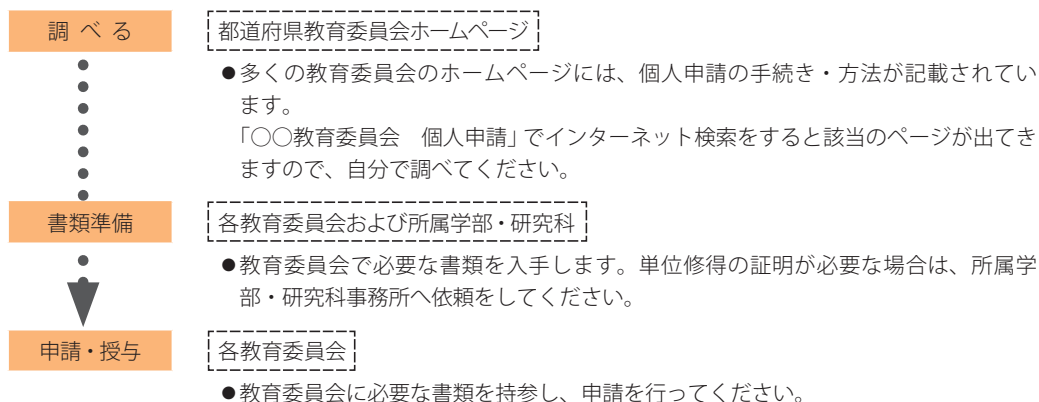
VIII
卒業後の
教員取得

X
その他資格

XI
連絡先一覧

4 個人申請（一括申請を失念した人・対象外の人・9月卒業者）

個人申請とは、大学を通さず、学生自身で教員として勤務予定の学校が所在する都道府県教育委員会もしくは、居住地の都道府県教育委員会で教員免許状を申請することです。申請方法は、各教育委員会によって異なりますので、以下のスケジュールを参考に自分で手続きを進めてください。



東京都教育委員会のように、機関によっては2～4月の期間は一括申請の取り扱いに伴い、教員の採用内定がある者を除き、申請を受け付けていない場合がありますので注意してください。（教育委員会ごとに異なります）

5 教員免許状の再交付

教員免許状は原則として再交付されません。その代わり、教員免許状を授与している旨の事実を証明する「教育職員免許状授与証明書」を、免許状を発行した教育委員会（一括申請であれば東京都もしくは埼玉県）で申請することができます。「免許状授与証明書」には、免許状の種類、記号番号、授与年月日等が記載されています。詳細な手続き方法は免許状を発行した都道府県教育委員会へお問い合わせください。

（例外）以下のケースの場合、教員免許状が再交付される可能性があります。

- 災害・盗難等本人にまったく責任のない滅失による場合で、り災証明書がある場合
- 破損または汚損の場合で既存の教員免許状原本と交換での再交付を希望する場合

学校現場での体験

教員になるためには学校現場の日常を知っておくことが大切です。今後の教員就職のために大きく役立つ経験となりますので、以下の制度を積極的に活用してください。

1 インターンシップ

授業科目として設置されており、1年間を通じて、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校で就業体験（授業実施の補助や学校運営の補助等）を行います。履修は任意ですが、教育実習・教員採用試験前に学校教育の実際を学ぶ機会となる実践体験型実習なので、積極的な履修をお勧めします。

■ インターンシップの科目名

- (1) 「学級経営インターンシップ」：中学校でのインターンシップ
- (2) 「特別支援教育インターンシップ」：特別支援学校でのインターンシップ
- (3) 「インクルーシブ教育インターンシップ」：小学校・中学校での特別支援クラスでのインターンシップ
- (4) 「初等教育インターンシップ」：小学校でのインターンシップ
- (5) 「中等国語科インターンシップ」：高校での国語に特化したインターンシップ

■ 内容

インターンシップごとに内容が異なりますので、具体的な内容はWebシラバスを参照してください。ただし、どのインターンシップも単なるお手伝い・ボランティアではなく、教職における自己課題を設定し、それを実践に移していく活動となります。

■ 科目ごとに履修手続き方法が異なります。（☞ P.19 ～ 20）

2 教育ボランティア

授業科目ではありませんが、本学が紹介する教育ボランティアとしては、新宿区と連携して区立の小中学校に派遣を行う「新宿区教育ボランティア」制度があります。

■ 「新宿区教育ボランティア」体験内容

各学校によって異なりますが、主に以下の内容となります。

- (1) 小中学校の授業等において、教員とのチームティーチングによる児童・生徒の学習指導補助
- (2) 特に配慮を要する児童・生徒のための教育補助
- (3) その他この制度の目的に即した活動

I
免許状とは

II
取得
免許
要件
状

III
科目
登録
成績

IV
介護
等
体験

V
教育
実習

VI
免許
状
申請

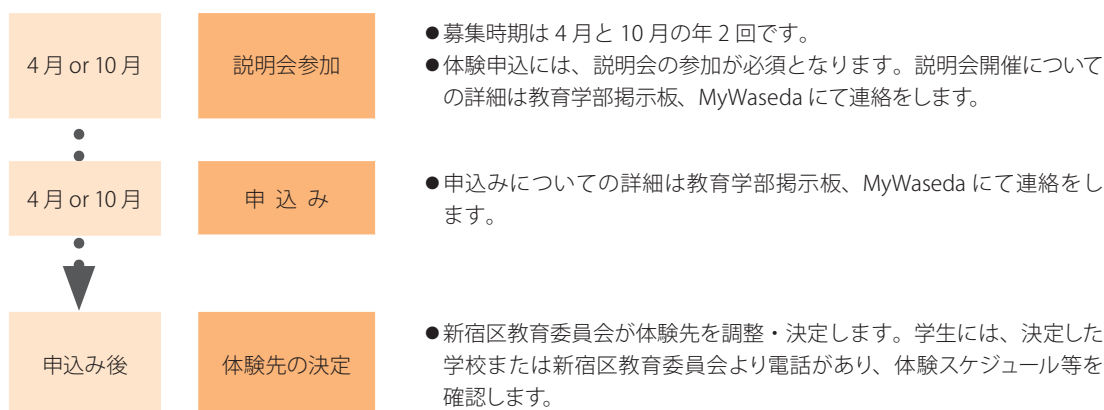
VII
教員
就職

VIII
卒業
後の
教免
取得

X
その他
資格

XI
連絡
先
一覧

■体験までの流れ



申し込み後の自己都合による辞退、申込内容の変更は原則として認められません。

■その他の教育ボランティア

各教育委員会、学校等学外からの教育ボランティアの求人については教員就職指導室（☞表紙裏ページP.35）前の掲示板にて掲示しています。

3

よくある質問

Q：教育実習、インターンシップ、教育ボランティアの違いは何ですか？

A：教育実習は教員免許状を取得するために必須の授業科目の一つです。大学では事前・事後の指導を受講します。また、実際に学校で教員としての業務を体験するため、2～3週間にわたって、あらかじめ実習校にて準備された受け入れスケジュールに沿って、児童・生徒たちに教科指導や生徒指導を行ないます。

また教育インターンシップも授業科目として設置されており、大学での授業を通じて、自己課題を設定した上で、一年間（週1回のペース）にわたって学校現場での実務経験を積むとともに、考察レポート等を作成します。

一方、教育ボランティアは授業科目ではなく、各地の教育委員会や各学校での募集に対して、任意で応募し、学校の求める業務の補助（学習補助）を行ったりします。実際の活動期間、内容も学校ごとに異なります。

1 教員就職指導室とは

本学卒業生かつ校長経験のある“教員就職アドバイザー”が常時在室し、個別相談や面接指導などを通して教員就職を目指す学生を支援しています。

教員採用試験受験を予定している学部生・大学院生は、早期に来室して、準備を始めましょう。

2 教員就職指導室での支援

■ 支援内容

- (1) 教員就職に関する情報提供や教員になるまでの様々な相談
- (2) 公立・私立学校教員採用試験の対策内容の説明 (☞ P.60 ～ 63)
論文指導、模擬授業指導、面接指導などの支援
- (3) 教員採用試験対策問題集や各種情報誌などの閲覧コーナー
- (4) 教員の求人や教育ボランティア情報の提供 (教員就職指導室前の掲示板)
- (5) 「教員就職指導会」の開催 (☞次ページ)



指導風景



自主勉強会風景



各種冊子閲覧コーナー



「教員就職指導会」の様子

3 「教員就職指導会」の開催

■教員就職指導会

教員就職アドバイザーによる解説の他、本学卒業生である現職校長や教員をお招きし、最新の教員採用試験の情報提供や教員就職のための具体的な指導を行います。詳細は学部掲示板や MyWaseda でお知らせします。

時期	対 象	内 容
10 月	3 年生以上	次年度採用試験に臨むためのキックオフとして、管理職等による講演、公立・私立学校採用試験についての概要を説明
12 月	3 年生以上	実践的なテキストを配布しながら行う論文指導と、採用試験合格者数名による合格体験談
3 月	3 年生以上	教職教養、論文の講義演習を行う
5 月	新 4 年生以上	学校現場で活躍している現職若手教員によるパネルディスカッション
8 月上旬	教員採用試験 1 次合格者	早期に採用試験二次試験が実施される県への対策として、個人面接、模擬授業、集団面接・討論といった実践的な指導を行う
8 月中下旬	教員採用試験 1 次合格者	東京都等の採用試験二次試験「直前」対策として個人面接、英語実技、模擬授業、集団討論等の指導を行う

■小学校教員資格認定試験体験発表会

時期	対 象	内 容
2 ～ 3 月	2 年生以上	小学校免許取得の認定試験（文科省ホームページ [http://www.mext.go.jp/]）による取得を目指す学生を対象に、受験者が体験談を語る

4 開室について

- 場所：早稲田キャンパス 14 号館 202 号室（地図表紙裏ページ、P.35）
- Tel：03-3203-0921
- 開室時間：月～土曜日 10:00 ～ 12:30 / 13:30 ～ 17:00



夏季休業期間・冬季休業期間中の土曜日は閉室。年末年始の一斉休業期間、その他大学が定める休業日以外は原則として開室します。8 月の開室スケジュール、その他開室時間の変更等については、教員就職指導室前の掲示板及び MyWaseda にて適宜お知らせします。

1 公立学校教員採用試験について

公立学校の教員になるためには、採用を希望する都道府県・政令指定都市の教育委員会が実施する教員採用試験に合格しなければなりません。

■試験内容

一次試験や二次試験の内容は自治体によって異なりますが、主な内容は次のようなものです。

- (1) 筆記試験（専門教養・教職教養・一般教養・論文など）
- (2) 実技試験（小学校・理科・英語・音楽・美術・保健体育・技術・家庭など）
- (3) 面接試験（個人面接・集団面接・集団討論・模擬授業・場面指導など）
- (4) 適性検査（MMPI・MINI124 性格検査・Y-G 性格検査など）

2 自分で行う対策

以下の項目は自分で計画を立て、独学で準備することが必要です。

■教職教養・一般教養

受験先の過去の出題傾向を参考にして、学習計画を立ててください。教職教養は教育原理、教育心理、教育法規、教育史、教育時事などの分野で構成されています。一般教養は教員として、また一般社会人として身に付けておくべき内容が出題されています。

■専門教養

自分の専門とする教科の問題です。受験先の過去の出題傾向をしっかりと分析して臨むことが重要です。かなり高度な内容が出題されることもあります。また、この専門科目で、教員としての専門性を試されますので、力を入れて準備をしてください。小学校の場合は全科ですから幅広く勉強する必要があります。学習指導要領からも出題されますので、よく読みこんでおくことが肝要です。

3 教員就職指導室で受けられる対策

以下の項目は指導室のサポートを受けながら準備することが可能です

■ 論文指導

文字数や論述の時間はいろいろですが、多くの自治体や私立学校の採用試験で論文試験が課されています。全国的にみると、文字数は 800 字から 1000 字程度で、試験時間は 60 分くらいが平均的です。教員採用試験の可否については、受験科目ごとに最低基準を設け、その基準を下回る科目があると他がどんなに優れていても不合格にする方法を採用しており、最低基準を公表している自治体もあります。論文が基準に達しない場合、教職教養や専門教養がどんなに優れていても不合格になります。合格するためには優れた論文を作成することが必要です。そのためには、学習指導要領、中央教育審議会の答申及び各自治体の教育行政施策・教育振興計画等に目を通しておくことが大切です。

教員就職指導室ではオリジナルの対策テキストを配布しています。このテキストを熟読して、過去の問題を実際に論述してみてください。それを、指導室等で添削してもらい、書き直して合格答案を作成します。最後は自分で予想した論文課題を制限時間内で、手書きで書いてみましょう。

■ 面接指導

個人面接、集団面接のいずれも受験者の知識を問うだけではなく、学校現場で発生するあらゆる課題への対応力や児童・生徒への愛情や責任感、児童・生徒理解力、集団指導力、授業力など教員としての適性や人間性が試されます。面接の内容として、集団討論や場面指導、ロールプレイングなどの多様な方法も行われています。

受験先の過去問題などを調べて、自分なりの答えをまとめた「面接ノートづくり」を勧めています。そして、借り物ではないしっかりした自分の意見が述べられるように万全の準備をしてください。また、面接は練習を重ねることによって、落ち着いて自らの考えを述べるができるようになるものです。数多く実践練習を積んでください。

■ 模擬授業・指導案作成・単元指導計画作成などの指導

事前に学習指導案を作成し提出して個人面接の中で模擬授業を実施するところ、試験会場で指定の単元の指導案を作成して模擬授業をするところ、また東京都のように、1 時間の学習指導案ではなく単元全体の指導計画を提出するところなど、受験先によってさまざまです。

自分の受験先が何を求めているかを把握して指導案の作成や模擬授業の準備をします。教員就職指導室では、模擬授業をアドバイザーが見て指導・助言したり、受験生同士が授業を見合ってお互いに感想や意見を言い合ったりしています。やはり模擬授業は、回数を重ねることによってコツもつかめてきますし慣れてもきますので、積極的に参加してください。

学習指導案、単元指導計画の作成についてはぜひ教員就職指導室に相談してください。観点別評価規準を踏まえた学習指導案の作成方法などの資料も取り揃えてあります。

4 大学推薦制度

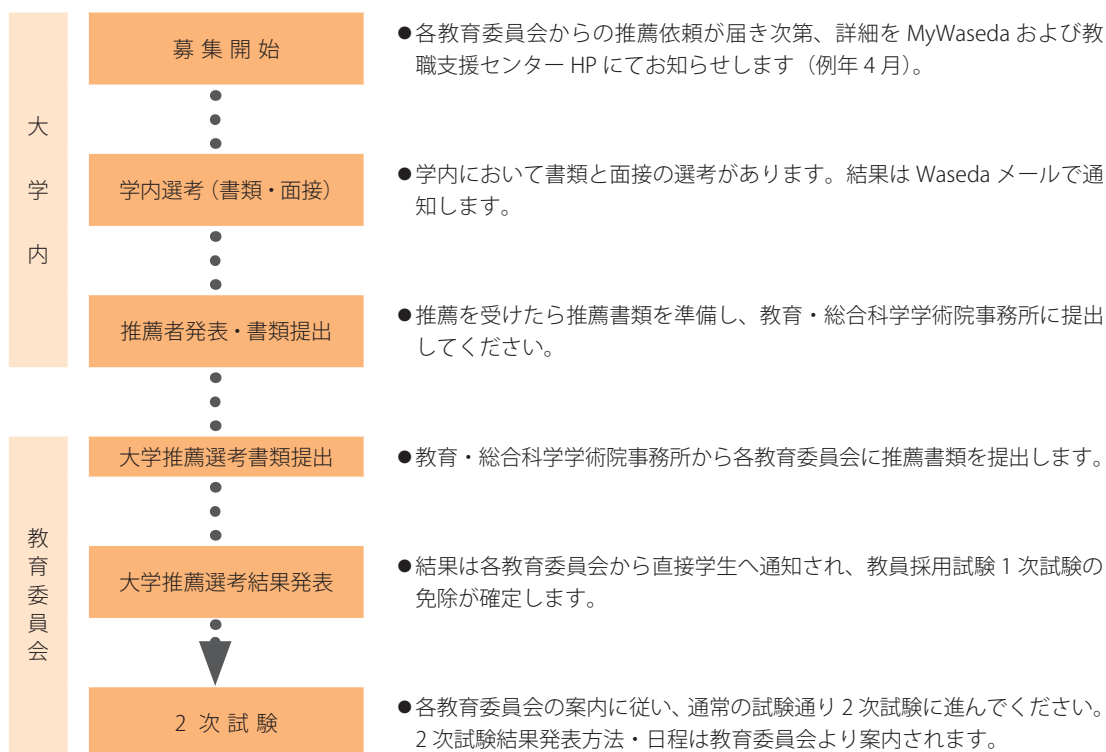
■ 大学推薦とは

各教育委員会より各大学に教員採用試験の1次選考免除の推薦枠が与えられ、推薦者を大学内で選考し、さらに教育委員会での試験を通して決定します。

■ 過去の推薦枠の状況（参考）

- (1) 推薦依頼のあった教育委員会 ※推薦状況は毎年変わります。
東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、千葉県・千葉市、埼玉県、京都府、京都市、大阪府、大阪市、堺市、豊能地区（大阪）、神戸市、滋賀県
- (2) 校種・教科
小学校、特別支援学校、中学校（国語・社会・数学・理科・英語・保体）、高校（国語・数学・理科・英語・保体・商業）
- (3) 人数
各枠1～2名が多い

■ 募集からの流れ



■ その他

教育委員会によっては、教職大学院（教育学研究科（高度教職実践専攻））の学生を対象に特別選考試験が実施され、教員採用試験の1次試験が免除されます。

本学教育学研究科（高度教職実践専攻）の入学試験説明会・相談会で詳細を説明します。

（☞早稲田大学教教育学研究科（高度教職実践専攻）ホームページ [https://www.waseda.jp/fedu/gted/]）

I
免許状とは

II
取得
免許
要件
状

III
科目
登録
成績

IV
介護
等
体験

V
教育
実習

VI
免許
状
申請

VII
教員
就職

VIII
教免
取得
卒業
後の

X
その他
資格

XI
連絡
先
一覧

私立学校への就職

1 私立学校教員採用試験について

私立学校は学校ごとに募集・試験を行っていますので、私立学校の教員になるためには、各学校の実施する採用試験に合格する必要があります。教員就職指導室前の掲示板やキャリアセンターの求人情報から募集情報を入手してください。私立教員の募集に関するホームページから情報を得る方法もあります。また、私学教員適性検査（※）を受けることをお勧めします。

※私学教員適性検査とは

東京都・静岡県・愛知県・兵庫県・広島県・福岡県・長崎県の私学協会では、毎年同一試験日・同一問題で「私学教員適性検査」を実施しています（群馬県などは独自の適性検査を実施）。この適性検査は、採用の可否を決めるものではなく、各私立学校が教員を採用する際の参考資料とするもので、私学協会は適性検査実施後、受検者名簿を作成し、優先的に採用されるように要望書を添えて各私立学校の校長へ送付します。各私立学校は、この名簿の中から採用候補者を選び、直接本人に連絡を取って面接などを行うこととなります。詳細は各都県の私学協会に問い合わせてください。

■ 試験内容

私立学校の教員採用試験では、多くの場合1次試験は書類審査です。履歴書はしっかり書きましょう。添付の写真にも注意が必要です。2次試験以降に、面接や模擬授業があります。筆記試験を行う私立学校もありますが、私学教員適性検査を活用する学校は、書類試験・面接・模擬授業等が中心となります。面接が、教科面接→校長面接→理事長面接と段階的に複数回ある学校もあります。

2 自分で行う対策

■ 専門教養・教職教養

各学校が行う筆記試験については、過去の問題を公表している学校はほとんどありません。大学入試レベルの比較的難しい問題の出題が多いので、大学での専門学習を中心に各校種・教科の教科書・資料集などをじっくり研究しておくことが大切です。私学教員適性検査の対策については、東京私立中学高等学校協会から過去の問題集が販売されていますので、そこから出題傾向を把握してください。

3 教員就職指導室で受けられる対策

公立学校における教員就職と同様のサポートが受けられます。

■ 論文指導

建学の精神に基づく私学教育の推進のため、受験者がその学校の教育を推進できる資質能力・情熱・適応力があるかどうかを見ようとしています。受験する学校の建学の精神や校訓、教育活動の特色等をよく調べて論文に反映できるようにしておくことが大切です。

■ 面接指導

面接は上記のように段階的に複数回行われますので、その段階に応じた準備が必要です。建学の精神や生徒の状況等からその学校の教師にふさわしいかどうかを評価します。

■ 模擬授業指導

事前に課題が与えられていて学習指導案を提出させ授業を行わせる場合や、当日その場で課題が与えられ、一定時間指導案を考えさせてから授業を行う場合等があります。教科面接と関連付けて行います。

本年度も教員採用試験に多くの本学学生が合格しました。そのうちの一部ですが、合格体験談を掲載しますので試験の具体的な勉強法など、今後の参考にしてください。

教育学部 中村 友香

合格先：静岡県 高校

①なぜ教員を目指したか

はじめは、「生徒に古典の魅力を伝えたい」という単純な思いからでした。もともと人にものを教えるのが好きだった私にとって、教員は高校の時から夢で、今の学部学科を選んだのも自然な成り行きでした。しかし、なりたい教員像を模索するうちに、「未来に向けて頑張る生徒の力になりたい」という自分の思いが見えてきました。学習面はもちろんのこと、学校生活や進路の悩みなど、生徒の抱える問題に親身に寄り添い、全力で手助けにあたる、これこそ私が教員になって一番やりたいことだと気付いたのです。生徒の一度しかない高校生活を一番身近で支える存在でありたい、その強い思いから教員を志しました。

②採用試験に臨むにあたって必要なこと

何よりも必要なのは、「自分の理想の教員像」を語るようにしておくことです。実際に現場に立った時の生徒との接し方、授業方法などを具体的に考えて、自分の言葉で伝えられるようにしておきましょう。その理想像を見つけ出すヒントとなるのが教育実習です。ぜひ生徒とのかかわりを多く持ち、授業でたくさん失敗して、自分を見つめなおすよい機会としてください。

もう一つ必要なことは、「相手の立場になって話す・聞く」ことです。教員は「話す職業」だと思われがちですが、その前に生徒などの話をきちんと聞く力が求められると私は考えます。身近な人の話にしっかりと耳を傾けるなど、日頃からの心がけが大切です。その一方で、話す力も必要不可欠です。面接の際、内容ばかりに目を向けるのではなく、自分

を客観視して、声量や抑揚、明るい表情などを意識するだけで印象がだいぶ変わってきます。「現場でも通用する話し方」を目標において、試験に臨みましょう。

③勉強方法、試験対策などの準備

まずは、受験自治体の出題形式・出題傾向を調べるところから始めましょう。自分で月ごとの学習計画をおおまかに立て、優先順位をつけて勉強するとよいです。

1次試験に関しては、教職教養と専門科目でいかに得点するかが重要です。教職教養は参考書を使うのもよいですが、問題演習で出題のパターンを頭に叩き込むのも有効です。専門科目は、ひたすらに過去問演習です。受験自治体のもの以外に、形式の似ている自治体や、今一度大学受験の赤本を解くのもよいでしょう。

2次試験に関しては、面接練習をどれだけやり込めたかが、本番での自信を左右します。教員就職指導室の先生方に面接官役をお願いするほかに、教員志望の友人と互いに面接内容を評価し合うのもおすすめです。集団討論の練習は、指導室で開かれる練習会に積極的に参加しましょう。仲間とのかかわりの中で、学ぶことも数多くあります。

④教員採用試験を目指す学生へのメッセージ

一般企業への就職組と比べると、教員は合格発表の時期が遅く、自分の選択に迷いが生じることや、不安を感じることもあるかと思います。ですが、この教員という職業を選んで大正解だった！と言えるよう、採用試験では自分の教員への情熱を思いっきりぶつけてください。皆さんのご健闘を心よりお祈りしています。

教員就職が決まったら

1 進路報告

次年度以降の教員就職支援の有益な資料とさせていただくために、MyWaseda からの進路決定の報告をお願いしています。専任・非常勤にかかわらず、教員採用が決まった方は、進路報告に協力してください。

■対象者

公立学校採用試験二次合格者及び補欠合格者、私立・公立学校の専任教員、非常勤教員、常勤講師採用決定者

■時期

進路が決定次第（11月下旬～翌3月頃）

■方法

- (1) MyWaseda に ID とパスワードでログイン
- (2) 「学生生活」メニュー、「キャリアコンパス」内の「内定・進路の報告」画面から進路報告

■参考

☞ キャリアセンターホームページ [<https://www.waseda.jp/inst/career/>]

2 稲門教育会

■稲門教育会とは

「稲門教育会」は「教育」に関わる校友（卒業生）が所属している稲門会となります。

本学では、教員として全国各地で活躍する校友との相互研鑽や交流を図るべく、1976 年に「稲門教育会」を結成して活動を展開してきました。また、各都道府県でも教職関係者が稲門会を組織しており、人的交流や研修、情報交換等を行い、教員就職をはじめとする教員養成の課題や後進の育成等にも取り組んでいます。

教員就職後、様々な困難が待ち構えていると思いますが、現場には本学出身の教員が数多く活躍しています。そんな頼れる先輩達と交流を持ち、学ぶことができるのが「稲門教育会」です。

教員就職後、是非、稲門教育会に参加してください。

また、在学中でも各地域の稲門教育会に質問・相談があればご連絡ください。

■ 全国の稲門教育会一覧

都道府県	会 名	都道府県	会 名
北海道	北海道稲門教育会	岐阜県	岐阜紺碧会
岩手県	岩手県稲門教育会	静岡県	静岡県高等学校教職員稲門会
茨城県	茨城県稲門教職員会	愛知県	愛知県稲門教育会
栃木県	栃木県高等学校等教職稲門会	三重県	三重県高等学校教職員稲門会
群馬県	群馬教職稲門会	大阪府	大阪稲風会
埼玉県	埼玉教育稲門会	兵庫県	兵庫県稲風会
千葉県	千葉県稲門教育会	奈良県	奈良県稲風会
東京都	稲教会(都立学校教職員・都教委関係職員)	岡山県	稲岡会
	稲風会(都内公立中学校管理職・市区教委関係職員)	広島県	広島県稲門教育会
	稲朋会(都内公立小学校管理職)	徳島県	徳島稲門淡交会
神奈川県	神奈川県稲門教職会	高知県	高知県教職員早稲田会
新潟県	新稲会	福岡県	福岡県教職員稲門会
富山県	富山県稲門教育会	佐賀県	佐賀県教職稲門会
石川県	石川教育稲門会	長崎県	長崎県稲門教育会
福井県	福井県教育稲門会	大分県	大分県教職員稲門会
山梨県	高稲会	宮崎県	宮崎県教職稲門会
長野県	長野県教職稲門会		

※「管理職」のみで構成されている会もありますので予めご了承ください。

■ 問合せ先

入会方法等については以下の事務局までご連絡ください。

稲門教育会事務局

E-mail: edu-tomon@list.waseda.jp

Tel: 03-3232-3599

教育総合クリニック

■教育総合クリニックとは

現役の教員や保護者が抱える教育上の悩みについて、教育・総合科学学術院所属の教員ならびに臨床心理士等の資格をもつ専門スタッフが、問題の背景を包括的に見立てたり、対応策の立案をしたり、個別の相談や具体的なスキルを修得するためのグループワークショップなどを通して課題解決の相談に応じています。

■対象・相談内容

- (1) 心理的な相談（幼児・児童・生徒・保護者の方が対象）
 - 発達・学習状況が気になる（不注意、整理整頓が苦手、学業不振、書字・読字に困難がある等）
 - 対人関係・友人関係の悩み（不登校、いじめ等）
 - 性格上の悩み（こだわりが強い、不安が高い、反抗的、無気力等）
 - 学校・家庭での不適応行動がある（暴力、非行、依存行動等）
- (2) 教育指導上の相談（小・中・高等学校の教員 また、教員志望の学生の方が対象）
 - 教科の教え方
 - 学級運営上の問題
 - 教材の工夫
 - 学校経営上の問題
- (3) ワークショップ
 - 教職員のための IEP（個別の教育計画）立案研究会
 - 教職員のための SST（ソーシャルスキルトレーニング）体験学習会

■その他

「教育総合クリニック」は、学生の研修機関としても位置づけています。相談時や心理検査・査定、グループワークショップ等に学生が陪席します。なお、平成30年度からは、国家資格である「公認心理師」のカリキュラムに対応するため、当クリニックを学生の実習施設としても活用いたします。

また、全ての相談業務を有料化する予定であります。相談料金等の詳細は、以下の当クリニックホームページよりご確認ください。

■問合せ先（初回面接につきましては、下記 E-mail または Fax にて事前にお申込みください）

E-mail: w-ed-clinic@list.waseda.jp / Fax: 03-3202-2549

☞教育総合クリニックホームページ [http://www.waseda.jp/fedu/education/#anc_3]

上記 URL から申込用紙<Fax 用>ダウンロードしてお使いください。

1 教員免許状に関する証明書の種類

■ 在学生・科目等履修生が申請できる証明書

証明書の種類	内 容
学力に関する証明書（見込）	教育職員免許法に基づき修得した機関・単位を証明するもので、主に教員採用試験に関わる手続きや在学中に修得した教職課程科目の単位を確認するための証明書です。免許状取得見込年度の6月1日以降発行します。 ※この証明書で免許状申請はできません。 ※発行には1週間程度かかります。
教員免許状取得見込証明書*	当年度教員免許状の取得見込であることを証明するものです。 免許状取得見込年度の6月1日以降発行します。
人物に関する証明書	教員採用試験の書類の一つです。様式は都道府県教育委員会にて受け取り、自分でゼミ担当教員等に記入を依頼してください。所属学部・研究科事務所に発行します。

※教員免許状取得見込証明書については、所属学部・研究科の要項、科目登録の手引き・授業ガイド等を必ずご確認ください。

■ 卒業生・科目等履修生（終了者）が申請できる証明書

証明書の種類	内 容
学力に関する証明書	教育職員免許法に基づき修得した機関・単位を証明するもので、主に教員免許状の授与申請や在学中に修得した教職課程科目の単位を確認するための証明書です。（旧単位修得証明書） ※発行には1週間程度かかります。

2 請求方法

証明書の発行は原則として所属学部・研究科事務所に発行します。請求方法の詳細は各学部・研究科のホームページを参照してください。

■ 1985 年（昭和 60 年）以前に学部を卒業された方へ

卒業年度・卒業した学部によっては証明書の発行窓口が校友課（大隈会館 1 階）になります。詳細は校友課ホームページで確認してください。

☞ 校友課ホームページ [<http://www.wasedaalumni.jp/procedure/certificates.html>]
→ 「手続きする」→ 「各種証明書の発行」

3 学力に関する証明書の見方

第 0000 号

(学籍番号: XXYYZ***)

① 資格名称: 中学校教諭一種免許状(平成10年改正法 平成20年省令改正) 社会

② 学力に関する証明書(見込)

早稲田大学 ○○学部
○○○○学科

201X年 4月 1日入学

201X年 3月15日卒業見込

学位: 学士(○○)

氏
名

早稲田 太郎

19XX年 X月 X日 生

上記の者は、教育職員免許法別表第1第2欄に定める基礎資格を有し、同表第3欄に定める単位を修得見込みであることを証明する。

免許法施行規則に定める科目	単位	免許法施行規則に定める科目	単位
【教職に関する科目】	35		
(第二欄<教職の意義等に関する科目>)	2		
教職の意義及び教員の役割/教員の職務内容(研修、服務及び身分保障などを含む。)/進路選択に資する各種の機会の提供等	2		
(第三欄<教育の基礎理論に関する科目>)	10		
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想/教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(教育課程の意義及び編成の方法を含む。)	8		
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	2		
(第四欄<教育課程及び指導法に関する科目>)	12		
教育課程の意義及び編成の方法	* 0		
各教科の指導法	6		
道徳の指導法	2		
特別活動の指導法	2		
教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	2		
(第四欄<生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目>)	4		
生徒指導の理論及び方法/進路指導の理論及び方法	2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)/の理論及び方法	2		
(第五欄<教育実習>)	5		
(第六欄<教職実践演習>)	2		
【教科又は教職に関する科目】	0		
【教科に関する科目】	* 28		
(日本史及び外国史)	8		
(地理学(地誌を含む。))	14		
(「法学、政治学」)	2		
(「社会学、経済学」)	4		
(「哲学、倫理学、宗教学」)	* 0		
合計単位数	63		
上記のすべての単位を取得予定年度: 20XX年度(平成**年度)			
【日本国憲法に関する科目】	* 0		
【体育に関する科目】	* 1		
【外国語コミュニケーションに関する科目】	4		
【情報機器の操作に関する科目】	2		
以下 余白			

【備考欄】

*: 当該科目の単位が不足していることを表す。教科に関する科目においては、一般的包括的内容を修得していないことを表す。

修得合計単位数

70

上記のとおりであることを証明する。

201X年 ○月 ○日

早稲田大学 ○○学部長

○

○

○

○

① 教員免許状の学校種・教科。カッコ内は適用法令名称。

② 「学力に関する証明書(見込)」となっている場合は、現在履修中の単位を含みます。

③ 「*」は、当該科目の単位が不足していることを表します。教科に関する科目については、必修科目を修得していないこと(一般的包括的内容を修得していないこと)を表します。

④ 合計で【59単位】以上必要です。合計単位数が59単位未満でも「*」は付かないので注意してください。

学部卒業後の教員免許状取得方法(科目等履修生制度)

教員免許状取得に必要な単位を修得せずに卒業した場合、学部の科目等履修生となり、必要な科目を履修するのが一般的です。不足単位の履修相談にあたっては、「学力に関する証明書」(☞ P.68 ～ 69) を用意してください。

1 本学の学部科目等履修生

本学の学部科目等履修生となり、不足単位を修得することが可能です。

なお、本学大学院に進学した場合でも、一種免許状修得に必要な科目を履修するためには、学部科目等履修生となる必要があるため、注意が必要です。

(1) 募集要項

例年1月下旬～2月上旬公開

(2) 詳細

☞所属学部のホームページを参照してください。

2 他大学の学部科目等履修生

他大学の科目等履修生となり、不足単位を修得することが可能です。

また、通信制課程であれば、就業しながらの単位修得も可能です。

☞私立大学通信教育協会 [<http://www.uce.or.jp/>]

I
免許状とは

II
取得
免許
要件
状

III
科目
登録
成績

IV
介護
等
体験

V
教育
実習

VI
免許
状
申請

VII
教員
就職

VIII
教
免
取
得
卒
業
後
の

X
その
他
資格

XI
連絡
先
一覧

1 図書館司書とは

- 図書館法で定められた資格で、図書館等の専門職員です。都道府県や市町村の公共図書館等で図書館資料の選択、発注及び受け入れから、分類、目録作成、貸出業務、読書案内などを行います。
- 勤務場所：公共図書館、大学図書館、専門図書館（企業の資料センター）、書籍流通業、大型書店など

2 早稲田大学で司書資格を取得する方法

以下のすべての項目を満たす必要があります。

- 学士の学位を取得すること（本学を卒業すること）
- 図書館司書資格に必要な科目の単位を修得すること（☞ P.72～73）

3 卒業後に司書資格を取得する方法

(1) 文部科学大臣から委託を受けた大学において実施される司書の講習を修了すること。

- 講習実施大学は文部科学省ホームページ [<http://www.mext.go.jp>] を参照してください。
- 大学にて「図書館司書関連科目」の単位を修得した場合、講習科目の一部が免除されることがあります。卒業した学部事務所に「図書館司書単位修得証明書」を発行後、講習を実施する大学へ持ち参り相談してください。

(2) 大学（短大を含む）で司書資格取得に必要な科目の単位を修得すること。

通信課程を有する大学等で科目を履修してください。通信課程を有する大学についての詳細は、私立大学通信教育協会のホームページ等を参照してください。

☞ 私立大学通信教育協会 [<http://www.uce.or.jp/>]

 図書館司書関連科目の不足単位を本学で修得することはできません。

4 図書館司書資格取得要件・時間割

図書館法施行規則の一部改正に伴い、2012年度より、図書館司書資格に関する新しいカリキュラムが設置されたため2011年までの入学者と、2012年以降入学者ではカリキュラムが異なります。詳細は次ページを参照してください。

〈2011年度以前入学者の取扱いについて〉

2012年度以降は以下3つの条件を満たす場合に限り、移行措置として、以下の（1）または（2）が適用されます。

① 2012年4月1日前から引き続き大学に在学（留年した者を含む）

(1) 2011年度までに必要単位を修得済の場合

旧カリキュラムで資格を取得することになります。2012年度以降に新たに科目を履修する必要はありません。

(2) 2011年度までに必要単位を未修得の場合

不足単位については、次ページの対応表の新科目を履修することで、旧科目を履修したものと見なされ、旧カリキュラムで資格を取得することになります。

② 在学中に司書となる資格に必要な全ての単位を修得

③ 当該大学を卒業

2011年度以前に在学した学生が、2012年度以降に再入学、編入学、学士入学、大学院進学、科目等履修生等で、本大学に入学した場合は、前記①の条件を満たさないため、移行措置は適用されません。新カリキュラムでの資格取得となりますので、修得済の旧カリキュラム科目を対応表に従って新カリキュラム科目に読み替え、不足単位を履修してください。

■ 図書館司書資格要件・時間割 (2012年度以降入学・新カリキュラム適用者)

新カリキュラム (2012年以降入学者)													
群	図書館に関する科目	最低修得単位数	早稲田大学設置科目名	必修/選択	単位	配当年次	組名	学期	教員氏名	曜日	時限	科目設置箇所	図書館司書課程聴講料
甲群	生涯学習概論	2	①生涯学習	セ ット 履 修 ①～④のうちいずれか必修	2	1～	A	春	藤澤まどか	火	6	教育	不要
			②生涯学習概論I		2	1～	A	春	坂内 夏子	木	3	教育	
			②生涯学習概論II		2	1～	A	秋	坂内 夏子	木	3	教育	
			③生涯学習概論1		2	1～	-	春	古市 将樹	火	2	文	
			④生涯学習概論2		2	1～	-	秋	古市 将樹	月	2	文	
	図書館概論	2	図書館概論	全科目必修	2	1～	A	春	雪嶋 宏一	火	6	教育	4
	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論		2	1～	A	春	雪嶋 宏一	月	6	教育	
	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論		2	1～	A	春	原 淳之	木	6	教育	
	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論		2	1～	A	春	雪嶋 宏一	水	6	教育	
	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論		2	1～	A	春	雪嶋 宏一	木	6	教育	
	情報サービス論	2	情報サービス論		2	1～	A	春	原 淳之	木	5	教育	
	児童サービス論	2	児童サービス論		2	1～	A	春	汐崎 順子	水	5	教育	
	情報サービス演習	2	情報サービス演習I		1	1～	A	秋	三澤 勝己	月	5	教育	¥7000 P.94
			情報サービス演習II				B	秋	三澤 勝己	月	6	教育	
			※「情報サービス論」単位修得者のみ登録可		1	2～	C	秋	中西 裕	木	5	教育	
							D	秋	中西 裕	木	6	教育	
	情報資源組織論	2	情報資源組織論		2	1～	A	春	木戸 裕	火	5	教育	
	情報資源組織演習	2	情報資源組織演習				A	通年	阪脇 孝子	水	5	教育	5
			※「情報資源組織論」単位修得者のみ登録可		2	2～	B	通年	阪脇 孝子	水	6	教育	
							C	通年	中村 克明	金	5	教育	
							D	通年	西田 洋平	火	6	教育	
乙群	図書館情報資源特論	1	図書館情報資源特論	2科目以上選択必修	2	2～	A	春	伊藤 淳	月	5	教育	
	図書・図書館史	1	図書・図書館史		2	2～	A	春	藤原 秀之	木	6	教育	
	図書館施設論	1	図書館施設論		2	2～	A	春	柳瀬 寛夫	火	6	教育	
							B	秋	川島 宏	火	6	教育	
							B	秋	柳瀬 寛夫	火	6	教育	



- 「生涯学習概論 I A」「生涯学習概論 II A」は、教育学部教育学科教育学専攻教育学専修および初等教育学専攻の学生が履修する場合は専門選択科目に、教育学部のその他の学科・専修の学生が履修する場合は専門教育科目(他学科・他専修)になります。また、初等教育学専攻の学生が履修する場合の配当年次は「2～」です。他学部生は、所属学部で定められた他学部聴講登録期間に申請してください。
- 「生涯学習概論 IB」「生涯学習概論 IIB」は、生涯教育学専修の学生のみが履修可能な専門必修科目です。その他の学部・学科・専攻・専修の学生は登録できません。
- 文化構想学部・文学部の学生は本科目は合併科目ですので、所属学部の一次登録に参加し、申請してください。上記以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録期間に申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
- 「図書館概論」は教育学専修・生涯教育学専修の学生が履修する場合、専門選択科目となり、聴講料も不要です。その他の学部・学科・専攻・専修の学生が履修する場合、随意科目(資格関連科目)となり聴講料が必要です。
- 前提条件となる科目の単位を修得しないと、本科目は登録できません。併行履修もできませんので、資格取得に2年は時間を要します。

I 免許状とは

II 免許状取得要件

III 科目登録成績

IV 介護等体験

V 教育実習

VI 免許状申請

VII 教員就職

VIII 卒業後の

X その他資格

XI 連絡先一覧

■ 図書館司書資格取得要件・時間割（2011年度以前入学・旧カリキュラム適用者）

※旧カリキュラムで単位を修得している場合、対応する新科目の登録はできません（「児童サービス論」は除く）。

※科目の時間割などの詳細は「2012年度以降入学・新カリキュラム適用者」のページ（P.72）にて確認してください。

旧カリキュラム (2011年度以前入学者)			新カリキュラム (2012年以降入学者)		
図書館に関する科目 (～2011年度)	最低 修得 単位数	早稲田大学設置 科目名 (～2011年度)	早稲田大学設置 科目名 (2012年度～)	必修/選択	
図書館概論	2	図書館学I	図書館概論	必修	
図書館サービス論	2		図書館サービス概論	必修	
情報サービス概説	2	レファレンスサービス概説及演習	情報サービス論	必修	
レファレンスサービス演習	1		情報サービス演習II ※「情報サービス論」単位修得者のみ登録可。	必修	⚠ 1
情報検索演習	1	情報検索演習	情報サービス演習I	必修	
図書館資料論	2	図書館資料論	図書館情報資源概論	必修	
			図書・図書館史	必修	
生涯学習概論	1	①生涯学習 ②生涯学習概論 ③生涯学習概論1 ④生涯学習概論2 ①～④のいずれか必修	①生涯学習	①～④のうち いずれか必修	
			②生涯学習概論I		
			②生涯学習概論II		
			③生涯学習概論1		
			④生涯学習概論2		
児童サービス論	1	図書館学II	児童サービス論	必修	
図書館経営論	1		図書館制度・経営論	必修	
図書館特論	1		図書館施設論	必修	
資料組織概説	2	資料組織概説及演習	情報資源組織論	必修	
資料組織演習	2		情報資源組織演習 ※「情報資源組織論」単位修得者のみ登録可。	必修	⚠ 1
専門資料論	1	図書館学V	図書館情報資源特論	必修	
資料特論	1				
			図書館情報技術論	選択科目	⚠ 2



- 前提条件となる科目の単位修得がないと登録できない科目があります。資格取得には少なくとも2年間かかりますので注意してください。
- この科目を旧カリキュラムの学生は履修する必要はありませんが、希望すれば履修することは可能です。ただし、旧カリキュラムの単位修得証明書では証明されません。もし新カリキュラムですべて図書館司書の科目を履修する場合には、新カリキュラムの単位修得証明書で証明されます。

学校図書館司書教諭

I
免許状とは

II
取得
免許
要件
状

III
科目
登録
成績

IV
介護
等
体験

V
教育
実習

VI
免許
状
申請

VII
教員
就職

VIII
卒業
後の
教免
取得

X
その他
資格

XI
連絡
先
一覧

1 学校図書館司書教諭とは

- 教科を担当できる教員が学校で教鞭を執ると同時に、小学校・中学校等の図書館を管理・運営し、学校教育に寄与しながら情報化社会を生きる生徒たちの教養を育成することを目的とした資格です。図書、視覚聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料を収集、整理、保存し、これを児童又は生徒及び教員に貸し出しすることが業務になります。
- 勤務場所：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の図書室

2 早稲田大学で学校図書館司書教諭の資格を取得する方法

以下のすべての項目を満たす必要があります。

- 小学校、中学校、高校、または特別支援学校のいずれかの教員免許状を取得すること
- 学校図書館司書教諭資格に必要な科目の単位を修得すること（☞ P.74）

3 学校図書館司書教諭資格取得要件・時間割

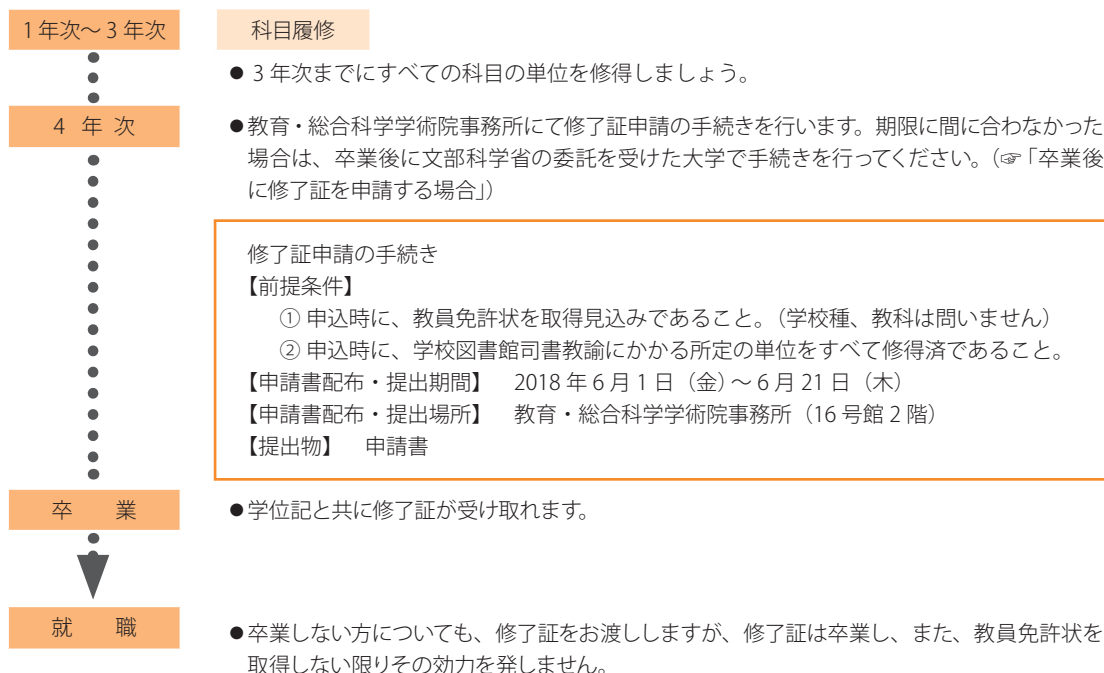
下表のすべての科目の単位を修得する必要があります。

学校図書館司書教諭資格取得要件・時間割

学校図書館司書教諭講習科目	最低修得単位数	早稲田大学設置科目名	履修方法	単位	配当年次	組名	学期	曜日	時限	教員氏名	科目設置箇所	図書館司書課程聴講料
学校経営と学校図書館	2	学校経営と学校図書館	必修	2	1～	-	春学期	金	6	須永 和之	教育	¥7000 ☞ P.94
学習指導と学校図書館	2	学習指導と学校図書館	必修	2	1～	-	秋学期	金	6	須永 和之	教育	
学校図書館メディアの構成	2	学校図書館メディアの構成 (2011年度までは「図書館資料論」と「資料組織概説及演習」の2科目必修)	必修	2	1～	-	春学期	金	5	名城 邦孝	教育	
情報メディアの活用	2	情報メディアの活用	必修	2	1～	-	秋学期	金	5	西巻 悦子	教育	
読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	必修	2	1～	-	秋学期	水	6	汐崎 順子	教育	

⚠ 旧科目「図書館資料論」、「資料組織概説及演習」のどちらか一方でも未履修の場合は、新科目「学校図書館メディアの構成」を履修してください。
なお、「学校図書館メディアの構成」の履修にあたり、前提条件・既得条件は設けません。

4 履修から修了証申請までのスケジュール



5 卒業後に修了証を申請する場合

卒業と同時に要件を満たす場合、卒業後に文部科学省の委託を受けた大学へ修了証を申請することになります。委託を受けた大学の一覧は文部科学省ホームページを参照してください。（東京都で申請する場合、東京学芸大学が窓口となります）

☞文部科学省ホームページ [http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/index.htm]

> 学校図書館司書教諭講習実施要項

> 別表 1 講習実施機関

☞東京学芸大学 学校図書館司書教諭講習 [<http://www.u-gakugei.ac.jp/t-support/shisho.html>]

6 卒業後に学校図書館司書教諭資格を取得する方法

(1) 文部科学大臣から委託を受けた大学において実施される学校図書館司書教諭の講習を修了すること。

● 講習実施大学は文部科学省ホームページ [<http://www.mext.go.jp/>] を参照してください。

(2) 大学（短大を含む）で司書教諭資格取得に必要な単位を修得すること。

通信課程を有する大学等で科目を履修してください。通信課程を有する大学についての詳細は、私立大学通信教育協会のホームページ等を参照してください。

☞私立大学通信教育協会 [<http://www.uce.or.jp/>]



学校図書館司書教諭関連科目の不足単位を本学で修得することはできません。

1 博物館学芸員とは

- 博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業を行う、「博物館法」に定められた、博物館におかれる専門的職員です。
- 勤務場所：博物館・美術館・資料館など
- 仕事内容：資料の収集・展示・調査研究など

2 早稲田大学で学芸員資格を取得する方法

以下のすべての項目を満たす必要があります。

- 学士の学位を取得すること（本学を卒業すること）
- 博物館学芸員資格に必要な科目の単位を修得すること（☞ P.77～84）

3 博物館学芸員資格取得要件・時間割

- 2011 年度までの入学者と、2012 年度以降入学者とカリキュラムが異なります。
博物館法施行規則の一部改正に伴い、2012 年度より、博物館学芸員資格に関する新しいカリキュラムが設置されたため 2011 年までの入学者と、2012 年以降入学者ではカリキュラムが異なります。詳細は☞ P.77～84 を参照してください。

〈2011 年度以前入学者の取扱いについて〉

2012 年度以降は以下 3 つの条件を満たす場合に限り、移行措置として、以下の (1) または (2) が適用されます。

① 2012 年 4 月 1 日前から引き続き大学に在学（留年した者を含む）

(1) 2011 年度までに必要単位を修得済の場合

旧カリキュラムで資格を取得することになります。2012 年度以降に新たに科目を履修する必要はありません。

(2) 2011 年度までに必要単位を未修得の場合

不足単位については、以下対応表の新科目を履修することで、旧科目を履修したものと見なされ、旧カリキュラムで資格を取得することになります。

② 在学中に学芸員となる資格に必要な全ての単位を修得

③ 当該大学を卒業

2011 年度以前に在学した学生が、2012 年度以降に再入学、編入学、学士入学、大学院進学、科目等履修生等で、本大学に入学した場合は、前記①の条件を満たさないため、移行措置は適用されません。新カリキュラムでの資格取得となりますので、修得済の旧カリキュラム科目を対応表に従って新カリキュラム科目に読み替え、不足単位を履修してください。

4 卒業後に学芸員資格を取得する方法

- (1) 早稲田大学文学部 学芸員資格課程夏季集中講座を利用して必要な科目を修得する。

詳細は、文学部学芸員資格課程夏季集中講座のホームページを参照してください。なお当講座は2018年度の開講をもって終了いたします。2019年度以降、社会人の方が当学で学芸員資格を取得することはできなくなります。

☞早稲田大学文学部 学芸員資格課程夏季集中講座 [http://flas.waseda.jp/curator/]

(2) 文部科学省の学芸員資格認定試験に合格する

試験の詳細は文部科学省ホームページを参照してください。

☞文部科学省ホームページ [学芸員の資格認定について]

[http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/gakugei/1217921.htm]

(3) 大学(短大を含む)で学芸員資格取得に必要な科目を修得する。

通信課程を有する大学等で科目を履修してください。

通信課程を有する大学についての詳細は、私立大学通信教育協会のホームページ等を参照してください。

☞私立大学通信教育協会 [http://www.uce.or.jp/]

■博物館学芸員資格取得要件・時間割

教育学部生用(2012年以降入学・新カリキュラム適用者)

※科目設置箇所は全て教育学部です。

⚠欄に特に記載がなければ、1次登録から登録してください。

博物館に関する科目	最低修得単位数	早稲田大学設置科目名	必修/選択	単位	配当年次	組名	学期	教員氏名	曜日	時限	聴講料									
生涯学習概論	2	①生涯学習	①～②のうちいずれか必修 セツト履修	2	1～	A	春	藤澤まどか	火	6	不要									
		②生涯学習概論I		2	1～	B	秋	藤澤まどか	火	6		1								
				②生涯学習概論II	2	1～	A	春	坂内 夏子	木	3	不要	2							
		B					教育学部生涯教育学専修【専門必修】						1							
		A					秋	坂内 夏子	木	3	不要	2								
		B					教育学部生涯教育学専修【専門必修】						2							
博物館概論	2	博物館概論	必修	2	1～	A	春	柳澤 和子	土	3	不要	3								
博物館経営論	2	博物館経営論	必修	2	1～	A	春	柳澤 和子	土	3	不要									
						B	秋	柳澤 和子	土	3										
博物館資料論	2	博物館資料論	必修	2	1～	A	春	下野 玲子	金	5	不要									
						B	秋	山田 磯夫	月	1										
博物館資料保存論	2	博物館資料論	必修	2	1～	A	春	松山 薫	金	6	不要									
						B	秋	松山 薫	金	6										
博物館展示論	2	博物館資料保存論	必修	2	1～	A	春	比田井克仁	土	4	不要									
						B	秋	比田井克仁	土	4										
博物館教育論	2	博物館展示論	必修	2	1～	A	春	小澤笑理子	金	5	不要									
						B	秋	小澤笑理子	金	5										
博物館情報・メディア論	2	博物館教育論	必修	2	1～	A	春	藤澤まどか	木	6	不要									
						B	秋	藤澤まどか	木	6										
						博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	必修	2	2～	A	春	喜多 孝臣	月	2	¥2,000			
												B	秋	栗山 究	水	6				
												C	春	栗山 究	水	2				
												D	秋	栗山 究	木	6				
												E	春	川原健太郎	火	4				
												F	教育学部生涯教育学専修【専門必修】						4	
												G	教育学部生涯教育学専修【専門必修】							

博物館に関する科目	最低修得単位数	早稲田大学設置科目名	必修/選択	単位	配当年次	組名	学期	教員氏名	曜日	時限	聴講料	!
博物館実習	3	博物館実習	必修	3	3～	A	通年	増野 恵子	木	9:55～12:10	¥5,000	5
						B	通年	小澤笑理子	金	13:00～15:15		
						C	通年	下野 玲子	水	14:00～16:15		
						D	通年	奥間 政作	木	16:30～18:45		
						E	通年	鈴木 泉	木	9:30～11:45		
						F	通年	山田 磯夫	月	14:45～17:00		
						G	通年	松山 薫	火	18:15～20:30		
						H	通年	井出 浩正	土	15:45～18:00		
						I	通年	増野 恵子	木	13:00～15:15		



- 「生涯学習概論 I A」「生涯学習概論 II A」は、教育学科教育学専攻教育学専修および初等教育学専攻の学生が履修する場合は専門選択科目に、その他の学科・専修の学生が履修する場合は専門教育科目（他学科・他専修）になります。また、初等教育学専攻の学生が履修する場合の配当年次は「2～」です。
- 「生涯学習概論 IB」「生涯学習概論 IIB」は、生涯教育学専修の学生が履修する場合は専門必修科目です。他学部・他学科専修の学生は登録できません。
- 「博物館概論」は、教育学専修・生涯教育学専修の学生が履修する場合、専門選択科目となります。その他の学科・専攻・専修の学生が履修する場合は、随意科目（資格関連科目）となります。
- 「博物館情報・メディア論 F」「博物館情報・メディア論 G」は、生涯教育学専修の学生が履修する場合は専門必修科目です。他学部・他学科専修の学生は登録できません。
- 「博物館実習」を履修するには、「博物館概論」の単位を前年度までに修得することが必要となります。従って前年度までに、「博物館概論」の単位を修得していない場合は、本年度に「博物館実習」の履修はできません。E, F, Hクラスの授業は戸山キャンパスで行います。

I 免許状とは

II 取得要件
免許状III 科目登録
成績

IV 介護等体験

V 教育実習

VI 免許状申請

VII 教員就職

VIII 教免取得
卒業後の

X その他資格

XI 連絡先一覧

■ 博物館学芸員資格取得要件・時間割
教育学部生用（2011 年度以前入学・旧カリキュラム適用者）

旧カリキュラム (2011年度以前入学者)				新カリキュラム (2012年以降入学者)		
博物館に 関する科目 (～2011年度)	最低 修得 単位数	早稲田大学設置 科目名 (～2011年度)	必修/選択	早稲田大学設置 科目名 (2012年度～)	必修/ 選択	
生涯学習概論	1	生涯学習	いずれか 1科目必修	①生涯学習	い① ず② れ② か の 必 う 修 ち	科目の時間割などの詳細は「2012年度以降入学・新カリキュラム適用者」のページ(P.77, 78)にて確認してください。
		生涯学習概論		②生涯学習概論Ⅰ		
			②生涯学習概論Ⅱ			
博物館概論	2	博物館概論	必修	博物館概論	必修	
博物館経営論	1	博物館学各論	必修	博物館経営論	必修	
博物館資料論	2			博物館資料論	必修	
博物館情報論	1			博物館情報・メディア論	必修	
視聴覚教育メディア論	1	視聴覚教育メディア論(実習を含む)Ⅰ	いずれか 1科目必修	博物館情報・メディア論	必修	
		ツールとしての情報通信ネットワークⅡ(視聴覚教育メディア論)				
		視聴覚教育メディア論(実習を含む)Ⅱ				
博物館実習	3	博物館実習	必修	博物館実習	必修	
教育学概論	1	①「教育課程編成論」および「教育基礎総論1」および「教育基礎総論2」	左記の①、②いずれかの組合せでの履修が必要	博物館教育論	必修	
		②「教育学概論」				
				博物館資料保存論	選択科目	
				博物館展示論		



これらの新カリキュラム 2 科目は旧カリキュラム適用者は履修不要となりますが、希望者は履修することは可能です。ただし、旧カリキュラムの単位修得証明書では証明されません。もし新カリキュラムですべて博物館学芸員の科目を履修する場合には、新カリキュラムの単位修得証明書で証明されます。

■ 博物館学芸員資格取得要件・時間割

教育学部以外の学生用（2012年以降入学・新カリキュラム適用者）

博物館に関する科目	最低修得単位数	早稲田大学設置科目名	必修/選択	単位	配当年次	組名	学期	教員氏名	曜日	時限	科目設置箇所	聴講料	!
生涯学習概論	2	生涯学習	いずれか1科目必修	2	1～	A	春	藤澤 まどか	火	6	教育	不要	1
		②生涯学習概論I		2	1～	B	秋	藤澤 まどか	火	6	教育	不要	2
		②生涯学習概論II		2	1～	A	春	坂内 夏子	木	3	教育	不要	2
		生涯学習概論1		2	1～	-	春	坂内 夏子	木	3	教育	不要	3
		生涯学習概論2		2	1～	-	秋	古市 将樹	火	2	文	不要	3
博物館概論	2	博物館概論	必修	2	1～	A	春	柳澤 和子	土	3	教育	不要	1
博物館経営論	2	博物館経営論	必修	2	1～	B	秋	柳澤 和子	土	3	教育	不要	1
博物館資料論	2	博物館資料論	必修	2	1～	A	春	下野 玲子	金	5	教育	不要	1
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	必修	2	1～	B	秋	山田 磯夫	月	1	教育	不要	1
博物館展示論	2	博物館展示論	必修	2	1～	A	春	松山 薫	金	6	教育	不要	1
博物館教育論	2	博物館教育論	必修	2	1～	B	秋	松山 薫	金	6	教育	不要	1
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	必修	2	2～	A	春	比田井克仁	土	4	教育	不要	1
						B	秋	比田井克仁	土	4	教育	不要	1
						C	春	小澤絵理子	金	5	教育	不要	1
						D	秋	小澤絵理子	金	5	教育	不要	1
						E	春	藤澤 まどか	木	6	教育	不要	1
						F	秋	藤澤 まどか	木	6	教育	不要	1
						G	春	喜多 孝臣	月	6	教育	不要	1
						H	秋	栗山 究	水	6	教育	不要	1
						I	春	栗山 究	水	2	教育	不要	1
						J	秋	栗山 究	木	6	教育	不要	1
						K	春	川原健太郎	火	4	教育	不要	1
博物館実習	3	博物館実習	必修	3	3～	A	通年	増野 恵子	木	9:55～12:10	教育	¥2,000	1
						B	通年	小澤絵理子	金	13:00～15:15	教育	¥2,000	1
						C	通年	下野 玲子	水	14:00～16:15	教育	¥2,000	1
						D	通年	奥間 政作	木	16:30～18:45	教育	¥2,000	1
						E	通年	鈴木 泉	木	9:30～11:45	教育	¥2,000	1
						F	通年	山田 磯夫	月	14:45～17:00	教育	¥2,000	1
						G	通年	松山 薫	火	18:15～20:30	教育	¥2,000	1
						H	通年	井出 浩正	土	15:45～18:00	教育	¥2,000	1
						I	通年	増野 恵子	木	13:00～15:15	教育	¥2,000	1



1. 所属学部の一登録にて登録申請をしてください。なお、科目の取り扱いは所属学部の学部要項等で確認してください。
2. 所属学部で定められた他学部聴講登録で申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
3. 文化構想学部・文学部の学生は本科目は合併科目ですので、所属学部の一登録に参加し、申請してください。上記以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録で申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
4. 「博物館実習」を履修するには、「博物館概論」の単位を前年度までに修得することが必要となります。したがって前年度までに、「博物館概論」の単位を修得していない場合は、本年度に「博物館実習」の履修はできません。また、E, F, Hクラスの授業は戸山キャンパスで行います。

I 免許状とは

II 免許状取得要件

III 科目登録成績

IV 介護等体験

V 教育実習

VI 免許状申請

VII 教員就職

VIII 卒業後の教員取得

IX その他資格

XI 連絡先一覧

■ 博物館学芸員資格取得要件・時間割

教育学部以外の学生用（2011年度以前入学・旧カリキュラム適用者）

旧カリキュラム (2011年度以前入学者)				新カリキュラム (2012年度以降入学者)		
博物館法に関する科目 (～2011年度)	最低 修得 単位数	早稲田大学設置 科目名 (～2011年度)	必修/ 選択	早稲田大学設置 科目名 (2012年度～)	必修/ 選択	
生涯学習概論	1	①生涯学習 ②生涯学習概論 ③生涯学習概論1 ④生涯学習概論2	①～④のいずれ か1科目必修	①生涯学習 ②生涯学習概論I ②生涯学習概論II ③生涯学習概論1 ④生涯学習概論2	①～④の いずれ か 1科目 必修	科目の時間割などの詳細は「2012年度以降入学・新カリキュラム適用者」のページ(P.80)にて確認するようにしてください。
博物館概論	2	博物館概論	必修	博物館概論	必修	
博物館経営論	1			博物館経営論	必修	
博物館資料論	2	博物館学各論	必修	博物館資料論	必修	
博物館情報論	1			博物館情報・メディア論	必修	
視聴覚教育メディア論	1	視聴覚教育メディア論(実習を含む)II	必修	博物館情報・メディア論	必修	
博物館実習	3	博物館実習	必修	博物館実習	必修	
教育学概論	1	①「教育課程編成論」 ②「教育基礎総論1」と「教育基礎総論2」 ③「教育学概論1」と「教育学概論2」 ④「教育学概論」(2007年度以前)	以下のいずれかの組合せでの履修が必要 1. ①②をセットで履修 2. ①③をセットで履修 3. ④を履修	博物館教育論	必修	
				博物館資料保存論	選択	⚠
				博物館展示論	科目	



これらの新カリキュラム 2 科目は旧カリキュラム適用者は履修不要となりますが、希望者は履修することは可能です。ただし、旧カリキュラムの単位修得証明書では証明されません。もし新カリキュラムですべて博物館学芸員の科目を履修する場合には、新カリキュラムの単位修得証明書で証明されます。

■ 博物館学芸員 夏季集中講座 (文化構想学部・文学部生優先)

<博物館学芸員 夏季集中講座について>

- 夏季休業期間中の約6週間で、2012年度以降入学者に適用される新カリキュラムにおいて法令上必要とされる19単位すべてを修得できるように各科目が集中的に設置されています。
- 「博物館実習 (学芸員夏季)」以外のすべての必修講義科目は「事前のオンデマンド講義」と夏季休業期間中の「対面による講義」で構成されており、オンデマンド講義の視聴ならびに対面講義への出席のいずれも必要です (いずれかの履修のみで単位を修得することはできません)。なお、事前のオンデマンド講義は春学期中に開始となり、各科目とも対面講義開始前日までに視聴を終える必要があります。
 - 2018 年度オンデマンド講義受講期間【予定】：6月25日(月)～各科目とも対面講義開始の前日まで (対面講義開始日は科目によって異なります)
 - 2018 年度対面講義受講期間【予定】：7月30日(月)～9月14日(金) (講義実施日は科目によって異なります)
- 「博物館実習 (学芸員夏季)」はすべて対面講義で行われ、3週間で計45コマの受講が必要です。また当科目は社会人の科目等履修生との合同授業となります。定員は若干名のため、毎年抽選必至です。卒業年度に確実に当科目の単位の修得を希望する場合は、教育学部設置の「博物館実習」(通年)の登録をお勧めします。また当科目は登録に前提条件が設けられています。

【「博物館実習 (学芸員夏季)」の前提条件】

 - 当年度夏季をもって「博物館実習」以外の法令上必要な単位の修得を終える見込みの4年次以上の学生

⚠ 【重要なお知らせ】 博物館学芸員 夏季集中講座の終了について

文学部の博物館学芸員 夏季集中講座は2018年度の開講をもって終了いたします。2019年度以降は教育学部設置の博物館学芸員関連科目のみの開講となりますので夏季集中講座の受講による資格取得 (もしくは一部科目の単位修得) を希望されている方はご注意ください。

- 取得要件は入学年度によって異なります。2012年度以降入学者は新カリキュラムの表を、2011年度以前入学者は旧カリキュラムの表を参照してください。
- 聴講料の欄に記載のある科目は、聴講料、実習費が必要になります。
- 「博物館情報・メディア論 (学芸員夏季)」「博物館実習 (学芸員夏季)」以外の必修科目は文化構想学部および文学部以外の学部の学生も登録が可能です。所属学部が定める1次登録時に履修申請してください。
- 当講座は学芸員資格取得を目的として設置されたものであり、他の資格 (教職等) の単位としては算入できません。
- 教育学部設置の「博物館学芸員関連科目」と併行履修することはできませんが、同じ科目を重複して登録することはできません。
- 授業はすべて戸山キャンパスで行ないます。ただし「博物館実習 (学芸員夏季)」では一部の授業を早稲田キャンパスの會津八一記念博物館 (2号館) で行ないます。また科目によっては学外施設の見学、調査実習などを実施する場合があります。
- 7月下旬～8月上旬に実施される一部科目については、所属学部の通常授業 (理解度の確認含む)・補講・定期試験等と日程・時限が重複する場合があります。この場合は、**通常授業 (理解度の確認含む)・補講・定期試験等を優先してください。**なおこのことによる当講座の欠席について特別な配慮は一切行いません。
- 当講座は帰国後登録および夏季集中科目追加登録の対象外です。

I 免許状とは

II 取得要件
免許状III 科目登録
成績

IV 介護等体験

V 教育実習

VI 免許状申請

VII 教員就職

VIII 卒業後の
教員取得

X その他資格

XI 連絡先一覧

<必修科目>

旧カリキュラム (2011年度以前入学者)				新カリキュラム (2012年度以降入学者)								
博物館に 関する科目 (～2011年度)	最低 修得 単位 数	文学部夏季講座 設置科目名 (～2011年度)	必修/ 選択	文学部夏季講 座設置科目名	必修/ 選択	単位	配当 年次	組名	教員氏名	聴講料	日程	!
生涯学習 概論	1	生涯学習概論 (学芸員夏季)	必修	生涯学習概論 (学芸員夏季)	必修	2	1～	—	阿比留久美	不要		5
博物館概論	2	博物館概論 (学芸員夏季)	必修	博物館概論 (学芸員夏季)	必修	2	1～	A	村松 哲文	不要		
博物館 経営論	1	博物館経営・ 情報論 (学芸員夏季)	必修	博物館経営論 (学芸員夏季)	必修	2	1～	A	岡戸 敏幸	不要		
博物館 情報論	1			博物館情報・ メディア論 (学芸員夏季)	必修	2	1～	A	下野 玲子	不要	各科目の 対面講 義・実習 期間につ いては、 Webシラ バスにて お知らせ します。	1
視聴覚教育 メディア論	1	視聴覚教育 メディア論 (学芸員夏季)	必修									
博物館 資料論	2	博物館資料論 (学芸員夏季)	必修	博物館資料論 (学芸員夏季)	必修	2	1～	A	岡戸 敏幸	不要		
博物館実習	3	博物館実習 (学芸員夏季)	必修	博物館実習 (学芸員夏季)	必修	3	4～	A～ F	山田磯夫他	¥5,000		2、3
教育学概論	1	教育学概論 (学芸員夏季)	必修	博物館教育論 (学芸員夏季)	必修	2	1～	A	端山 聡子 梨本 加菜	不要		
				博物館資料 保存論 (学芸員夏季)	必修	2	1～	—	山田 関 磯夫 義則	不要		4、5
				博物館展示論 (学芸員夏季)	必修	2	1～	A	高橋 信裕 薩摩 雅登	不要		4



- 「博物館情報・メディア論(学芸員夏季)」は文化構想学部・文学部の学生のみ登録可能です。また、「文化財専門講義(日本工芸史)(学芸員夏季)」と時間割が一部重複しているため、同時に登録できません。
- A～Fクラスが開講されますが、科目登録時はAクラスのみしか選択できません。クラスは自動的に振り分けられます(いずれのクラスでも開講日時は同一です)。
- 「博物館実習(学芸員夏季)」は文化構想学部・文学部の学生のみ登録可能です。登録には前提条件があります。(P.82) また、社会人の科目等履修生との合同授業となります。
- 2011年度以前入学の旧カリキュラム適用者は、これらの科目は必ずしも履修する必要はありませんが、希望者は履修可能です。ただし、旧カリキュラムの単位修得証明書では証明されません。
- 「生涯学習概論(学芸員夏季)」、「博物館資料保存論(学芸員夏季)」は社会人の科目等履修生との合同授業となります。

● 2011 年度以前入学者(旧カリキュラム適用者) 向け注意事項

- ① 2012 年度より博物館学芸員の科目が変更になりました。2011 年度以前入学者は旧カリキュラムのすべての科目の単位修得が資格取得の条件となります。ただし、2011 年度までに旧科目で修得できていない単位がある場合は、2012 年度以降の新科目を履修して、旧カリキュラムの要件を満たすようにします。
- ② 上記の措置は、2011 年度以前入学者が、卒業までに旧カリキュラムにて必要なすべての単位を修得する場合に限られます。旧カリキュラムにて必要な単位を取りきらずに卒業、退学等となった場合は、新カリキュラムが適用となり、旧カリキュラムの単位だけでは資格取得ができなくなりますので注意してください。
- ③ 旧科目で単位を修得している場合、読替表で対応する新科目の登録はできません。
- ④ 旧科目と新科目が混在していても、適用となるカリキュラムで必要な単位がすべて修得できていれば、資格取得に支障はありません。
- ⑤ 旧科目の「視聴覚教育メディア論(学芸員夏季)」の単位を修得済みの方が、「博物館経営・情報論(学芸員夏季)」の単位を修得していない場合、新科目では「博物館経営論(学芸員夏季)」と「博物館情報・メディア論(学芸員夏季)」の両方の履修が必要となります。新科目の「博物館経営論(学芸員夏季)」と旧科目の「視聴覚教育メディア論(学芸員夏季)」の組み合わせでは旧カリキュラムの「博物館情報論」の区分を満たしたことはありません。

<選択科目>

文学部夏季講座設置科目名	必修／ 選択	単位	配当 年次	組名	教員氏名	聴講料	日程	
文化財保存修復(木造彫刻)(学芸員夏季)	選択	2	4～	—	櫻庭 裕介 小松 武彦	¥3,000	Webシラバスにてお知らせします(全科目同時期に開講されます)。	1
文化財保存修復(日本画・古文書)(学芸員夏季)	選択	2	4～	—	庄司 文計	¥3,000		1
文化財保存修復(洋画)(学芸員夏季)	選択	2	4～	—	村松 裕美	¥3,000		1
資料保存修復(近現代文書)(学芸員夏季)	選択	2	4～	—	有友 至 中島 郁子	¥3,000		1
文化財専門講義(日本彫刻史)(学芸員夏季)	【休講】							—
文化財専門講義(日本絵画史)(学芸員夏季)	選択	2	1～	—	谷川 ゆき 新江 京子	不要		1
文化財専門講義(日本工芸史)(学芸員夏季)	選択	2	1～	—	小松 大秀 池田 宏勝 加島	不要		1、2



1. 選択科目は新・旧カリキュラムに関わらず学芸員資格の取得要件には含まれませんので、履修は任意です。各科目とも社会人の科目等履修生との合同授業で、定員は若干名となります。選択科目は文化構想学部・文学部の学生のみ登録可能です。
2. 「文化財専門講義(日本工芸史)(学芸員夏季)」と「博物館情報・メディア論(学芸員夏季)」は時間割が一部重複しているため、同時に登録できません。

■選択科目の履修申請に関する注意事項<重要>

上記選択科目はすべて同時期に開講されるため、同一年度内に**1科目のみ**履修が可能です。履修申請時は、希望科目1科目のみを申請してください。2科目以上申請している場合は、いずれかの科目がランダムにエラーとなります。またエラーとならなかった科目でも履修希望者が定員を超えている場合、抽選となり結果的にいずれの科目も履修できなくなる場合もありますので注意してください。また「文化財保存修復」と「資料保存修復」については、以下の通り登録に前提条件が設けられていますが、この前提条件を満たした4年次以上の学生が2科目以上の履修申請を行った場合、「文化財保存修復」および「資料保存修復」が「文化財専門講義」よりも優先して登録(抽選)されます。

【「文化財保存修復」「資料保存修復」の前提条件】

当年度夏季をもって博物館学芸員となる資格を得るために法令上必要な科目のうち、「博物館実習」以外のすべての単位の修得を終える見込みの4年次以上の学生

I 免許状とは

II 取得要件
免許状III 科目登録
成績

IV 介護等体験

V 教育実習

VI 免許状申請

VII 教員就職

VIII 教免取得
卒業後の

X その他資格

XI 連絡先一覧

社会教育主事

1 社会教育主事とは

- 都道府県及び市区町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的職員で、社会教育を行う者に対する専門的技術的な助言・指導に当たる役割を担います。地域での様々な学習・文化事業の企画・実施を行うと同時に、子どもから大人までの学習者や社会教育団体の指導者等、社会教育を行っている人々に対してより専門的的確なアドバイスを提供し、サポートする仕事です。

- 勤務場所：児童館、公民館、生涯学習センターなど

- 任用資格※となります。

※特定の資格を取得すれば職業・職位として公称できるというものではなく、当該任用資格を取得後、該当の職務に任用・任命されて初めて効力を発揮する資格です。

国家資格ではありません。社会福祉士との混同に注意。

2 社会教育主事の資格取得要件

社会教育主事の資格を有する条件は以下の通りです。（社会教育法第九条の四から抜粋）

- 一 大学2年以上在学して62単位を修得し、又は高等専門学校を卒業し、かつ、次に掲げる期間を通算した期間が3年以上になる者で、社会教育主事の講習を修了したもの
 - イ 社会教育主事補の職にあった期間
 - ロ 官公署又は社会教育関係団体における社会教育に関係のある職で文部科学大臣の指定するものにあった期間
 - ハ 官公署又は社会教育関係団体が実施する社会教育に関係のある事業における業務であって、社会教育主事として必要な知識又は技能の習得に資するものとして文部科学大臣が指定するものに従事した期間（イ又はロに掲げる期間に該当する期間を除く。）
- 二 教育職員の普通免許状を有し、かつ5年以上文部科学大臣の指定する教育に関する職にあった者で、社会教育主事の講習を修了したもの
- 三 大学に2年以上在学して62単位以上修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者で一号のイからハまでに掲げる期間を通算した期間が1年以上になるもの。
- 四 社会教育主事の講習を修了したもので（1号及び2号に掲げる者を除く。）で、社会教育に関する専門的事項について一号から三号に掲げる者に相当する教養と経験があると都道府県の教育委員会が認定したもの。

3 早稲田大学で社会教育主事資格に必要な単位を修得する方法

本学では前ページ「②社会教育主事の資格取得要件」のうち、「三 大学に2年以上～社会教育に関する科目の単位を修得」の要件を満たすことができます。修得すべき科目は P.87～90 を参照してください。

- 大学に2年以上在学をして62単位を修得すること
- 社会教育主事資格に必要な科目の単位修得 (☞ P.87～90)

⚠ 上記取得要件のとおり、本学で必要科目単位の修得をただけでは、社会教育主事の取得要件をすべて満たしたことはありませんので、注意してください。

4 卒業後に社会教育主事を目指す方法

(1) 文部科学大臣から委嘱を受けた大学等で社会教育主事の講習を修了すること。

- 講習実施機関は文部科学省ホームページを参照してください。
☞ 文部科学省ホームページ「社会教育主事講習実施機関一覧」
[http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/gakugei/syujji/1279836.htm]
- 大学にて「社会教育主事関連科目」の単位を修得した場合、講習科目の一部が免除されることがあります。卒業した学部の事務所にて「社会教育主事単位修得証明書」を発行後、講習を実施する大学へ持参し相談してください。

(2) 大学(短大を含む)で「文部科学省令で定める社会教育に関する科目」を履修する。

履修できる大学は文部科学省ホームページを参照してください。

- ☞ 文部科学省ホームページ「社会教育に関する科目を開設している大学一覧」
[http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/gakugei/syujji/1284692.htm]

⚠ 本学では上記(1)(2)ともに実施していません。

■ 社会教育主事資格取得要件・時間割

(1) 教育学部生用 ※科目設置箇所は全て教育学部です。

※ } はセット履修

分類	社会教育法 指定科目	早稲田大学設置 科目名	履修 方法	科目 系列	単位	配当 年次	組 名	学期	教員氏名	曜 日	時 限	聴講料	!		
Ⅰ	生涯学習概論	生涯学習概論Ⅰ	必修	専門 選択	2	1～	A	春	坂内 夏子	木	3	不要	1		
				B			生涯教育学専修【専門必修】				2				
		生涯学習概論Ⅱ	必修	専門 選択	2	1～	A	秋	坂内 夏子	木	3	不要	1		
				B			生涯教育学専修【専門必修】				2				
Ⅱ	社会教育計画	社会教育方法論	4 単位 必修	専門 必修	4	3～	－	生涯教育学専修【専門必修】			不要	3			
		社会教育行財政Ⅰ		専門 選択			2	1～	－	春		笹井 宏益	水	4	
		社会教育行財政Ⅱ		専門 選択			2	1～	－	秋		梶野 光信	水	4	
Ⅲ	社会教育演習、社会 教育実習、または 社会教育課題研 究のうち1科目以上	社会教育演習Ⅰ	4 単位 必修	専門 必修	4	3～	－	生涯教育学専修【専門必修】			不要	3			
		社会教育演習Ⅱ			4	4～	－	生涯教育学専修【専門必修】				3			
		社会教育実習			2	1～	－	生涯教育学専修【専門必修】				3			
		社会教育課題研究Ⅰ-1		専門 選択	2	1～	－	春	岩崎 正吾	木		3			
		社会教育課題研究Ⅰ-2			2	1～	－	秋	岩崎 正吾	木		3			
		社会教育課題研究Ⅱ-1			2	1～	－	春	岩崎 正吾	火		3			
		社会教育課題研究Ⅱ-2			2	1～	－	秋	岩崎 正吾	火		3			
Ⅳ	社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	生涯教育研究	4 単位 必修	専門 必修	2	3～	－	生涯教育学専修【専門必修】			不要	3			
		家庭教育論			2	1～	－	春	加藤 美帆	金	1	不要			
		女性教育論		2	1～	－	秋	矢口 徹也	水	4	不要				
		青少年教育論		2	1～	－	【休講】			不要					
		成人教育論		2	1～	－	秋	堀本麻由子	木	3	不要				
		女性史		2	1～	－	【休講】			不要					
		高齢者教育論		2	1～	－	秋	川野佐一郎	水	3	不要				
		多文化教育論		2	1～	－	秋	前田 耕司	木	4	不要				
	社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)	社会教育研究	4 単位 必修	専門 必修	2	2～	－	生涯教育学専修【専門必修】			不要	3			
		博物館情報・メディア論			資格 関連	2	2～	A	春	喜多 孝臣	月	2	視聴覚教育聴講料 ¥2,000円		
				B				秋	栗山 究	水	6				
				C				春	栗山 究	水	2				
				D				秋	栗山 究	木	6				
				E				春	川原健太郎	火	4				
		F		生涯教育学専修【専門必修】				4							
		G		生涯教育学専修【専門必修】				4							
博物館概論		専門 選択		2	1～	A	春	柳澤 和子	土	3	不要	5			
B						秋	柳澤 和子	土	3	5					
ツールとしてのICT2 (旧: ツールとしての情報通信ネットワークⅡ (視聴覚教育メディア論))	2		1～	A	秋	楠元 範明	月	4	不要						
B				秋	楠元 範明	月	5								
博物館経営論			2	1～	A	春	下野 玲子	金	5	不要					
B					秋	山田 磯夫	月	1							
博物館資料論	2		1～	A	春	松山 薫	金	6	不要						
B				秋	松山 薫	金	6								
図書館概論	資格 関連	2	1～	A	春	雪嶋 宏一	火	6	図書館 司書課程 聴講料 ¥7,000円	6					
B				秋	雪嶋 宏一	木	6	6							
図書館サービス概論		2	1～	A	春	雪嶋 宏一	木	6							
B				秋	雪嶋 宏一	火	6								

分類	社会教育法 指定科目	早稲田大学設置 科目名	履修 方法	科目 系列	単位	配当 年次	組 名	学期	教員氏名	曜 日	時 限	聴講料			
IV	社会教育特講II (社会教育活動・事業・施設)	学校開放論	4 単位 必修	資格 関連	2	1～	-	秋	呉 世蓮	火	3	不要			
		社会教育施設・職員論			2	1～	-	春	高井 正 木	2					
IV	社会教育特講III (その他必要な科目)	教育学概論	4 単位 必修	専門 必修	4	1～	-	教育学・生涯教育学専修【専門必修】				不要	3		
		初等教育学概論 (旧:教育学概論)		専門 必修	4	1～	-	初等教育学専攻【専門必修】				不要	3		
		教育学概論		専門 選択	4	1～	-	教育心理学専修【専門副選択】				不要	3		
		生涯スポーツ・レクリエーション論		専門 選択	2	1～	-	春	小川かをり	火	5	不要			
		教育課程編成論 (中・高) または 教育課程編成論 (小・中・高) (2009年度をもって廃止)		資格 関連	1	2～	教職課程科目(教職に関する科目(必修))参照(☞P.23～)						教職課程 聴講料 (☞P.22)		
		教育基礎総論1 (中・高) または 教育基礎総論1 (小・中・高) (2013年度をもって廃止)	セ ット 履 修		資格 関連	2								1～	
		教育基礎総論2 (中・高) または 教育基礎総論2 (小・中・高) (2013年度をもって廃止)			資格 関連	2								1～	



- 「生涯学習概論ⅠA」「生涯学習概論ⅡA」は、教育学科教育学専攻教育学専修または初等教育学専攻の学生が履修する場合は専門選択科目に、その他の学科・専修の学生が履修する場合は専門教育科目(他学科・他専修)になります。また、初等教育学専攻の学生が履修する場合の配当年次は「2～」です。
- 「生涯学習概論ⅠB」「生涯学習概論ⅡB」は、生涯教育学専修の学生が履修する場合は専門必修科目です。他学部・他学科専修の学生は登録できません。
- 該当専修の学生以外は、これらの科目は登録できません。
- 「博物館情報・メディア論F」「博物館情報・メディア論G」は、生涯教育学専修の学生が履修する場合は専門必修科目です。他学部・他学科専修の学生は登録できません。
- 「博物館概論」は、教育学専修・生涯教育学専修の学生が履修する場合は、専門選択科目となります。その他の学科・専攻・専修の学生が履修する場合は、随意科目(資格関連科目)となります。
- 「図書館概論」は、教育学専修・生涯教育学専修の学生が履修する場合、専門選択科目となり聴講料も不要です。その他の学科・専攻・専修の学生が履修する場合、随意科目(資格関連科目)となり聴講料が必要です。

※以下の旧科目も、社会教育主事の資格に有効です。

社会教育法指定科目	早稲田大学設置科目名	備考
生涯学習概論	生涯学習概論	2011年まで科目設置。
社会教育特講Ⅱ	視聴覚教育メディア論(実習を含む)Ⅰ	
	視聴覚教育メディア論(実習を含む)Ⅱ	
	博物館学各論	
	図書館学Ⅰ	
社会教育特講Ⅲ	体育及レクリエーション指導	

I 免許状とは

II 取得
免許
状
要件III 科目
登録
成績IV 介護
等
体験V 教育
実習VI 免許
状
申請VII 教員
就職VIII 教
取
得
卒業
後のX その他
資格XI 連絡
先
一覧

■ 社会教育主事資格取得要件・時間割

(2) 教育学部以外の学生用 ※ } はセット履修

分類	社会教育法 指定科目	早稲田大学設置 科目名	必修/ 選択	単位	配当 年次	組名	学期	教員氏名	曜日	時 限	聴講料	科目 設置 箇所	!
I	生涯学習概論	①生涯学習概論Ⅰ	セ ット 履 修 ①～ ③の い ず れ か 4 単 位 必 修	2	1～	A	春	坂内 夏子	木	3	不要	教育	2
		①生涯学習概論Ⅱ		2	1～	A	秋	坂内 夏子	木	3		教育	
		②生涯学習概論1		2	1～	-	春	古市 将樹	火	2	不要	文	1
		③生涯学習概論2		2	1～	-	秋	古市 将樹	月	2		文	
Ⅱ	社会教育計画	社会教育行財政Ⅰ	セ ット 履 修 4 単 位 必 修	2	1～	-	春	笹井 宏益	水	4	不要	教育	2
		社会教育行財政Ⅱ		2	1～	-	秋	梶野 光信	水	4		教育	2
		社会教育方法論1		2	1～	-	春	新井 浩子	金	2		文	3
		社会教育方法論2		2	1～	-	秋	新井 浩子	金	2			
Ⅲ	社会教育演習、社会教育実習、または社会教育課題研究のうち1科目以上	社会教育課題研究Ⅰ	4 単 位 必 修	2	1～	-	春	岩崎 正吾	木	3	不要	教育	2
		社会教育課題研究Ⅰ-2		2	1～	-	秋	岩崎 正吾	木	3			
		社会教育課題研究Ⅱ-1		2	1～	-	春	岩崎 正吾	火	3			
		社会教育課題研究Ⅱ-2		2	1～	-	秋	岩崎 正吾	火	3			
Ⅳ	社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	家庭教育論	4 単 位 必 修	2	1～	-	春	加藤 美帆	金	1	不要	教育	2
		女性教育論		2	1～	-	秋	矢口 徹也	水	4	不要	教育	
		青少年教育論		2	1～	-	【休講】			不要	教育		
		成人教育論		2	1～	-	秋	堀本麻由子	木	3	不要	教育	
		女性史		2	1～	-	【休講】			不要	教育		
		高齢者教育論		2	1～	-	秋	川野佐一郎	水	3	不要	教育	
		多文化教育論		2	1～	-	秋	前田 耕司	木	4	不要	教育	
		社会教育学		2	2～	-	秋	新井 浩子	金	3	不要	文	1
		教育とジェンダー		2	2～	-	秋	近藤 牧子	月	4	不要	文	3
		社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)		博物館情報・メディア論	4 単 位 必 修	2	2～	A	春	喜多 孝臣	月	2	視聴覚教育聴講料 ¥2,000円
				B		秋	栗山 究	水	6				
				C		春	栗山 究	水	2				
				D		秋	栗山 究	木	6				
				E		春	川原健太郎	火	4				
	博物館概論		2	1～		A	春	柳澤 和子	土	3	不要	教育	
				B		秋	柳澤 和子	土	3				
	博物館経営論		2	1～		A	春	下野 玲子	金	5	不要	教育	
				B		秋	山田 磯夫	月	1				
	博物館資料論		2	1～		A	春	松山 薫	金	6	不要	教育	3
			B	秋	松山 薫	金	6						
	社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)	図書館概論	4 単 位 必 修	2	1～	A	春	雪嶋 宏一	火	6	図書館司書課程聴講料 ¥7,000円	教育	
					B	秋	雪嶋 宏一	木	6				
		図書館サービス概論		2	1～	A	春	雪嶋 宏一	木	6			
					B	秋	雪嶋 宏一	火	6				
		学校開放論		2	1～	-	秋	呉 世蓮	火	3	不要	教育	2
		社会教育施設・職員論		2	1～	-	春	高井 正	木	2	不要	教育	
		生涯スポーツ・レクリエーション論		2	1～	-	春	小川かをり	金	5	不要	教育	1
		社会調査法1		2	2～	-	春	嶋崎 尚子	火	4	不要	文	
		社会調査法2		2	2～	-	秋	嶋崎 尚子	火	4	不要	文	
		社会統計学1		2	2～	-	春	田辺 俊介	金	4	不要	文	
		社会統計学2		2	2～	-	秋	田辺 俊介	金	4	不要	文	
		コミュニケーション論		2	1～	-	春	小藪 明生	水	1	不要	文構	
		教育社会学1		2	2～	-	秋	沖 清豪	木	3	不要	文	
		教育社会学2		2	2～	-	【休講】			不要	文		

分類	社会教育法 指定科目	早稲田大学設置 科目名	必修/ 選択	単位	配当 年次	組 名	学期	教員氏名	曜日	時 限	聴講料	科目 設置 箇所	!
IV	社会教育特講III (その他必要な科目)	教育社会学		2	2012年度から廃止								
		地域福祉論1		2	2015年度から廃止								
		地域福祉論2		2	2015年度から廃止								
		これからの地域・まち づくりと支援論		2	2016年度から廃止								
		教育課程編成論 (中・高) または 教育課程編成論 (小・中・高) (2009年度をもって廃 止)	セ ット 履 修 4 単位 必修	1	2～	教職課程科目(教職に関する科 目(必修))参照(☞P.23)					教職課程 聴講料 (☞P.22)	教育	3
		教育基礎総論1 (中・高) または 教育基礎総論1 (小・中・高) (2013年度をもって廃 止)		2	1～							教育	
		教育基礎総論2 (中・高) または 教育基礎総論2 (小・中・高) (2013年度をもって廃 止)		2	1～							教育	
		教育課程編成論 (中・高) または 教育課程編成論 (小・中・高) (2009年度をもって廃 止)		1	2～							教育	
		教育学概論1	セ ット 履 修	2	2～	-	春	梅本 洋	月	3	不要	文	1
		教育学概論2		2	2～	-	秋	沖 清豪	月	3	不要	文	1

- ! 1. 文化構想学部・文学部の学生は本科目は合併科目ですので、所属学部の一次登録に参加し、申請してください。
上記以外の学生は、所属学部で定められた他学部聴講登録に参加し、申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
2. 所属学部で定められた他学部聴講登録に参加し、申請してください。定員に余裕があれば登録できます。
3. 1次登録で履修申請をしてください。

旧科目で単位を修得した場合でも、社会教育主事の資格に有効です。

社会教育法指定科目	早稲田大学設置科目名	備考
生涯学習概論	生涯学習概論	2011年まで科目設置。
社会教育特講II	視聴覚教育メディア論(実習を含む)I	
	視聴覚教育メディア論(実習を含む)II	
	博物館学各論	
	図書館学I	
社会教育特講III	体育及レクリエーション指導	

I 免許状とは

II 免許取得要件

III 科目登録成績

IV 介護等体験

V 教育実習

VI 免許状申請

VII 教員就職

VIII 卒業後の
教免取得

X その他資格

XI 連絡先一覧

社会福祉主事

1 社会福祉主事とは

- 社会福祉法で定められた任用資格※で、保護や援護を必要としている人の相談・指導・援助を行うことを職務とします。
※特定の資格を取得すれば職業・職位として公称できるというのではなく、当該任用資格を取得後、該当の職務に任用・任命されて初めて効力を発揮する資格です。
国家資格ではありません。社会福祉士との混同に注意。
- 勤務場所：都道府県の福祉事務所、市町村役所、障害者福祉施設、病院、保健所、老人福祉施設、老人保健施設、障害児関連施設など
- 社会福祉主事任用資格の必要な職種

行政	福祉事務所	現業員、査察指導員、老人福祉指導主事、家庭児童福祉主事〔児童福祉事業従事 2 年以上等〕、家庭相談員〔児童福祉事業従事 2 年以上等〕、母子相談員
	各種相談所	知的障害者福祉司〔知的障害者福祉事業従事 2 年以上等〕、身体障害者福祉司〔身体障害者福祉事業従事 2 年以上等〕
		児童福祉司〔児童福祉事業従事 2 年以上等〕
社会福祉施設		施設長、生活指導員 等

2 早稲田大学で社会福祉主事資格を取得するには

- 学位を取得すること。
- 以下の科目を 3 科目以上修得すること。

社会福祉概論	社会保障論	社会福祉行政論	公的扶助論
身体障害者福祉論	老人福祉論	児童福祉論	家庭福祉論
知的障害者福祉論	精神障害者保健福祉論	社会学	心理学
社会福祉施設経営論	社会福祉援助技術論	社会福祉事業史	地域福祉論
保育理論	社会福祉調査論	医学一般	看護学
公衆衛生学	栄養学	家政学	倫理学
教育学	経済学	経済政策	社会政策
法学	民法	行政法	介護概論
医療社会事業論	リハビリテーション論		

3 読替えの範囲

- 原則として上記科目名と同一科目名でないと認められません。ただし、以下の科目名の範囲であれば読替えることが可能です。
- 2013 年 3 月 28 日に読み替え範囲の一部改正がありました。今まで読替範囲が入学年度によって異なっていましたが、この一部改正により、全学年同じ読替ルールが適用となります。

厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目の読替えの範囲

社会福祉法第 19 条第 1 項第 1 号に基づく厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目（以下「指定科目」という。）については、「社会福祉主事の資格に関する科目指定」（昭和 25 年厚生省告示第 226 号）に定められているところであるが、その科目の読替えの範囲は次のとおりとする。なお、指定科目の名称及び読替の範囲に掲げる科目の名称（以下「科目名」という。）が次のいずれかに該当する場合については、読替の範囲に該当するものとして取り扱って差し支えない。

- (1) 科目名の末尾に、「原論」、「(の) 原理」、「総論」、「概論」、「概説」、「論」、「法」、「(の) 方法」及び「学」のうち、いずれかの語句又は複数の語句が加わる場合
- (2) 科目名の末尾に「Ⅰ、Ⅱ」等が加わることにより、複数の科目に区分され、かつ、当該区分された科目の全てを行う場合
- (3) (1) 及び (2) のいずれにも該当する場合

(例 1) 「社会政策」に相当する科目を行う場合

- ・ (1) に該当する場合「社会政策論」、「社会政策総論」等でも可。
- ・ (2) に該当する場合「社会政策Ⅰ」及び「社会政策Ⅱ」等でも可。
→Ⅰ、Ⅱの 2 つに分断されているため、両方の修得が必要。
- ・ (3) に該当する場合「社会政策論Ⅰ」及び「社会政策論Ⅱ」等でも可。
→Ⅰ、Ⅱの 2 つに分断されているため、両方の修得が必要。

(例 2) 「介護概論」に相当する科目を行う場合

- ・ (1) に該当する場合「介護福祉原論」、「介護福祉総論」、「介護福祉学総論」等でも可。
- ・ (2) に該当する場合「介護概論Ⅰ」及び「介護概論Ⅱ」等でも可。
→Ⅰ、Ⅱの 2 つに分断されているため、両方の修得が必要。
- ・ (3) に該当する場合「介護福祉概説Ⅰ」及び「介護福祉概説Ⅱ」等でも可。
→Ⅰ、Ⅱの 2 つに分断されているため、両方の修得が必要。



科目名に括弧書き（ ）がつく科目については読み替えの対象外となります。

例. ①「社会学(教職)」、②「教育学概論Ⅰ(学校教育)」および「教育学概論Ⅱ(生涯教育)」→読み替え対象外

上記に加え、以下「読み替えの範囲」と全く同じ科目名となる場合も読み替え可能

科目名	読替えの範囲
社会福祉概論	社会福祉、社会事業、社会保障制度と生活者の健康、現代社会と福祉
社会福祉事業史	① 社会福祉事業史、社会福祉発達史、社会事業史、社会福祉の歴史 ② 日本社会福祉事業史と西洋社会福祉事業史を履修していること
社会福祉援助技術論	① 社会福祉援助技術、社会福祉方法、社会事業方法、ソーシャルワーク、相談援助 ② 相談援助の基盤と専門職及び相談援助の理論と方法の 2 科目
社会福祉調査論	社会調査統計、社会福祉調査、社会福祉統計、社会福祉調査技術、ソーシャルリサーチ、福祉ニーズ調査、社会調査の基礎、社会調査
社会福祉施設経営論	社会福祉施設経営、社会福祉施設運営、ソーシャルアドミニストレーション、社会福祉管理、社会福祉管理運営、福祉サービスの組織と経営
社会福祉行政論	社会福祉行政、社会福祉行財政、福祉行財政、社会福祉法制、社会福祉法、社会福祉計画、ソーシャルプランニング、福祉行財政と福祉計画
社会保障論	社会保障、社会保障制度と生活者の健康、社会保障制度

I
免許状とは

II
取得
免許
要件
状

III
科目
登録
成績

IV
介護
等
体験

V
教育
実習

VI
免許
状
申請

VII
教員
就職

VIII
教免
取得
後の

X
その他
資格

XI
連絡
先
一覧

科目名	読替えの範囲
公的扶助論	公的扶助、生活保護、生活保護制度、低所得者に対する支援と生活保護制度
児童福祉論	① 児童福祉、児童家庭福祉、子ども家庭福祉、こども家庭福祉 ② 児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度並びに家庭福祉論及びその読替の範囲に含まれる科目のいずれかの2科目
家庭福祉論	① 家庭福祉、母子福祉、母子寡婦福祉、婦人保護、ファミリーサポート、家族援助 ② 児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度並びに児童福祉論及びその読替の範囲に含まれる科目のいずれかの2科目
保育理論	保育
身体障害者福祉論	① 身体障害者福祉 ② 障害者福祉、障害福祉、心身障害者福祉、障害児（・）者福祉 （身体障害者福祉と知的障害者福祉を含んでいるものに限っては身体障害者福祉と知的障害者福祉の2科目に該当する。）
知的障害者福祉論	① 知的障害者福祉 ② 障害者福祉、障害福祉、心身障害者福祉、障害児（・）者福祉 （身体障害者福祉論と知的障害者福祉論の内容を全て含んでいるものに限っては身体障害者福祉論と知的障害者福祉論の2科目に該当する。）
精神障害者保健福祉論	精神障害者保健福祉、精神保健福祉、精神衛生、精神保健、精神医学、精神障害者福祉
老人福祉論	老人福祉、高齢者福祉、高齢者保健福祉、高齢者に対する支援と介護保険制度
医療社会事業論	医療社会事業、医療福祉、医療ソーシャルワーク
地域福祉論	地域福祉、協同組合、コミュニティ（一）ワーク、コミュニティ（一）オーガニゼーション、地域福祉の理論と方法、コミュニティ（一）福祉
法学	法律学、基礎法学、法学入門
民法	民法総則、民法入門
行政法	—
経済学	経済、基礎経済、経済学入門
社会政策	社会政策、労働経済
経済政策	—
心理学	心理、心理学理論と心理的支援、心理学入門
社会学	社会理論と社会システム、社会学入門
教育学	教育、教育学入門
倫理学	倫理、倫理学入門
公衆衛生学	公衆衛生、公衆衛生学入門
医学一般	① 医学知識、医学、医学入門、一般臨床医学、人体の構造と機能及び疾病、人体の構造（・）機能（・）疾病 ② 人体の構造と機能及び疾病の成り立ちと回復の促進を履修していること。
リハビリテーション論	リハビリテーション、リハビリテーション医学、リハビリテーション入門
看護学	看護、基礎看護、看護学入門
介護概論	介護福祉、介護、介護知識、介護の基本、介護学入門
栄養学	栄養、栄養指導、栄養（・）調理、基礎栄養学、栄養学入門
家政学	家政、家政学入門

科目登録から成績まで（その他資格）

I
免許状とは

II
免許状
取得要件

III
科目登録
成績

IV
介護等体験

V
教育実習

VI
免許状申請

VII
教員就職

VIII
教免取得
卒業後の

X
その他資格

XI
連絡先一覧

1 その他資格の科目登録方法

- 資格取得に必要な科目を確認し、要件を満たすように漏れなく登録してください。所属学部で定める登録方法・日程に従って履修申請してください。
- 配当年次以上の科目を登録できます。
- 授業は原則、早稲田キャンパスと戸山キャンパスで行います。
- 履修科目の単位の取り扱いは、所属学部の「学部要項」、「講義要項」（教育学部生は「授業ガイド」）、「科目登録の手引き」等を参照してください。

2 聴講料納入

名称	対象科目	聴講料	注意事項
図書館司書課程聴講料	図書館司書および学校図書館司書教諭関連科目	¥7,000	●一度納入すれば在学中有効。在学中は領収証を保管しておくこと。 ●教育学部教育学科教育学専攻教育学専修または生涯教育学専修の学生が「図書館概論」のみを履修する場合は、聴講料不要。 ●「生涯学習」「生涯学習概論Ⅰ」「生涯学習概論Ⅱ」のみを履修する場合は、聴講料不要。 ●学士入学者は、過去に本学に在籍し、左記の聴講料を納入したことのある場合でも改めて納入が必要。 ●再入学者は過去に左記の聴講料を納入したことがある場合、納入不要。
実験実習料	博物館情報・メディア論	¥2,000	左記の科目については、実験実習料の納入が必要です。
	博物館実習	¥5,000	



- 聴講料の納入方法は所属学部事務所の案内に従ってください。
- 履修科目の聴講料・実習料は全て納入する必要があります。（特定の科目の聴講料のみ納入することはできません。）
- 聴講料が納入されなかった科目は全て、登録が「取消」となります。

3 授業・休講・補講・レポート・成績

授業・休講・補講・レポート・成績については、教員免許状取得の場合と同じ要領になります。（☞ P.34～38）

その他資格証明書

1 その他資格に関する証明書の種類

■ 申請できる証明書

証明書の種類	内 容
図書館司書単位修得証明書	図書館法に基づき修得した機関・単位を証明するもので、主に図書館司書の資格を有していることを証明するために使用します（この場合、卒業証明書と併せて使用することが必要です）。卒業日以降発行します。
学校図書館司書教諭単位修得証明書	学校図書館法に基づき修得した機関・単位を証明するもので、学校図書館司書教諭の修了証を申請する際に必要となります。全ての単位修得が終わった次年度より発行します。
博物館学芸員単位修得証明書	博物館法に基づき修得した機関・単位を証明するもので、主に博物館学芸員の資格を有していることを証明するために使用します（この場合、卒業証明書と併せて使用することが必要です）。卒業日以降発行します。
社会教育主事単位修得証明書	社会教育法に基づき修得した機関・単位を証明するものです。卒業日以降発行します。
社会福祉主事	社会福祉主事の単位修得証明書はありません。 確認を求められた場合、「成績・卒業証明書」を提出してください。

2 請求方法

証明書は所属学部・研究科事務所にて発行します。請求方法の詳細は所属学部・研究科のホームページを参照してください。

教育・総合科学学術院事務所の開室について

期 間	曜 日	開室時間
授業実施期間、試験・補講期間、春季休業期間	月～土曜	9:00～17:00
夏季休業・冬季休業期間	月～金曜	



日曜、祝日、その他大学が定める休業日、夏・冬休業中の土曜日、夏季一斉休業期間および臨時の休業日（8月11日～8月19日）、年末・年始（12月29日～1月6日）は事務所を閉室します。
事務所閉室後、緊急の場合は、事務所入口横に設置してあるインターホンを利用してください。職員が在室の場合対応します。職員が不在の場合は、各門横の警備員室まで連絡してください。
入学試験に伴う構内立ち入り禁止期間は、臨時事務所で事務を取り扱います。場所・閉室時間等の詳細は1月末以降に掲示および教育学部ホームページにて確認してください。

【土曜日の事務サービスについて】

土曜日の事務サービスは以下に限定されますので、予めご了承ください。問合せ、ご相談等は翌週開室日以降に、担当者より回答させていただきます。

土曜日の事務取扱い	詳細
証 明 書 発 行 (教育学部・教育学研究科・教職研究科)	1984年(昭和59年)3月以降の卒業生および 1975年(昭和50年)4月以降に入学した退学者・抹籍者の証明書
学 生 証 再 発 行 (教育学部・教育学研究科・教職研究科)	受付のみで、お渡しは翌週火曜日になります。
各種手続書類配付および受付	配付および受付のみを行います。
シ ラ バ ス の 閲 覧	閲覧のみ可能です(コピー不可)。

